

アレルギー疾患に関する施設調査 (令和元年度)

報告書

令和2年10月



東京都健康安全研究センター

はじめに

東京都は、保育所や幼稚園などの施設に通う子供のアレルギー疾患の罹患状況や施設における取組を把握するため、平成21年度から5年ごとにアレルギー疾患に関わる施設調査を実施してまいりました。今回で本調査は3回目となります。

東京都は、これまで平成29年度に策定した「東京都アレルギー疾患対策推進計画」に基づき、保健医療福祉関係者向けの研修や事故防止・緊急時対応のためのマニュアル作成など、アレルギー疾患に関する知識の普及啓発や人材育成に取り組んできました。

今回の調査では、前回調査に引き続き、保育施設におけるアレルギー児の受入状況や生活管理指導表の使用状況、アレルギーに関する研修の機会などを調査項目としたほか、新たに災害時の対策について項目を追加しました。

調査結果からは、前回調査時と比べ、食物アレルギーのある子供やエピペン®を処方されている子供を預かる施設が増えたこと、厚生労働省または文部科学省作成した生活管理指導表の使用が進んでいることなどが明らかとなりました。

本調査の結果は、今後の東京都におけるアレルギー疾患対策をより一層推進していくための貴重な基礎資料として有効に活用していきます。各区市町村や関係機関の皆様にも、お役立ていただければ幸いです。

終わりに、調査項目や結果のとりまとめなどを御指導いただいた東京都アレルギー疾患対策検討委員会アレルギー疾患対策検討部会の委員の皆様と、調査に御協力いただいた保育施設、幼稚園等の皆様、区市町村の関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

令和2年10月

東京都健康安全研究センター

所長 吉村 和久

目次

I 調査の概要

1 調査目的	3
2 調査対象及び方法	3
3 調査期間	4
4 回収状況	4
5 調査項目	5
6 調査結果の留意点等	5

II 調査結果

1 基本属性について	9
(1) 施設の所在地	9
(2) 在籍人数および職員数	9
(3) 施設における職員数（施設別）	10
(4) 施設における職員数（職種別・役職別）	10
2 アレルギー疾患のある子供の状況等について	11
(1) アレルギー疾患のある子供の把握	11
(2) アレルギー疾患のある子供が在籍している施設の割合	12
(3) 施設においてアレルギー疾患があると確認されている子供の割合	13
(4) 生活管理指導表等の使用状況	15
3 ぜん息について	18
(1) ぜん息のある子供の受入状況と発作時使用薬の預かり状況	18
(2) ぜん息発作の発症状況と発作時の対応内容	19
4 食物アレルギー・アナフィラキシーについて	22
(1) 施設で提供している食べ物の提供形式	22
(2) 施設で提供している食べ物の調理方式	23
(3) 食物アレルギーのある子供の受入状況	24
(4) エピペン®を処方されている子供の受入状況	27
(5) 施設でのエピペン®の預かり状況	28
(6) 食物アレルギーのある子供への食事の提供方針	29
(7) 誤食・誤配予防の取組状況	30
(8) 食物アレルギーの症状発生の有無とその原因	31
(9) 食物が原因で子供がアナフィラキシーを起こした事例の有無と重症度	36

(10) アナフィラキシー発生時の対応	38
(11) アナフィラキシー発生時の対応に役立ったもの	40
(12) エピペン®の使用状況	41
5 施設における取組について	42
(1) ガイドラインやマニュアルの整備状況	42
(2) アレルギー対策委員会や健康・安全に関する担当者の設置状況	43
(3) アレルギーに関する外部の研修・講演会等の参加状況	44
(4) 職員等が参加したアレルギーに関する研修・講演会等の主催者	46
(5) 外部の研修・講演会等で得た情報等の周知方法	47
(6) 施設内研修や訓練で実施しているもの	48
(7) アレルギーに関する災害時への備え	49
6 アレルギー疾患対策に関する意見・要望について	50
(1) 東京都が行う研修等で実施を強く希望するもの	50
(2) 行政に対する意見・要望	51
(3) 保護者や医療機関に関する意見・要望	51
(4) 日々のアレルギーへの対応での困りごと	51
7 まとめ及び考察	52

Ⅲ 資料編

1 集計データ	61
2 二次保健医療圏域別データ	105
3 調査票	133

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査目的

都内における保育所など子供を預かる施設に在籍するアレルギー疾患のある園児・児童の状況や、施設における対応状況の調査を行うとともに、施設側のアレルギー疾患対策に係るニーズを把握し、今後のアレルギー疾患対策を推進していくための基礎資料として活用する。

2 調査対象及び方法

令和元年9月現在、都内に所在する下記の施設を対象に、無記名による自記式調査票を郵便にて送付した。

施設種別 (以下の説明は調査時点(令和元年9月現在)におけるもの)		
認可保育所	児童福祉法に基づいて設置された児童福祉施設。国が定める設置基準を満たし都道府県知事に認可された保育所。保護者が病気や仕事などの理由で小学校就学前の子供を保育できない場合に、子供を預かって保育する。定員は原則60人以上。	
認証保育所	平成13年5月に発足した制度。認可保育所だけでは応えきれていない大都市のニーズに対応しようとする都独自の制度。都独自の基準で設置。0歳児から保育し、13時間以上の開所を基本とする。 A型：0～5歳・20～120人 B型：0～2歳・6～29人	
認定こども園	平成18年に制定された法律に基づき制度開始。内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣が定める基準に従い、各都道府県等が条例で定める。就学前の子供を、保護者の就労の有無に関わらず受け入れ、幼児教育と保育の一体的提供と地域における子育て支援を行う施設。 幼保連携型・幼稚園型・保育所型・地方裁量型を対象とする	
幼稚園	学校教育法第22条に基づき設置された教育施設。 対象は満3歳から小学校就学までの児童に対して義務教育及びその後の基礎を培うものとして保育し心身の発達を助長するための施設	
ベビーホテル	都に届け出がある施設のうち、都や区市町村の認証、認定がなく、下記のいずれかに該当し、院内・事業所内保育などの分類に含まれない認可外保育施設 (1) 午後7時以降の保育をおこなっているもの (2) 児童の宿泊を伴う保育を行っているもの (3) 時間単位での児童の預かりを行っているもの	
家庭的保育	乳児又は幼児であって、市町村が保育に欠ける児童に該当すると認めるものについて、家庭的保育者(市町村長(特別区の区長を含む。以下同じ)が行う研修を修了した保育士その他の厚生労働省令で定める者であって、これらの乳児又は幼児の保育を行う者として市町村長が適当と認めるものをいう。以下同じ)の居宅その他の場所において、家庭的保育者による保育を行う事業	
学童保育(学童クラブ)	児童福祉法第6条の3第2項の放課後児童健全育成事業(学童クラブ事業)として、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業	
上記以外の施設	事業所内保育	主に事業主等が、その雇用する労働者のために都内に設置する保育施設
	院内保育施設	都内の病院及び診療所に従事する職員のための保育施設
	小規模保育施設	区市町村の規定の基準を満たし、満3歳未満の児童を、6人以上19人以下の定員の範囲で預かる施設
	病児・病後児保育	病気の子供の受け入れや保育中に体調不良となった児童への緊急対応等を行う施設
	一時預かり	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳児又は幼児について、厚生労働省令で定めるところにより、主として昼間において、保育所その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業
	その他の認可外保育施設	ベビーホテル、事業所内・院内保育施設に該当しない認可外の保育施設

3 調査期間

令和元年9月1日（日曜日）から9月30日（月曜日）まで

4 回収状況

8,120施設を対象に、無記名による自記式調査票を郵便にて送付し、5,187施設から回答を得た（回収率63.9%）。

施設種別	対象数 (発送数)	回収数	回収率
認可保育所	2,770	1,974	71.3%
認証保育所	594	378	63.6%
認定こども園	131	93	71.0%
幼稚園	902	611	67.7%
ベビーホテル	460	224	48.7%
家庭的保育	283	180	63.6%
学童保育	1,834	980	53.4%
上記以外の施設	1,146	747	65.2%
合計	8,120	5,187	63.9%

注1) 上記以外の施設種別は、調査対象を参照のこと

注2) 上記以外の施設種別の集計結果の内訳は、資料編を参照のこと

5 調査項目

項目	内容		
基本属性 (対象者の概要)	所在地、開閉所(園)時間、在籍人数、職員数		
アレルギー疾患のある 子供の把握状況	施設での把握の有無	把握人数	ぜん息
			食物アレルギー
			アナフィラキシー
			アトピー性皮膚炎
			アレルギー性鼻炎
			アレルギー性結膜炎
	アレルギー疾患を把握するための様式 (生活管理指導票の使用状況)		
ぜん息のある子供への 対応	ぜん息のある子供の受入状況		
	ぜん息発作発生状況と対応等		
食物アレルギーのある 子供への対応	給食等提供状況、アレルギー対応食、誤食予防策など		
	食物アレルギーのある児の受入状況、エピペン預かり状況等		
	食物アレルギー症状の発生状況、誤食、初発の状況		
	アナフィラキシーの発生状況と対応		
	エピペン使用状況		
施設内体制	ガイドライン・マニュアルの整備状況		
	アレルギー対応委員会の設置状況		
	アレルギーに関する研修の受講状況		
	施設内研修の実施状況		
	災害時対策の実施状況		
アレルギー疾患対策に 関する要望・意見	東京都の研修等への要望		
	行政(都や区市町村)への要望		
	保護者や医療機関への要望		
アレルギーの対策等での 困りごと	アレルギー疾患に関する対策等で困っていること		

6 調査結果の留意点等

本報告書における調査結果を読む上での留意点等を以下に示す。

- ① 本文中の図や表は、数値の一部や無回答の数を省略して表記している箇所がある。
- ② 過去の調査結果との比較に当たっては、調査票の構成及び設問方法等が異なる項目もあるため同様の基準で再集計するなどにより比較を行った。なお、過去の調査結果は斜体で示した。
- ③ この報告書に掲載の数値は四捨五入してあるため、総数との内訳の合計が一致しない場合がある。
- ④ 学童保育については他施設に比べ在籍児の年齢が異なるため、本文及び資料編の図表において、「学童保育を除く」と「学童保育」との比較、もしくは「学童保育を除いた総数」を算出したものがある。

- ⑤ 報告書の取りまとめに当たり、表現を整理するため、調査票や回答として記載されたものと報告書の記載においては、一部異なるものがある。

II 調査結果

II 調査結果

1 基本属性について

(1) 施設の所在地 (資料編 表1)

回答施設の所在地は、区部が69.5%、多摩地域が30.2%、島しょ地域が0.3%であった(表1)。

表1 施設の所在地

	施設数	割合
区部	3,605	69.5
多摩地域	1,567	30.2
島しょ地域	15	0.3
総数	5,187	100.0

(2) 在籍人数及び職員数 (資料編 表4~5)

回答施設における在籍人数の合計は、404,098人であり、うち学童保育の在籍数は81,120人であった。年齢別にみると、乳幼児は320,352人、小学生は81,956人であった(表2)。

ただし、複数の施設の利用や一時預かり、病児・病後児保育等、重複して集計している数を含む。

表2 在籍人数(施設別・年齢別)

	在籍総数	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
認可保育所	182,127	14,763	8.1	29,189	16.0	33,499	18.4	35,530	19.5	35,207	19.3	33,783	18.5
認証保育所	11,559	2,466	21.3	3,525	30.5	3,064	26.5	1,029	8.9	808	7.0	649	5.6
認定こども園	15,634	564	3.6	1,109	7.1	1,364	8.7	3,932	25.2	4,280	27.4	4,385	28.0
幼稚園	91,389	-	-	17	0.0	1,400	1.5	27,634	30.2	30,630	33.5	31,401	34.4
ベビーホテル	7,427	543	7.3	1,226	16.5	1,502	20.2	1,257	16.9	987	13.3	901	12.1
家庭的保育	712	137	19.2	305	42.8	254	35.7	-	-	-	-	5	0.7
学童保育	81,120	2	0.0	2	0.0	2	0.0	-	-	-	-	-	-
事業所内保育施設	2,219	390	17.6	673	30.3	511	23.0	156	7.0	103	4.6	81	3.7
院内保育施設	1,628	248	15.2	423	26.0	296	18.2	159	9.8	152	9.3	114	7.0
小規模保育	4,337	841	19.4	1,777	41.0	1,666	38.4	41	0.9	10	0.2	2	0.0
病児・病後児保育	2,881	214	7.4	448	15.6	506	17.6	459	15.9	433	15.0	367	12.7
一時預かり	405	52	12.8	105	25.9	94	23.2	26	6.4	9	2.2	19	4.7
その他	2,660	63	2.4	426	16.0	594	22.3	636	23.9	492	18.5	415	15.6
総数	404,098	20,283	5.0	39,225	9.7	44,752	11.1	70,859	17.5	73,111	18.1	72,122	17.8

	在籍総数	小学1年生		小学2年生		小学3年生		小学4年生		小学5年生		小学6年生		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
認可保育所	182,127	53	0.0	35	0.0	30	0.0	15	0.0	6	0.0	9	0.0	8	0.0
認証保育所	11,559	3	0.0	5	0.0	3	0.0	5	0.0	-	-	2	0.0	-	-
認定こども園	15,634	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園	91,389	-	-	-	-	-	-	39	0.0	53	0.1	54	0.1	161	0.2
ベビーホテル	7,427	86	1.2	75	1.0	54	0.7	24	0.3	15	0.2	6	0.1	751	10.1
家庭的保育	712	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1.5
学童保育	81,120	26,205	32.3	22,859	28.2	17,930	22.1	6,997	8.6	4,046	5.0	2,816	3.5	261	0.3
事業所内保育施設	2,219	43	1.9	42	1.9	40	1.8	51	2.3	47	2.1	47	2.1	35	1.6
院内保育施設	1,628	53	3.3	26	1.6	19	1.2	5	0.3	-	-	1	0.1	132	8.1
小規模保育	4,337	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病児・病後児保育	2,881	46	1.6	50	1.7	27	0.9	-	-	-	-	-	-	331	11.5
一時預かり	405	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	24.7
その他	2,660	14	0.5	7	0.3	7	0.3	2	0.1	3	0.1	1	0.0	-	-
総数	404,098	26,503	6.6	23,099	5.7	18,110	4.5	7,138	1.8	4,170	1.0	2,936	0.7	1,790	0.4

(3) 施設における職員数（施設別）（資料編 表6）

常勤・非常勤を合計した職員数を施設別にみると、平均職員数が最も多いのは「認定こども園」の41.8人、次いで「認可保育所」の33.0人であった。

また、平均職員数が最も少ないのは「家庭的保育」の4.7人であった（表3）。

表3 職員数ごとの施設数（施設別）（常勤・非常勤）

施設種別	施設総数	施設における職員数（常勤+非常勤）									平均職員数
		0人	1人	2~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30~39人	40~49人	50人以上	
認可保育所	1,960	-	5	15	19	195	616	544	379	187	33.0
認証保育所	378	-	-	-	27	260	87	4	-	-	16.0
認定こども園	93	-	-	-	1	11	11	23	24	23	41.8
幼稚園	609	-	1	12	86	295	158	37	15	5	17.9
ベビーホテル	219	-	4	28	76	74	23	7	5	2	12.4
家庭的保育	179	-	16	78	76	9	-	-	-	-	4.7
学童保育	960	-	3	143	474	295	38	6	1	-	9.1
事業所内保育施設	169	-	1	35	67	58	8	-	-	-	8.9
院内保育施設	115	-	-	18	70	24	3	-	-	-	7.8
小規模保育	269	-	-	2	85	172	10	-	-	-	11.3
病児・病後児保育	90	-	-	30	35	13	-	4	5	3	11.6
一時預かり	26	-	-	2	11	10	1	2	-	-	11.9
その他	73	-	1	6	22	35	6	3	-	-	11.9
総数	5,140	-	31	369	1,049	1,451	961	630	429	220	20.5

(4) 施設における職員数（職種別・役職別）（資料編 表7）

回答施設における職員数を職種別にみると、平均人数が最も多いのは「保育士」の10.2人、最も少ないのは、「看護師・保健師」の1.0人であった（表4）。

表4 職員数ごとの施設数（職種別・役職別）（常勤・非常勤）

職種及び役職	施設総数	施設における職員数（常勤+非常勤）									平均職員数
		0人	1人	2~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30~39人	40~49人	50人以上	
施設長（園長・所長含む）	4,609	16	4,422	170	1	-	-	-	-	-	1.0
保育士	3,855	96	352	893	877	1,024	493	100	15	5	10.2
保育補助	3,307	152	550	1,208	858	477	56	6	-	-	5.2
幼稚園教諭	1,455	583	323	240	151	137	17	4	-	-	3.0
幼稚園教諭・保育士併有	1,576	374	114	193	220	461	173	29	9	3	9.2
看護師・保健師	2,299	303	1,698	291	5	2	-	-	-	-	1.0
管理栄養士・栄養士	2,461	282	1,067	1,049	63	-	-	-	-	-	1.7
調理師	2,222	318	853	953	97	1	-	-	-	-	1.7
調理補助員	1,771	437	623	648	62	1	-	-	-	-	1.5
事務職員	2,336	382	1,402	511	39	2	-	-	-	-	1.2
その他	2,507	320	658	884	424	194	23	3	1	-	3.6

2 アレルギー疾患のある子供の状況等について

(1) アレルギー疾患のある子供の把握 《問1-1(1)》 (資料編 表8~9)

アレルギー疾患のある子供の状況の把握に取り組んでいる施設の割合は、全施設(5,187施設)のうち、食物アレルギーが4,844施設(93.4%)、ぜん息が4,287施設(82.6%)、アナフィラキシーが4,185施設(80.7%)であった。

平成26年度調査結果に比べ、全ての種類のアレルギーについて把握の取組実施率が増加していた。最も増加していたのは、アナフィラキシーが5.6ポイント増であり、次いで、アレルギー性結膜炎が2.2ポイント増、アトピー性皮膚炎が2.1ポイント増となっていた(図1)。

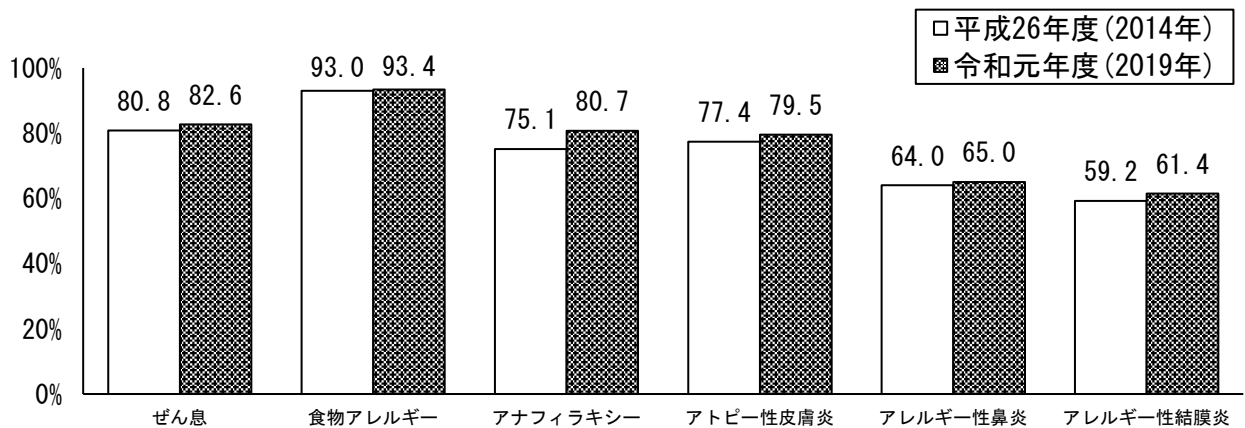
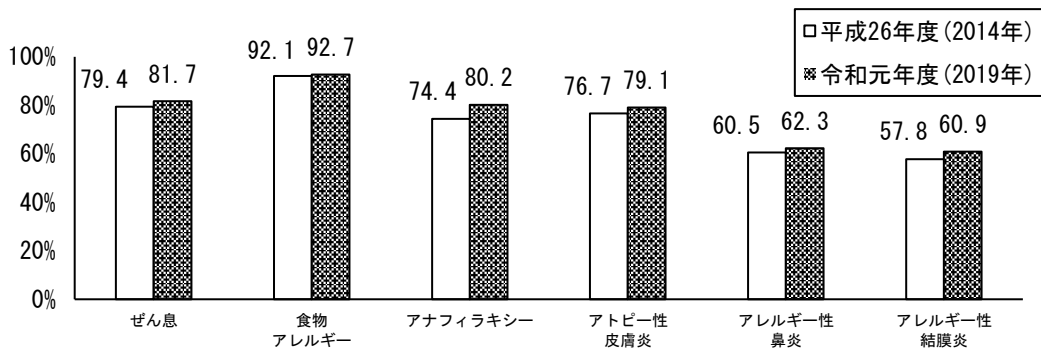
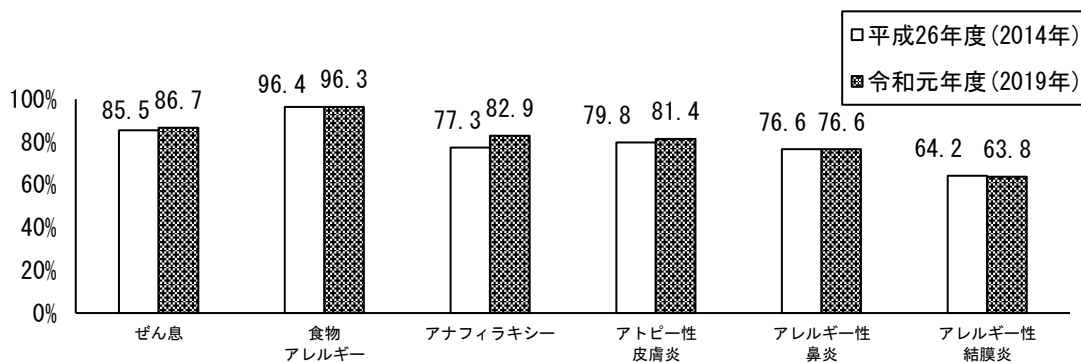


図1 アレルギー疾患のある子供の状況の把握に取り組む施設の割合 (n=5,187)



(参考) アレルギー疾患のある子供の状況の把握に取り組む施設の割合(学童保育を除く)(n=4,207)



(参考) アレルギー疾患のある子供の状況の把握に取り組む施設の割合(学童保育)(n=980)

(2) アレルギー疾患のある子供が在籍している施設の割合 《問1-1(2)》(資料編 表10)

調査時点においてアレルギー疾患のある子供が在籍している施設は、全施設(5,187施設)のうち食物アレルギーが4,255施設(82.0%)、ぜん息が2,704施設(52.1%)、アトピー性皮膚炎が2,598施設(50.1%)であった。平成26年度調査結果に比べ、アナフィラキシーが3.3ポイント、食物アレルギーが1.5ポイント増加し、ぜん息が8.1ポイント減少していた(図2)。

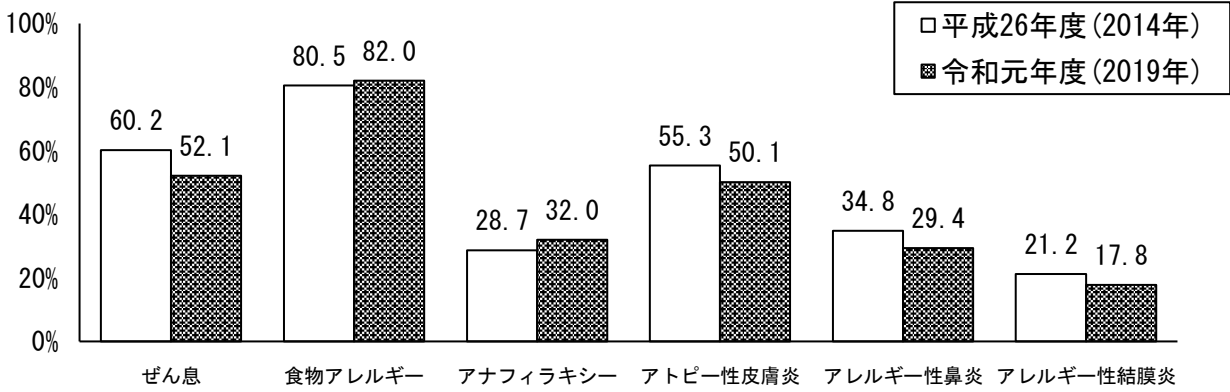
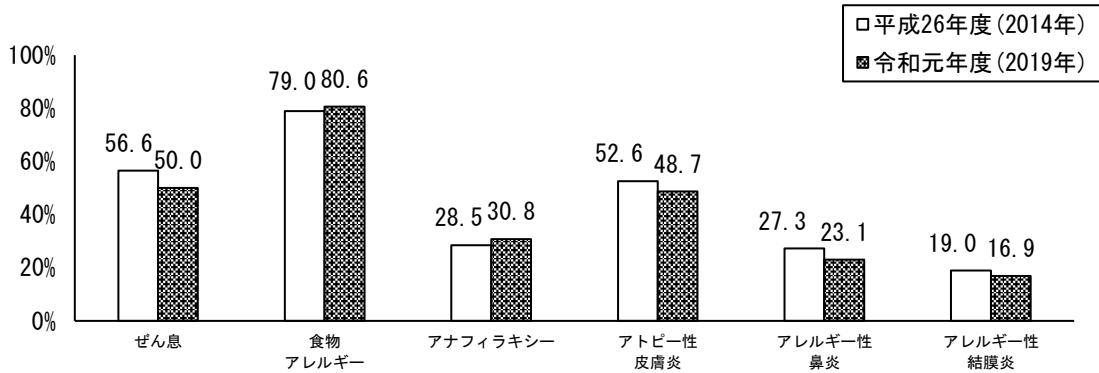
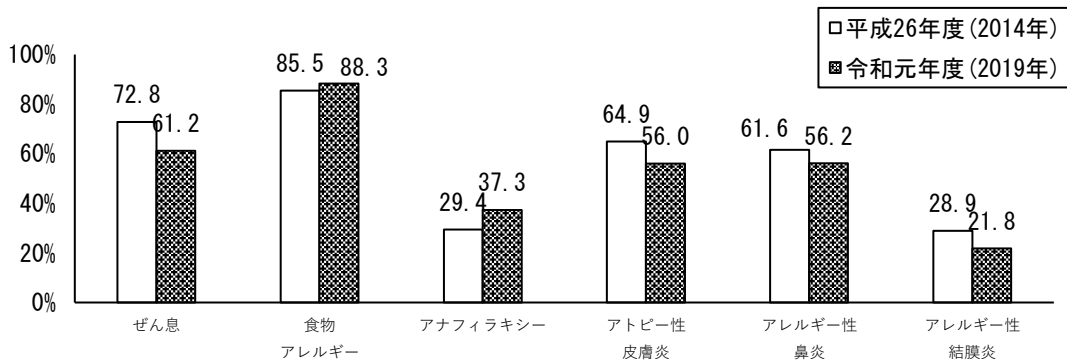


図2 アレルギー疾患のある子供が在籍する施設の割合 (n=5,187)



(参考) アレルギー疾患のある子供が在籍する施設の割合(学童保育を除く)(n=4,207)



(参考) アレルギー疾患のある子供が在籍する施設の割合(学童保育)(n=980)

(3) 施設においてアレルギー疾患があると確認されている子供の割合

《問1-1(2)》(資料編 表11)

在籍総数のうち、施設において「現在アレルギー疾患がある」と確認されている子供の割合は、食物アレルギーが6.1%、ぜん息が2.6%、アトピー性皮膚炎が2.3%、アレルギー性鼻炎が2.2%、アレルギー性結膜炎が0.8%、アナフィラキシーが0.7%であった。平成26年度調査結果に比べ、ぜん息が1.0ポイント、アトピー性皮膚炎が0.6ポイント減少していた(図3)(表5)。

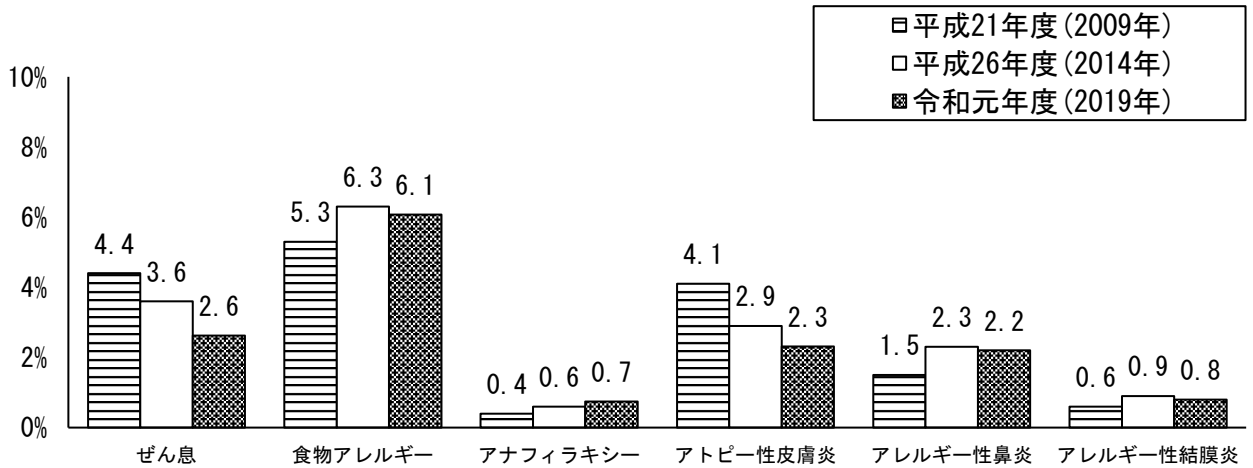
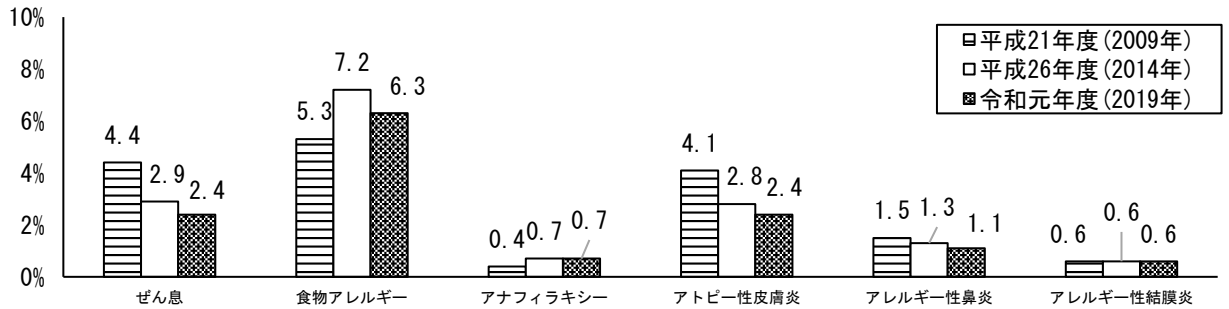
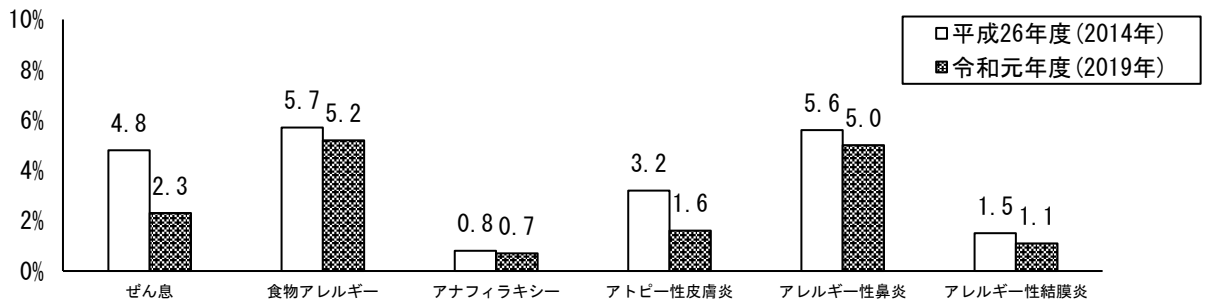


図3 施設においてアレルギー疾患があると確認されている子供の割合

注) 平成21年度調査は、調査対象施設が認可保育所、認証保育所、幼稚園であり、平成26年度調査・令和元年度調査と対象施設が異なる。



(参考) 施設においてアレルギー疾患があると確認されている子供の割合(乳幼児)



(参考) 施設においてアレルギー疾患があると確認されている子供の割合(小学生)

今回調査を年齢別にみると、在籍総数のうち、食物アレルギーがあると把握されている子供の割合は、小学3年生、小学5年生、小学6年生を除き、全体として他の疾患に比べて高くなっている。また、アレルギー性鼻炎がある子供の割合は、0歳児から小学3年生までは、年齢が上がるにつれ、その割合が上昇している（表5）。

表5 アレルギー疾患があると把握されている子供の割合(年齢別)

	在籍総数	ぜん息		食物アレルギー		アナフィラキシー		アトピー性皮膚炎		アレルギー性鼻炎		アレルギー性結膜炎	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
0歳児	20,283	282	1.4	1,309	6.5	119	0.6	420	2.1	67	0.3	49	0.2
1歳児	39,225	765	2.0	3,180	8.1	289	0.7	890	2.3	194	0.5	119	0.3
2歳児	44,752	989	2.2	2,850	6.4	326	0.7	1,057	2.4	288	0.6	173	0.4
3歳児	70,859	1,745	2.5	4,101	5.8	448	0.6	1,653	2.3	897	1.3	385	0.5
4歳児	73,111	2,090	2.9	4,018	5.5	512	0.7	1,761	2.4	1,209	1.7	626	0.9
5歳児	72,122	2,406	3.3	3,931	5.5	555	0.8	1,873	2.6	1,584	2.2	863	1.2
小学1年生	26,503	789	3.0	1,757	6.6	247	0.9	627	2.4	1,444	5.4	320	1.2
小学2年生	23,099	628	2.7	1,453	6.3	218	0.9	457	2.0	1,293	5.6	269	1.2
小学3年生	18,110	512	2.8	1,156	6.4	185	1.0	381	2.1	1,294	7.1	284	1.6
小学4年生	7,138	133	1.9	369	5.2	39	0.5	91	1.3	320	4.5	45	0.6
小学5年生	4,170	78	1.9	165	4.0	19	0.5	35	0.8	186	4.5	57	1.4
小学6年生	2,936	51	1.7	87	3.0	10	0.3	25	0.9	88	3.0	22	0.7
その他	-	11	-	34	-	6	-	2	-	-	-	-	-
無回答	1,790	102	5.7	145	8.1	16	0.9	70	3.9	39	2.2	9	0.5
総数	404,098	10,581	2.6	24,555	6.1	2,989	0.7	9,342	2.3	8,903	2.2	3,221	0.8

(4) 生活管理指導表等の使用状況 <問 1-2> (資料編 表 12~13)

施設においてアレルギー疾患の状況を把握するために使用している書類の様式(※1)等は、「医師ではなく、保護者が記入したもの」の割合が最も高く 39.5%であった。

医師が記入した厚生労働省または文部科学省作成の生活管理指導表(※2)を使用している施設は、全施設(5,187施設)のうち 47.1%であった(表6)。

施設別にみると、認可保育所・認証保育所では 50%以上の施設で「医師が記入した厚生労働省作成」の生活管理指導表が使用されていた。全体でも、同様式を使用していた施設の割合は 35.8%であり、平成 26 年度調査結果(16.7%)に比べ、厚生労働省が作成した様式を使用する割合が増加していた。

※1 「様式」とは、子供を預かる施設がアレルギー疾患をもつ園児・児童の治療の状況や施設での留意点を把握するために使用する書類の様式のこと。表6では①~⑤を指す。

※2 本調査における「生活管理指導表」とは、厚生労働省作成「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導」または、文部科学省(日本学校保健会作成)「学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)」のことをいう。表6では①②を指す。

表6 子供のアレルギー疾患の状況を把握するための書類等の使用割合(施設別・使用様式等別)

(複数回答)(単位:%)

	医師が記入				⑤ 医師ではなく保護者が 記入したもの (①~④ の様式)	⑥ 保護者 から口頭	⑦ 把握して いない	無回答	再掲 ① または ②
	① 厚生労働省 作成 「保育所に おけるア レルギー疾 患生活管理 指導表」	② 文部科学省 作成	③ 区市町村 作成	④ 施設で作成					
全施設 (n=5,187)	35.8	13.2	16.4	19.3	39.5	34.2	0.4	5.9	47.1
認可保育所 (n=1,974)	59.1	3.3	25.3	21.0	20.3	27.3	0.0	5.3	60.9
認証保育所 (n=378)	56.6	5.8	16.1	32.0	14.3	19.8	0.3	5.6	60.6
認定こども園 (n=93)	33.3	15.1	31.2	22.6	29.0	26.9	0.0	7.5	46.2
幼稚園 (n=611)	7.4	23.9	6.2	17.7	67.6	37.5	0.5	4.1	28.6
ベビーホテル (n=224)	21.9	3.1	8.0	26.3	46.4	41.1	0.4	10.3	23.7
家庭的保育 (n=180)	24.4	5.6	15.0	13.3	27.8	45.6	6.1	12.2	27.2
学童保育 (n=980)	3.1	38.7	8.5	5.7	74.6	46.2	0.1	5.4	40.2

※上記以外の施設については資料編参照

(参考) 子供のアレルギー疾患の状況を把握するための書類等の使用割合 (施設別・使用様式等)

(複数回答) (平成 26 年度) (単位: %)

	① 厚生労働省 作成	② 文部科学省 作成	③ 区市町村 作成	④ 園・所で 作成	⑤ その他の様 式	未使用	無回答	再掲
								① または ②
全施設 (n=5,348)	16.7	10.3	24.3	22.1	17.3	19.4	12.3	27.0
認可保育所 (n=1,588)	27.9	2.7	39.0	27.3	13.0	6.2	8.3	30.6
認証保育所 (n=527)	26.8	2.8	15.7	44.8	26.4	6.3	9.9	29.6
認定こども園 (n=95)	20.0	11.6	15.8	29.5	16.8	18.9	6.3	31.6
幼稚園 (n=666)	4.7	20.6	7.7	16.5	21.0	32.0	12.3	25.2
ベビーホテル (n=331)	20.5	1.8	12.1	22.4	22.1	23.6	13.9	22.4
家庭的保育 (n=596)	10.9	3.0	15.4	4.0	12.8	37.2	28.9	13.9
学童保育 (n=1,169)	3.7	25.9	31.3	15.2	17.4	21.8	11.5	29.6

厚生労働省や文部科学省が作成している生活管理指導表を使用していない場合の主な理由は、「これまで使用しているもので支障がない」が 824 施設 (33.8%)、「あることを知らなかった」が 448 施設 (18.4%) であった(表 7)。

「区市町村の指導」(10.8%) を選んだ理由としては、区市町村で独自に追加項目等を設け、作成したものを使用していること等が考えられる。

また、「その他」の回答としては「今後、使用予定」、「一時保育、病児保育のため」、「食物、アナフィラキシーの項目は使用している」、「厚生労働省の書式を一部アレンジしたものを作成している」等があった。

表 7 厚生労働省・文部科学省作成の生活管理指導表を使用しない理由 (複数回答)

	施設 総数	これまで使用しているもので支障がない		区市町村の指導		あることを知らなかった		該当者がいない		使いにくい		使い方がわからない		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	668	195	29.2	133	19.9	39	5.8	29	4.3	24	3.6	9	1.3	161	24.1	149	22.3
認証保育所	128	52	40.6	10	7.8	19	14.8	16	12.5	2	1.6	6	4.7	19	14.8	27	21.1
認定こども園	43	15	34.9	6	14.0	5	11.6	3	7.0	3	7.0	-	-	7	16.3	7	16.3
幼稚園	411	168	40.9	8	1.9	125	30.4	41	10.0	13	3.2	17	4.1	18	4.4	75	18.2
ベビーホテル	148	44	29.7	4	2.7	37	25.0	29	19.6	1	0.7	5	3.4	8	5.4	36	24.3
家庭的保育	109	19	17.4	2	1.8	27	24.8	59	54.1	-	-	3	2.8	4	3.7	11	10.1
学童保育	533	190	35.6	85	15.9	121	22.7	56	10.5	2	0.4	9	1.7	84	15.8	81	15.2
事業所内保育施設	87	19	21.8	-	-	29	33.3	34	39.1	2	2.3	3	3.4	9	10.3	6	6.9
院内保育施設	74	30	40.5	2	2.7	12	16.2	21	28.4	-	-	-	-	11	14.9	11	14.9
小規模保育	114	49	43.0	8	7.0	14	12.3	25	21.9	2	1.8	-	-	11	9.6	23	20.2
病児・病後児保育	61	27	44.3	4	6.6	5	8.2	3	4.9	1	1.6	1	1.6	28	45.9	3	4.9
一時預かり	12	2	16.7	-	-	2	16.7	2	16.7	-	-	-	-	3	25.0	4	33.3
その他	50	14	28.0	1	2.0	13	26.0	9	18.0	4	8.0	1	2.0	3	6.0	13	26.0
総 数	2,438	824	33.8	263	10.8	448	18.4	327	13.4	54	2.2	54	2.2	366	15.0	446	18.3
学童保育を除く施設数 (再掲)	1,905	634	33.3	178	9.3	327	17.2	271	14.2	52	2.7	45	2.4	282	14.8	365	19.2

3 ぜん息について

(1) ぜん息のある子供の受入状況と発作時使用薬の預かり状況

《問2-1~2-2》 (資料編 表14~15)

入園・入所時にぜん息のある子供を「預かる」施設は、全施設(5,187施設)の69.6%、「軽度であれば預かる」施設は全体の12.2%で、合わせて81.1%であった(図4)。また、ぜん息のある子供を「預からない」施設は全体で1.8%であった。

施設別にみると、「預からない」と回答した割合が最も高かったのは、家庭的保育が15.0%、次いでベビーホテルが8.0%であった。

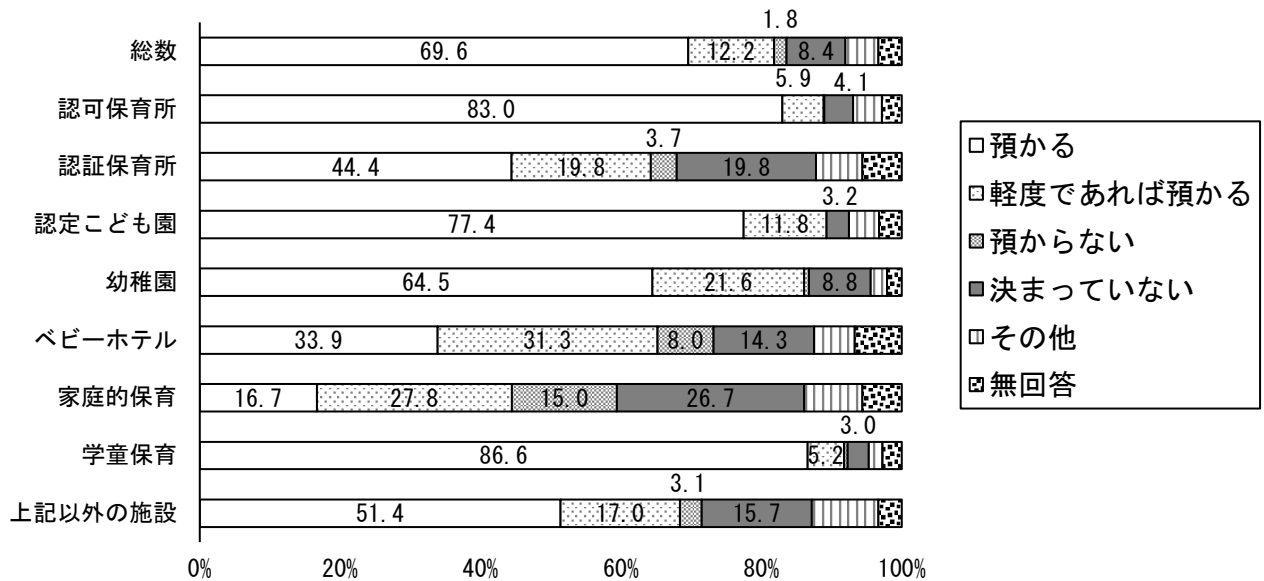


図4 ぜん息のある子供の受入状況(施設別の割合)(%) (n=5,187)

ぜん息の発作時使用薬の預かり状況について、「預かる」と回答した施設は全施設(5,187施設)の32.7%、「預からない」施設は30.8%であった(図5)。

施設別にみると、「預からない」と回答した割合が最も高かったのは学童保育で56.1%であった。

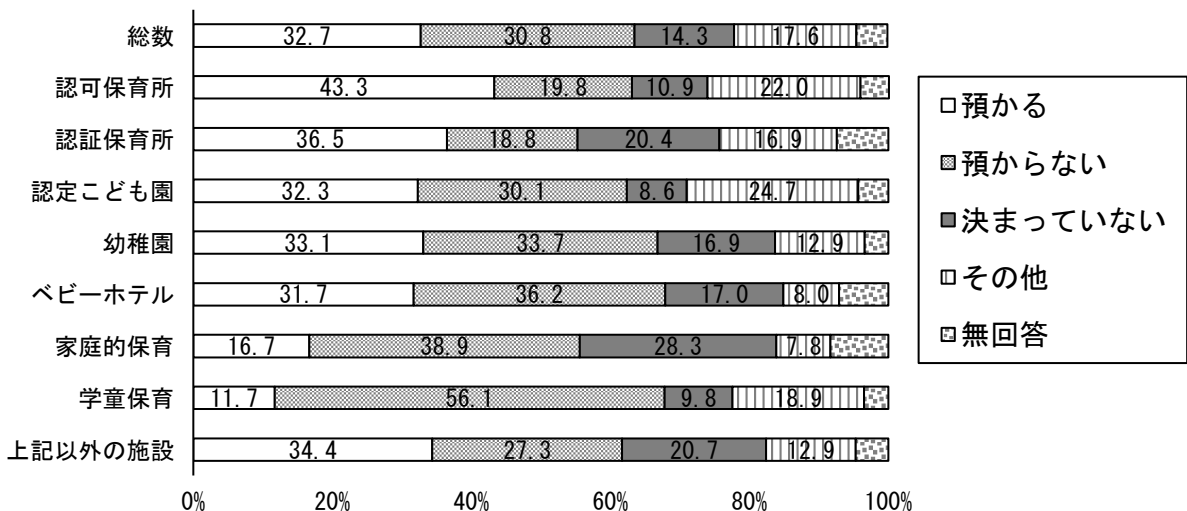


図5 ぜん息発作時使用薬の預かり状況(施設別の割合)(%) (n=5,187)

(2) ぜん息発作の発症状況と発作時の対応内容 《問2-3~2-5》(資料編 表16~18)

直近1年間にぜん息発作を発症した子供がいたのは346施設で、全施設(5,187施設)のうちの6.7%であった。平成26年度調査結果では全施設(5,348施設)のうちの9.1%(486施設)であり、2.4ポイント減少した(表8)。

子供のぜん息発作を経験した施設において、直近1年間で最も重症だったぜん息発作の程度は、小発作が54.9%で、平成26年度調査結果の61.9%に比べ、7.0ポイント減少した。中発作、大発作はそれぞれ37.6%、6.6%と平成26年度調査結果より高い割合となっている(表9)。

表8 直近1年間でぜん息発作を発症した子供がいた施設

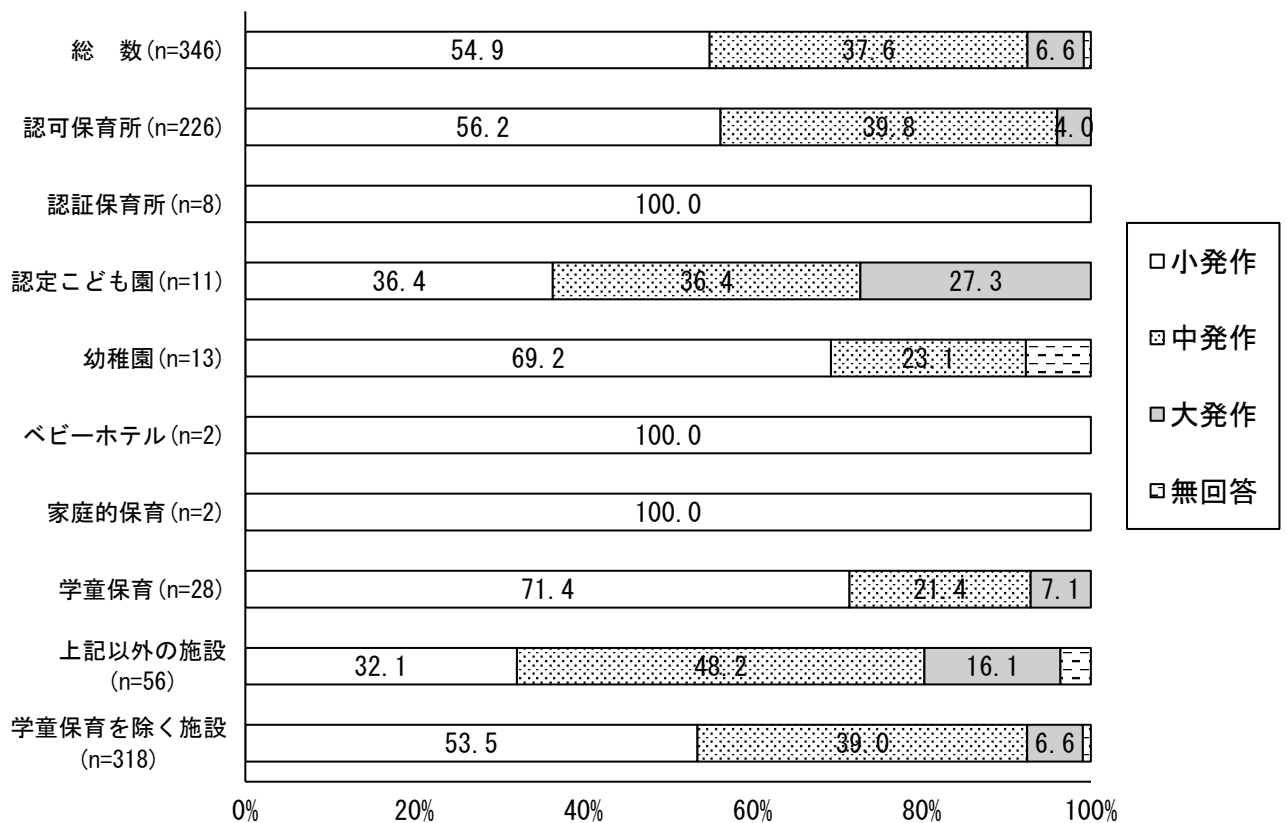
	令和元年度(2019年度) (n=5,187)		平成26年度(2014年度) (n=5,348)	
	施設数	%	施設数	%
ぜん息発作を発症した子供がいた施設	346	6.7	486	9.1

表9 直近1年間で最も症状が重かったぜん息発作の程度

	令和元年度(2019年度)		平成26年度(2014年度)	
	施設数	%	施設数	%
小発作	190	54.9	301	61.9
中発作	130	37.6	157	32.3
大発作	23	6.6	23	4.7
無回答	3	0.9	5	1.0
総数	346	100.0	486	100.0

注1) 「総数」は、直近1年間に子供のぜん息発作を経験した施設のうち、発作の程度について回答があった施設数。

注2) 発作の程度について、施設職員が判断したものであり、医師・看護師等の医療従事者が判断したものとは限らない。



(参考) 直近1年間で最も症状の重かったぜん息発作の程度 (施設別の割合) (%)

本調査におけるぜん息発作の程度と子供の様子

- 1 小発作 : 呼吸の音は軽くゼーゼーヒューヒューしていた
呼吸は苦しそうであったが、横になることはできた
食事はほぼ普通に食べられた
- 2 中発作 : 呼吸の音が明らかにゼーゼーヒューヒューしていた
呼吸が苦しそうで、座った状態を好んだ (横になることを嫌がる)
食事はやや食べにくそうで、お昼寝時は時々目を覚ましていた
- 3 大発作 : 呼吸の音が著明にゼーゼーヒューヒューしていた
呼吸はとても苦しそうで、横になれず、前かがみになりがちであった
食事は食べられず、お昼寝もできなかった

参考文献 : 小児アレルギー疾患総合ガイドライン 2011

ぜん息発作時の対応を程度別にみると、大発作では、「かかりつけ医や嘱託医等に連絡をして指示を受けた」が30.4%、「持参薬（発作治療薬）を吸入・内服させた」が26.1%、「救急車を要請したが、21.7%、「医療機関を受診した」が17.4%など、医師の指示を必要とする対応の割合が高くなっている（図6）。

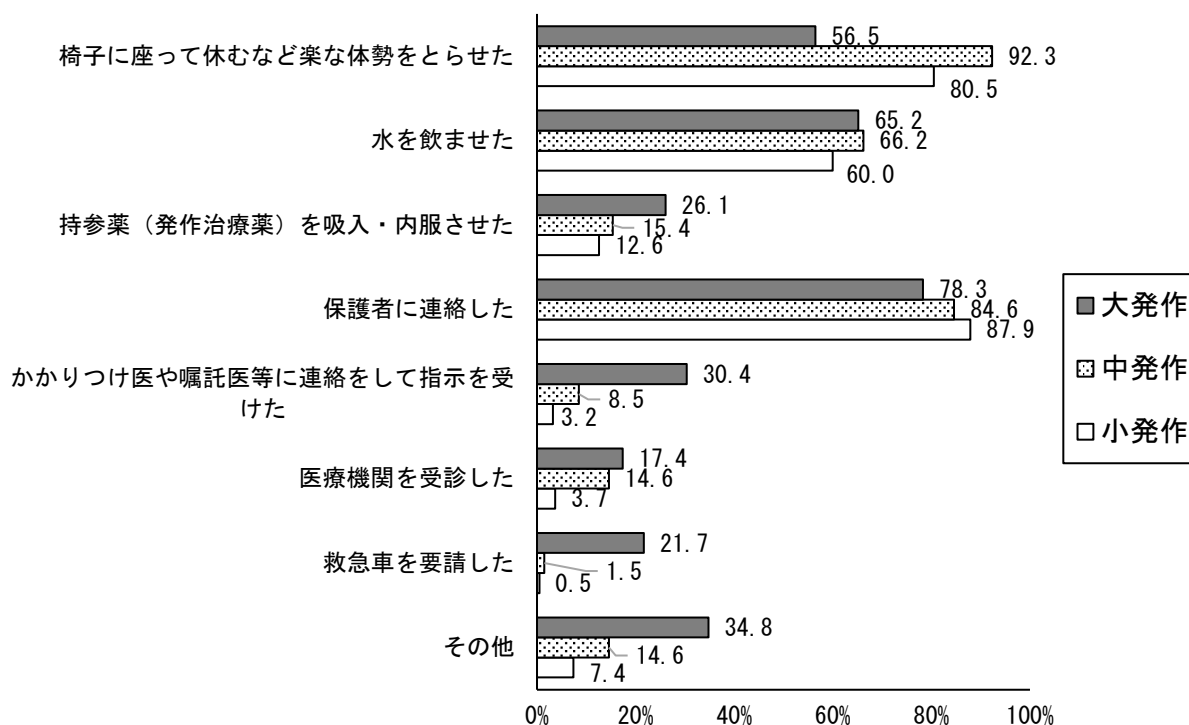
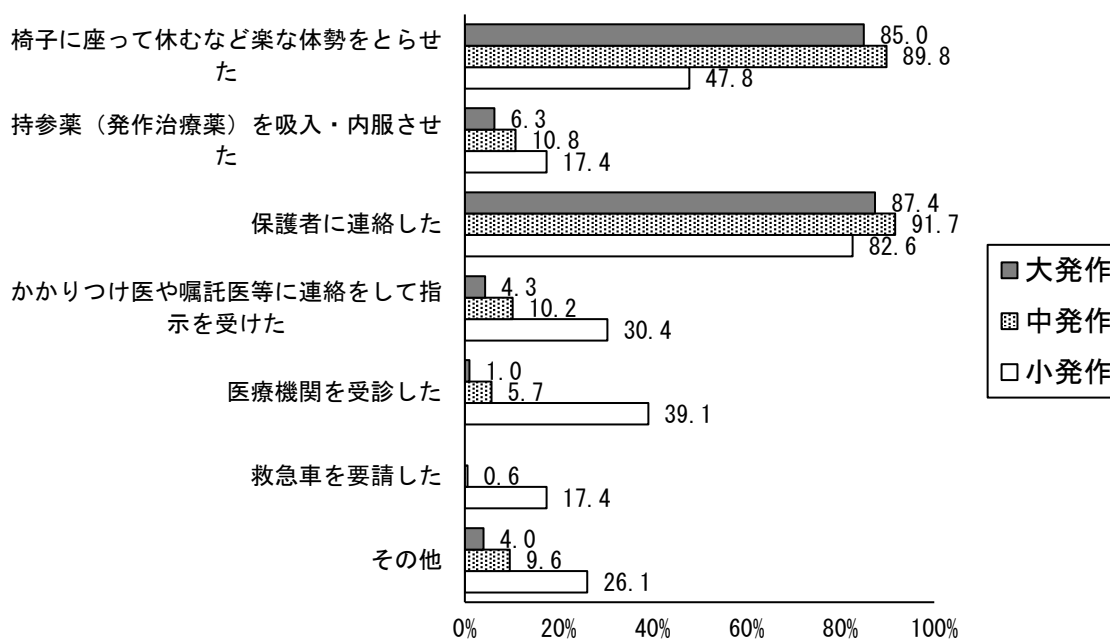


図6 ぜん息発作の程度別の対応内容（%）（複数回答）



（参考）ぜん息発作の程度別の対応内容（%）（複数回答）（平成26年度）

4 食物アレルギー・アナフィラキシーについて

(1) 施設で提供している食べ物の提供形式 《問3-1》 (資料編 表19)

施設での食べ物の提供形式をみると、全施設(5,187施設)のうち、「おやつ」が4,266施設(82.2%)、「給食(昼食)」が3,746施設(72.2%)と多かった。「給食(昼食)」または「給食(夕食)」を提供している施設は3,759施設(72.5%)であった(表10)。「その他」では、「行事食のみ提供」、「施設で収穫した野菜を提供」等があった。

「食べ物を提供していない」施設は、全施設のうち183施設(3.5%)であった。全施設から「食べ物を提供していない」(183施設)及び無回答(86施設)を除くと、4,918施設(94.8%)が何らかの食べ物を提供しており、平成26年度調査結果の86.6%より8.2ポイント増加している。

表10 施設での食べ物の提供形式(施設別)(複数回答)

	施設 総数	給食(昼食)		給食(夕食)		補食		おやつ		食べ物を提供し ていない		その他		無回答		再掲 給食(昼食) または 給食(夕食)	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
		認可保育所	1,974	1,946	98.6	599	30.3	1,656	83.9	1,820	92.2	-	-	39	2	21	1.1
認証保育所	378	370	97.9	177	46.8	250	66.1	338	89.4	-	-	2	0.5	8	2.1	370	97.9
認定こども園	93	89	95.7	22	23.7	56	60.2	87	93.5	-	-	4	4.3	3	3.2	89	95.7
幼稚園	611	343	56.1	2	0.3	30	4.9	336	55	55	9	168	27.5	11	1.8	343	56.1
ベビーホテル	224	149	66.5	49	21.9	57	25.4	143	63.8	42	18.8	27	12.1	7	3.1	149	66.5
家庭的保育	180	140	77.8	2	1.1	34	18.9	132	73.3	16	8.9	7	3.9	6	3.3	141	78.3
学童保育	980	106	10.8	6	0.6	100	10.2	829	84.6	24	2.4	152	15.5	18	1.8	108	11.0
事業所内保育施設	170	125	73.5	35	20.6	61	35.9	130	76.5	13	7.6	22	12.9	1	0.6	125	73.5
院内保育施設	116	92	79.3	53	45.7	26	22.4	91	78.4	6	5.2	15	12.9	5	4.3	93	80.2
小規模保育	269	263	97.8	12	4.5	123	45.7	238	88.5	1	0.4	3	1.1	3	1.1	264	98.1
病児・病後児保育	92	55	59.8	6	6.5	15	16.3	57	62	17	18.5	18	19.6	1	1.1	55	59.8
一時預かり	27	14	51.9	1	3.7	7	25.9	14	51.9	7	25.9	4	14.8	-	-	15	55.6
その他	73	54	74	3	4.1	9	12.3	51	69.9	2	2.7	5	6.8	2	2.7	54	74.0
総数	5,187	3,746	72.2	967	18.6	2,424	46.7	4,266	82.2	183	3.5	466	9	86	1.7	3,759	72.5
学童保育を除く施設 (再掲)	4,207	3,640	86.5	961	22.8	2,324	55.2	3,437	81.7	159	3.8	314	7.5	68	1.6	3,651	86.8

(参考) 施設での食べ物の提供形式(施設別)(複数回答)(平成26年度)

	施設 総数	給食 (昼食や夕食)		補食		おやつ		食べ物を提供してい ない		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,588	1,575	99.2	1,256	79.1	1,550	97.6	1	-	8	0.5
認証保育所	527	526	99.8	403	76.5	519	98.5	-	-	1	0.2
認定こども園	95	93	97.9	44	46.3	88	92.6	-	-	-	-
幼稚園	666	381	57.2	40	6.0	408	61.3	134	20.1	4	0.6
ベビーホテル	331	246	74.3	83	25.1	287	77.6	57	17.2	3	0.9
家庭的保育	596	142	23.8	51	8.6	194	32.6	370	62.1	13	2.2
学童保育	1,169	122	10.4	68	5.8	1,114	95.3	42	3.6	9	0.8
上記以外の施設	376	251	66.8	95	25.3	288	76.6	67	17.8	5	1.3
総数	5,348	3,336	62.4	2,040	38.1	4,418	82.6	671	12.5	43	0.8

(2) 施設で提供している食べ物の調理方式 《問3-2》 (資料編 表20)

施設で提供している食べ物の調理方式をみると、全施設(5,187施設)のうち3,363施設(64.8%)が「施設内で調理」を行っていた。

施設別でみると、認可保育所、認証保育所、小規模保育では、90%以上が施設内で調理を行っていた(表11)。

表11 施設で提供している食べ物の調理方式(施設別)

	施設 総数	施設内で調理		共同調理場で調理した給食を提供するセンター方式		民間業者が調理して、所・園に届ける弁当方式		弁当を持参してもらう(食物アレルギーの有無に関わらず)		食べ物を提供していない		その他		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所	1,974	1,941	98.3	2	0.1	-	-	-	-	-	-	10	0.5	21	1.1
認証保育所	378	369	97.6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.3	8	2.1
認定こども園	93	74	79.6	1	1.1	12	12.9	-	-	-	-	2	2.2	4	4.3
幼稚園	611	104	17	24	3.9	247	40.4	110	18	44	7.2	35	5.7	47	7.7
ベビーホテル	224	101	45.1	2	0.9	44	19.6	35	15.6	23	10.3	9	4	10	4.5
家庭的保育	180	115	63.9	4	2.2	2	1.1	20	11.1	7	3.9	20	11.1	12	6.7
学童保育	980	168	17.1	-	-	58	5.9	280	28.6	38	3.9	334	34.1	102	10.4
事業所内保育施設	170	105	61.8	1	0.6	14	8.2	36	21.2	4	2.4	5	2.9	5	2.9
院内保育施設	116	47	40.5	18	15.5	6	5.2	12	10.3	2	1.7	24	20.7	7	6
小規模保育	269	246	91.4	5	1.9	1	0.4	1	0.4	1	0.4	12	4.5	3	1.1
病児・病後児	92	50	54.3	2	2.2	2	2.2	20	21.7	8	8.7	7	7.6	3	3.3
一時預かり事業	27	14	51.9	-	-	-	-	7	25.9	4	14.8	1	3.7	1	3.7
その他	73	29	39.7	1	1.4	23	31.5	14	19.2	-	-	4	5.5	2	2.7
総数	5,187	3,363	64.8	60	1.2	409	7.9	535	10.3	131	2.5	464	8.9	225	4.3
学童保育を除く総数 (再掲)	4,207	3,195	75.9	60	1.4	351	8.3	255	6.1	93	2.2	130	3.1	123	2.9

(3) 食物アレルギーのある子供の受入状況 《問3-3》 (資料編 表21~22)

入園・入所時に食物アレルギーのある子供を「預かる」と回答した施設は、全施設(5,187施設)のうち4,399施設(84.8%)であった。「預かる」と「軽度であれば預かる」の合計は93.7%であり、平成26年度調査結果(89.8%)と比較すると食物アレルギーのある子供を預かる施設の割合は増加していた(表12)。

認可保育所、認定こども園、学童保育では90%以上が「預かる」と回答した。また、家庭的保育でも「預かる」「軽度であれば預かる」を合わせると70.0%が「預かる」と回答しており、平成26年度調査結果(50.5%)に比べ、19.5ポイント増加していた(図7)。

食物アレルギーのある子供を預からないと回答した60施設の預からない理由は、「対応に責任がもてない」(50.0%)が最も多く、次いで「対応に不安がある」(31.7%)、「人手不足」(30.0%)であった(表13)。

表12 食物アレルギーのある子供の受入状況(施設別)

	全施設		内訳			
			学童保育を除く施設		学童保育	
	施設数	%	施設数	%	施設数	%
預かる	4,399	84.8	3,479	82.7	920	93.9
軽度であれば預かる	464	8.9	457	10.9	7	0.7
決まっていない	73	1.4	67	1.6	6	0.6
その他	114	2.2	83	2.0	31	3.2
預からない	60	1.2	58	1.4	2	0.2
無回答	77	1.5	63	1.5	14	1.4
総数	5,187	100.0	4,207	100.0	980	100.0

注) 学童保育については、他施設に比べ在籍児の年齢が異なるため、「学童保育を除く施設」と「学童保育」の比較を再掲。

(参考) 食物アレルギーのある子供の受入状況(施設別)(平成26年度)

	全施設		内訳			
			学童保育を除く施設		学童保育	
	施設数	%	施設数	%	施設数	%
預かる	4,805	89.8	3,660	87.6	1,145	97.9
その他	287	5.4	284	6.8	3	0.3
預からない	148	2.8	146	3.5	2	0.2
無回答	108	2.0	89	2.1	19	1.6
総数	5,348	100.0	4,179	100.0	1,169	100.0

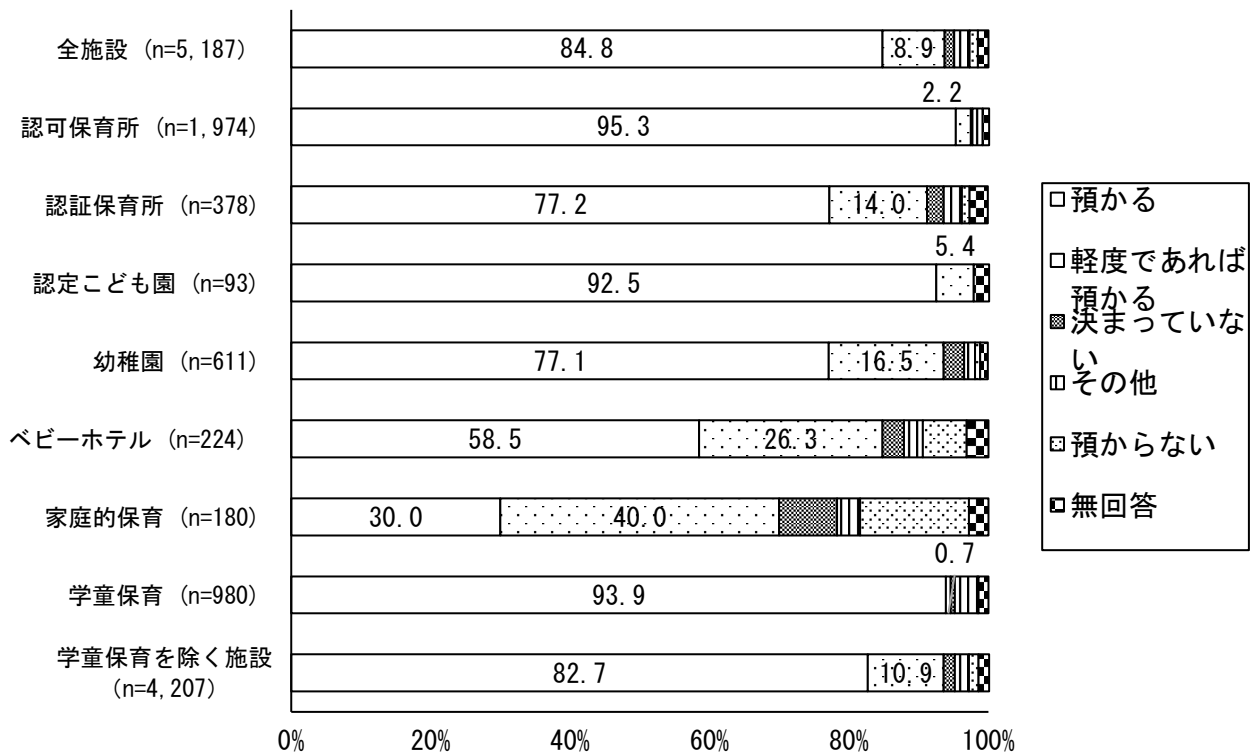
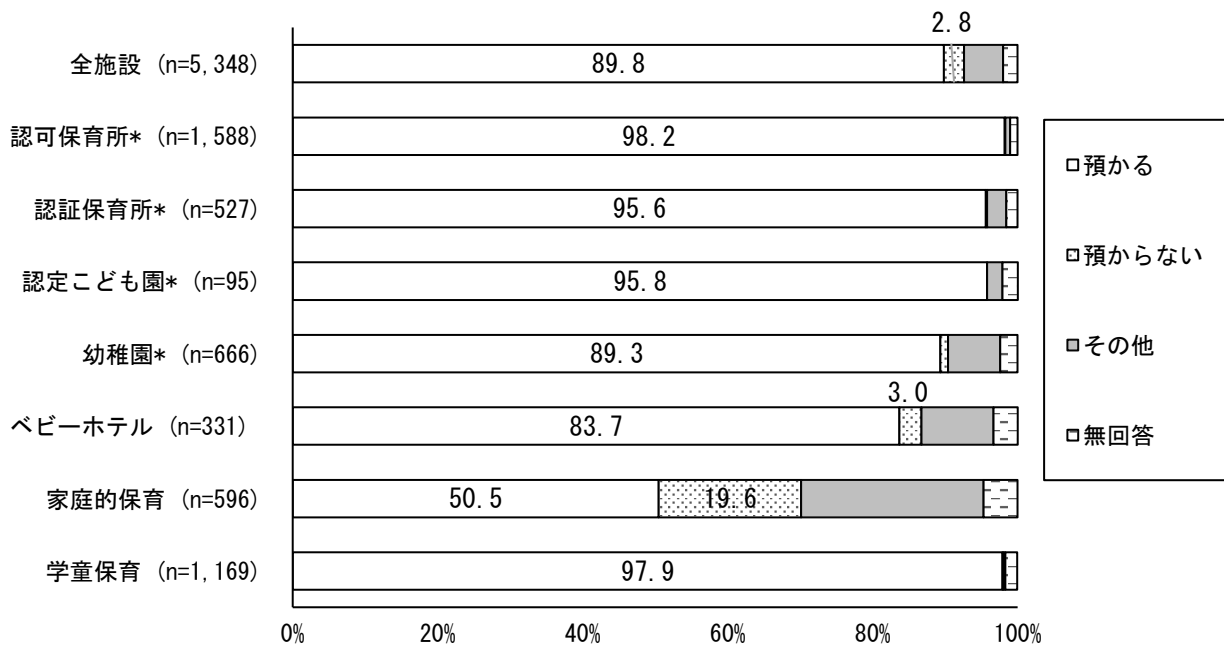


図7 食物アレルギーのある子供の受入状況（施設別の割合）



(参考) 食物アレルギーのある子供の受入状況（施設別の割合）（平成26年度）

表 13 食物アレルギーのある子供を受け入れない理由（施設別）（複数回答）

	全施設		内訳			
			学童保育を除く施設		学童保育	
	施設数	%	施設数	%	施設数	%
対応方法がわからない	3	5.0	3	5.2	-	-
対応に不安がある	19	31.7	19	32.8	-	-
対応に責任がもてない	30	50.0	30	51.7	-	-
人手不足	18	30.0	18	31.0	-	-
経費がかかる	2	3.3	2	3.4	-	-
その他	15	25.0	13	22.4	2	100.0
無回答	7	11.7	7	12.1	-	-
総数	60	-	58	-	2	100.0

注) 食物アレルギーのある子供を受け入れないと回答した施設における状況。

(4) エピペン®を処方されている子供の受入状況 《問3-4》 (資料編 表23)

入園・入所時にアドレナリン自己注射薬(エピペン®)を処方されている子供を受け入れる施設は、全施設(5,187施設)のうち3,845施設(74.1%)であった(表14)。平成26年度調査結果(60.3%)に比べ、エピペン®を処方されている子供を預かる施設の割合が13.8ポイント増加した。

施設別にみると、「預かる」割合が最も高い施設は、学童保育が92.1%、次いで認可保育所が87.9%であった。「預からない」割合が高いのは、家庭的保育が37.2%、ベビーホテルが31.7%であった(図8)。

表14 エピペン®を処方されている子供の受入状況

	令和元年度(2019年)		平成26年度(2014年)	
	施設数	%	施設数	%
預かる	3,845	74.1	3,227	60.3
預からない	365	7.0	585	10.9
決まっていない	563	10.9	1,261	23.6
その他	298	5.7	—	—
無回答	116	2.2	275	5.1
総数	5,187	100.0	5,348	100.0

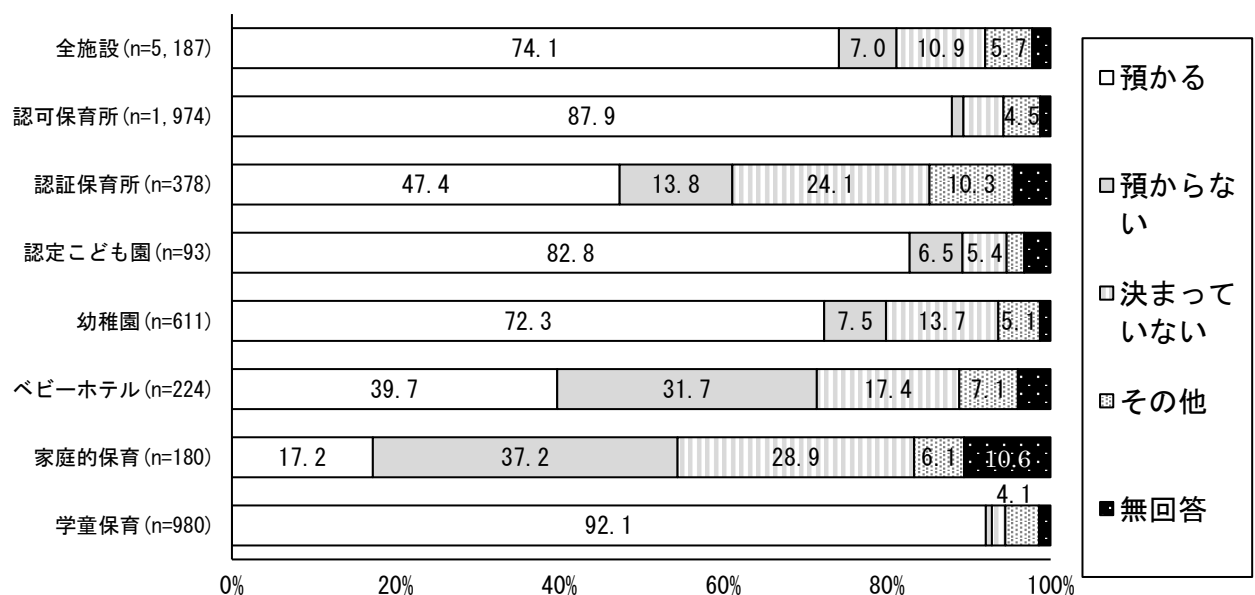


図8 エピペン®を処方されている子供の受入状況 (施設別の割合)

(5) 施設でのエピペン®の預かり状況 《問3-5》 (資料編 表24~25)

「エピペン®を処方されている子供を預かる」と回答した3,845施設のうち、施設でエピペン®を「預かる」と回答した施設は3,112施設(80.9%)であった。平成26年度調査結果(68.7%)に比べ「預かる」施設が12.2ポイント増加した(表15)。

施設別にみると、学童保育を除いて90%以上の施設が、エピペン®を「預かる」と回答している(図9)。

表15 施設でのエピペン®の預かり状況

	令和元年度(2019年)		平成26年度(2014年)	
	施設数	割合	施設数	割合
預かる	3,112	80.9	2,218	68.7
預からない	372	9.7	377	11.7
決まっていない	76	2.0	79	2.4
その他	268	7.0	—	—
無回答	17	0.4	553	28.1
総数	3,845	100.0	3,227	100.0

注) エピペン®を処方されている子供を預かると回答した施設における状況。

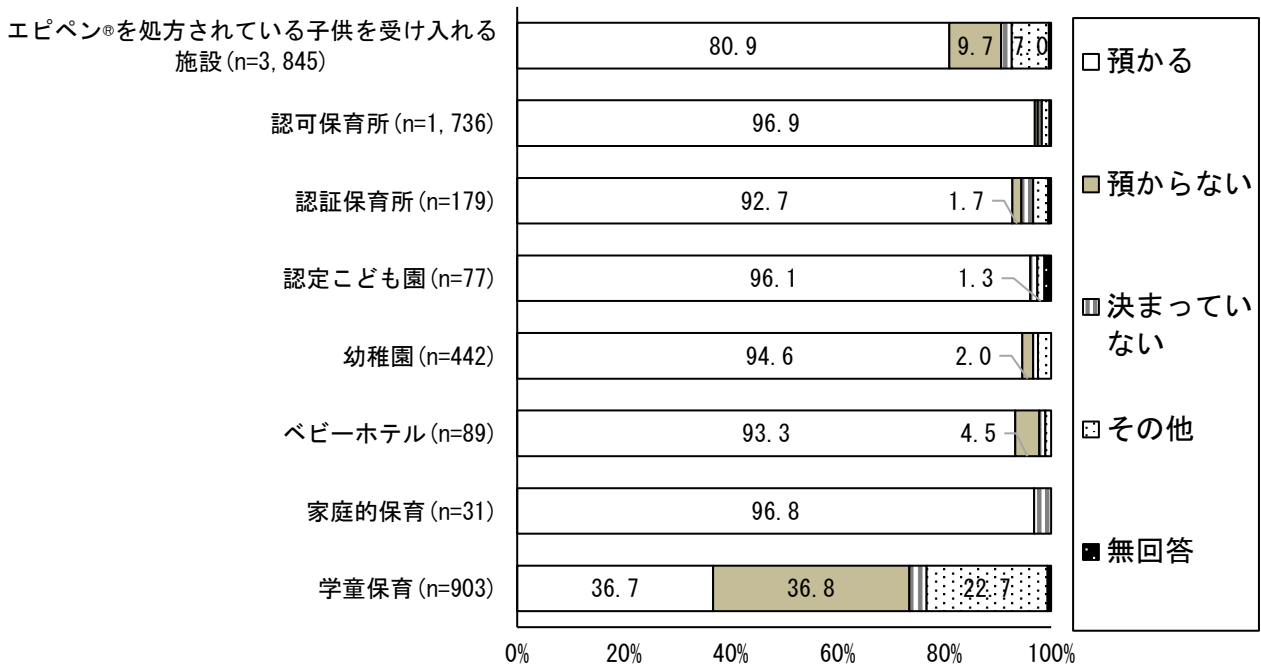


図9 施設でのエピペン®の預かり状況 (施設別の割合)

「エピペン®を預かる」と回答した3,112施設のうち、748施設(24.0%)が調査時点でエピペン®を預かっていた(表16)。施設別にみると、認可保育所が385施設で最も多く、次いで幼稚園が200施設であった。家庭的保育では現在エピペン®を預かっている施設はなかった。

エピペン®を預かっている子供の人数をみると、幼稚園では他施設に比べ、複数の子供を預かっている施設が多かった。

表16 施設でエピペン®を預かっている子供の人数(施設別)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	計
全施設	566	140	28	9	3	2	748
認可保育所	316	67	2	—	—	—	385
認証保育所	16	—	—	—	—	—	16
認定こども園	29	5	4	1	—	—	39
幼稚園	121	50	19	6	2	2	200
ベビーホテル	16	3	—	—	—	—	19
家庭的保育	—	—	—	—	—	—	0
学童保育	59	11	3	1	—	—	74
上記以外の施設	9	4	—	1	1	—	15

注) 調査時点でエピペン®を預かっていると回答があった施設における状況。

(6) 食物アレルギーのある子供への食事の提供方針 <問3-6> (資料編 表26)

一般的な食物アレルギーのある子供への給食に関する対応としては、全施設(5,187施設)のうち、「詳細な献立作成」が1,333施設(25.7%)で最も多く、次いで「除去食による対応」が1,269施設(24.5%)、「代替食による対応」が879施設(16.9%)であった(表17)。

表17 食物アレルギーのある子供への食事の提供方針

	施設総数	詳細な献立の作成(給食やおやつ の原材料を記載した献立表を 事前配布し、原因食品を 除いて食べる)		一部弁当対応(除去食又は代 替食対応において、代替提供が 困難な献立のみ 弁当持参)		完全弁当対応(食物アレル ギ-対応が困難 なため、全て弁 当持参)		除去食による対応(原因となる 食物を除いた食 物を提供)		代替食による対応(原因となる 食物の代わりと なる食物を、必 要な栄養の摂取 基準量を補充し て提供)		その他		食べ物を提供 していない		食物アレルギー のある子供を 預かっていない		無回答	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
認可保育所	1,974	794	40.2	150	7.6	4	0.2	445	22.5	510	25.8	44	2.2	1	0.1	6	0.3	20	1.0
認証保育所	378	151	39.9	18	4.8	1	0.3	114	30.2	77	20.4	11	2.9	—	—	3	0.8	3	0.8
認定こども園	93	32	34.4	9	9.7	4	4.3	21	22.6	19	20.4	7	7.5	1	1.1	—	—	—	—
幼稚園	611	83	13.6	84	13.7	77	12.6	93	15.2	52	8.5	87	14.2	102	16.7	2	0.3	31	5.1
ベビーホテル	224	33	14.7	26	11.6	34	15.2	54	24.1	13	5.8	8	3.6	37	16.5	8	3.6	11	4.9
家庭的保育	180	26	14.4	4	2.2	21	11.7	45	25.0	8	4.4	8	4.4	17	9.4	44	24.4	7	3.9
学童保育	980	42	4.3	10	1.0	129	13.2	284	29.0	127	13.0	163	16.6	126	12.9	22	2.2	77	7.9
事業所内保育施設	170	35	20.6	7	4.1	27	15.9	43	25.3	15	8.8	9	5.3	12	7.1	17	10.0	5	2.9
院内保育施設	116	11	9.5	11	9.5	31	26.7	35	30.2	12	10.3	4	3.4	7	6.0	4	3.4	1	0.9
小規模保育	269	102	37.9	17	6.3	4	1.5	94	34.9	29	10.8	11	4.1	1	0.4	8	3.0	3	1.1
病児・病後児保育	92	11	12.0	9	9.8	12	13.0	22	23.9	5	5.4	6	6.5	23	25.0	—	—	4	4.3
一時預かり	27	4	14.8	2	7.4	2	7.4	5	18.5	2	7.4	4	14.8	7	25.9	1	3.7	—	—
その他	73	9	12.3	6	8.2	12	16.4	14	19.2	10	13.7	5	6.8	6	8.2	8	11.0	3	4.1
総数	5,187	1,333	25.7	353	6.8	358	6.9	1,269	24.5	879	16.9	367	7.1	340	6.6	123	2.4	165	3.2
学童保育を除く施設 (再掲)	4,207	1,291	30.7	343	8.2	229	5.4	985	23.4	752	17.9	204	4.8	214	5.1	101	2.4	88	2.1

(7) 誤食・誤配予防の取組状況 <問3-7> (資料編 表27)

誤食・誤配予防のための工夫として行っていることについては、全施設(5,187施設)のうち、「受渡時の確認」が3,714施設(71.6%)で最も多く、次いで、「専用食器・トレイなどの利用」が3,621施設(69.8%)であった(表18)。

「その他」としては、「他児と離れたところにアレルギー児専用のテーブルを設置」、「アレルギーのある子供を介助する職員を配置、固定配置」、「朝の受入時に保護者と確認を行う」、「献立を保護者、職員間でチェックする」、「アレルギーチェック表を使用」、「アレルギー食にラップをし、除去品目を記入」などの回答があった。

表18 誤食・誤配予防の取組の実施状況(複数回答)

	施設数	%
受渡時の確認	3,714	71.6
専用食器・トレイなどの利用	3,621	69.8
配膳名札の工夫	2,933	56.5
座席の固定	2,955	57.0
個別配送・配膳	2,311	44.6
他の子供との間に職員が座る	2,185	42.1
アレルギー食材を使用しない献立表作成	1,887	36.4
その他	565	10.9
特に行っていない	41	0.8
食物アレルギーのある子供を預かっていない	195	3.8
無回答	134	2.6
総数	5,187	-

(参考) 誤食・誤配予防の取組の実施状況(食物アレルギーの子供が在籍している施設)(複数回答)

	施設数	%
受け渡し時の確認	3,241	76.2
専用食器・トレイなどの利用	3,143	73.9
配膳名札の工夫	2,590	60.9
座席の固定	2,559	60.1
個別配送・配膳	2,022	47.5
他の子供との間に職員が座る	1,837	43.2
アレルギー食材を使用しない献立表作成	1,642	38.6
その他	485	11.4
特に行っていない	35	0.8
食物アレルギーのある子供を預かっていない	24	0.6
無回答	77	1.8
総数	4,255	-

(8) 食物アレルギーの症状発生の有無とその原因 《問3-8～問3-10》(資料編 表28～34)

直近1年間に施設内で食物アレルギー症状を発した子供がいた施設は、全施設(5,187施設)のうち608施設(11.7%)で、平成26年度調査結果(19.0%)に比べ、7.3ポイント減少した(表19)。

表19 直近1年間で食物アレルギー症状を発症した子供の有無

	令和元年度 (2019年度)		平成26年度 (2014年度)	
	施設数	%	施設数	%
あり	608	11.7	1,014	19.0
なし	4,503	86.8	4,250	79.5
無回答	76	1.5	84	1.6
総数	5,187	100.0	5,348	100.0

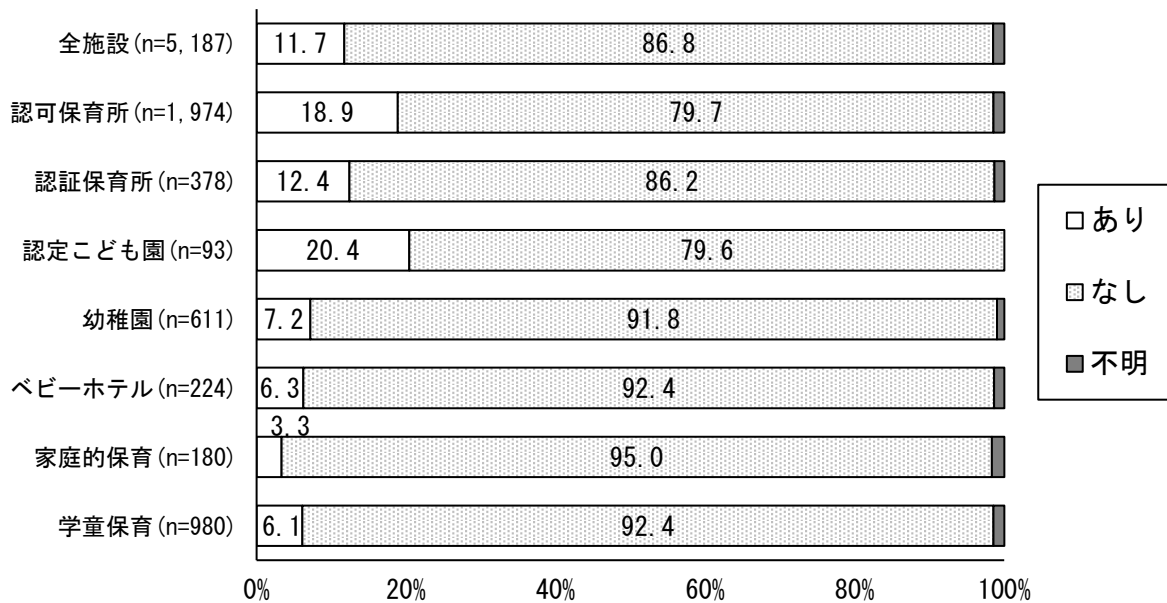


図10 直近1年間で食物アレルギー症状を発した子供がいた施設の割合(施設別)

(参考) 直近1年間で食物アレルギーを発症した子供の有無

(食物アレルギーのある子供が在籍している施設)

	令和元年度 (2019年度)		平成26年度 (2014年度)	
	施設数	割合	施設数	割合
あり	587	13.8	958	22.3
なし	3,613	84.9	3,282	76.3
無回答	55	1.3	63	1.5
総数	4,255	100.0	4,303	100.0

直近1年間に食物アレルギー症状を発した子供がいた608施設における食物提供の状況は、「給食・補食・おやつを提供」が525施設(86.3%)、「補食・おやつを提供」が60施設(9.9%)、「食物提供をしていない」が6施設(1.0%)であった(表20)。

表20 直近1年間に食物アレルギー症状を発した子供がいた施設における食物の提供状況

	全施設 (n=608)		内 訳			
			学童保育を除く施設 (n=548)		学童保育 (n=60)	
	施設数	%	施設数	%	施設数	%
給食提供施設 (補食・おやつを提供の有無に関わらず 給食(昼食)または給食(夕食)の提供を回答に含んでいる施設)	525	86.3	518	94.5	7	11.7
給食を提供せず補食またはおやつを提供している施設	60	9.9	13	2.4	47	78.3
食物提供をしていない施設	6	1.0	6	1.1	0	0

直近1年間に食物アレルギー症状を発した子供がいた608施設のうち、子供の発症が初発（症状が出る前に食物アレルギーの原因食物の診断がなされておらず、初めて症状を経験した場合）のケースがあった施設は314施設（51.6%）であり、平成26年度調査結果（64.9%）に比べ13.3ポイント減少した（表21）。

また、誤食が原因で子供がアレルギー症状が発した事例のあった施設は104施設（17.1%）であり、平成26年度調査結果（34.1%）に比べ17.0ポイント減少した（表22）。

表21 直近1年間で食物アレルギー症状を発した子供がいた施設における初発例の有無

	令和元年度 (2019年度)		平成26年度 (2014年度)	
	施設数	割合	施設数	割合
あり	314	51.6	658	64.9
なし	287	47.2	-	-
無回答	7	1.2	71	7.0
総数	608	100.0	1,014	-

(参考) 直近1年間で食物アレルギー症状を発した子供がいた施設における初発例の有無

(施設種別ごと)

	施設数	%	内訳			
			学童保育を除く施設		学童保育	
			施設数	%	施設数	%
あり	314	51.6	293	53.5	21	35.0
なし	287	47.2	248	45.3	39	65.0
無回答	7	1.2	7	1.3	0	0.0
総数	608	100.0	548	100.0	60	100.0

注) 学童保育については他施設に比べ在籍児の年齢が異なるため、「学童保育を除く施設」と「学童保育」の比較を再掲。

表 22 食物アレルギー症状を発した子供がいた施設における誤食事例の有無

	令和元年度 (2019年度)		平成26年度 (2014年度)	
	施設数	割合	施設数	割合
あり	104	17.1	346	34.1
なし	457	75.2	-	-
無回答	47	7.7	71	7.0
総数	608	100.0	1,014	-

注) 直近1年間に食物アレルギーの症状を発した子供がいた施設における状況。

(参考) 食物アレルギーがある子供を受け入れている施設における誤食事例の有無

	施設数	%
あり	101	17.2
なし	445	75.8
無回答	41	7.0
総数	587	100.0

注) 調査時点で食物アレルギーがある子供が在籍し、かつ、直近1年間に食物アレルギーを発症した事例があった施設における状況。

(参考) 直近1年間で食物アレルギー症状を発した子供がいた施設における誤食事例の有無 (施設別)

	施設数	%	内訳			
			学童保育を除く施設		学童保育	
			施設数	%	施設数	%
あり	104	17.1	82	15.0	22	36.7
なし	457	75.2	420	76.6	37	61.7
無回答	47	7.7	46	8.4	1	1.7
総数	608	100.0	548	100.0	60	100.0

注) 学童保育については、他施設に比べ在籍児の年齢が異なるため、以下のとおり「学童保育を除く施設」と「学童保育」の比較を再掲。

誤食事例があったと回答した 104 施設のうち、誤食により子供がアレルギー症状を發した回数が 1 回のみであった施設は 93 施設(89.4%)、2 回は 7 施設 (6.7%) であった (表 23)。

誤食の原因 (その他を除く。)として最も多かったのは、「誤配膳」が 24 件 (23.1%)、次いで「原材料の見落とし」が 20 件 (19.2%) であった (表 24)。

表 23 誤食事例があった施設数と発生回数

		施設数	%
誤食あり		104	100.0
内訳	1回	93	89.4
	2回	7	6.7
	無回答	4	3.9

表 24 誤食事例があった施設における誤食の原因 (施設別) (複数回答)

	施設数	%	内訳			
			学童保育を除く施設		学童保育	
			施設数	%	施設数	%
誤配膳	24	23.1	19	23.2	5	22.7
原材料の見落とし	20	19.2	13	15.9	7	31.8
他の子供の食物を食べたり触れたりした	18	17.3	18	22.0	0	0.0
職員間で情報が共有されていなかった	14	13.5	9	11.0	5	22.7
保護者から必要な情報を得ていなかった	14	13.5	11	13.4	3	13.6
調理の段階で原因食材が混入した	9	8.7	9	11.0	0	0.0
その他	25	24.0	20	24.4	5	22.7
無回答	3	2.9	3	3.7	0	0.0
総数 (誤食のあった施設)	104	—	82	—	22	—

(9) 食物が原因で子供がアナフィラキシーを起こした事例の有無と重症度

《問3-11、問3-12》(資料編 表35~37)

直近1年間に施設内で子供が食物アレルギー症状を発した事例「あり」と回答した施設(608施設)のうち、食物を原因とするアナフィラキシー事例が発生した施設は101施設(16.6%)であり、平成26年度調査結果(20.8%)に比べ、4.2ポイント減少した(表25)。

直近1年間でアナフィラキシー事例が発生した101施設におけるアナフィラキシーの症状の程度は、軽症が48施設(47.5%)、中等症が33施設(32.7%)、重症が17施設(16.8%)であった(表26)。

表25 直近1年間に食物が原因のアナフィラキシー事例発生の有無(施設別)

	全施設		内訳			
			学童保育を除く施設		学童保育	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
あり	101	16.6	91	16.6	10	16.7
なし	504	82.9	455	83.0	49	81.7
無回答	3	0.5	2	0.4	1	1.7
総数	608	100.0	548	100.0	60	100.0

注) 直近1年間に食物アレルギー症状を発した子供がいた施設における状況。

(参考) 平成26年度(2014年度)調査

	施設数	%
直近1年間に子供が食物アレルギーを発した事例あり	1,014	100.0
直近1年間に食物を原因とするアナフィラキシー事例あり	211	20.8

表26 直近1年間に発生したアナフィラキシー事例における症状の程度

	令和元年度(2019年度)		平成26年度(2014年度)	
	施設数	割合	施設数	割合
軽症	48	47.5	114	54
中等症	33	32.7	77	36.5
重症	17	16.8	14	6.6
無回答	3	3.0	6	2.8
総数	101	100	211	100

注) 直近1年間に食物が原因のアナフィラキシー事例が発生した施設における状況。

本調査におけるアナフィラキシーの重症度分類

- 1 軽症
軽度のかゆみ、数個のじんま疹、部分的な赤み、目のかゆみ、充血、口の中の違和感、唇の腫れ、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、軽いお腹の痛み（がまんできる）、吐き気
- 2 中等症
強いかゆみ、全身に広がるじんま疹、全身が真っ赤、顔全体の腫れ、まぶたの腫れ、中等度のお腹の痛み、1～2回のおう吐、1～2回の下痢、数回の軽い咳
- 3 重症
持続する強い（がまんできない）お腹の痛み、繰り返し吐き続ける、のどや胸が締め付けられる、声がかすれる、犬がほえるような咳、息がしにくい、持続する強い咳込み、ゼーゼーする呼吸、ぐったり、意識がもうろう、尿や便をもらす、脈が触れにくいまたは不規則、唇や爪が青白い

出典：アナフィラキシーガイドライン

（参考）直近1年間に発生したアナフィラキシー事例における症状の程度（施設別）

	全施設	%	内訳			
			学童保育を除く施設		学童保育	
			施設数	%	施設数	%
軽度症状	48	47.5	40	44.0	8	80.0
中等症状	33	32.7	31	34.1	2	20.0
重症	17	16.8	17	18.7	0	0.0
無回答	3	3.0	3.0	3.3	0	0.0
総数	101	100.0	91	100.0	10	100.0

注) 学童保育については他施設に比べ在籍児の年齢が異なるため、以下のとおり「学童保育を除く施設」と「学童保育」の比較を再掲。

(10) アナフィラキシー発生時の対応 《問3-13》 (資料編 表38)

直近1年間に施設内で食物が原因のアナフィラキシー事例が発生したことがある施設(101施設)における、アナフィラキシー発生時の対応を重症度別にみると、重症例が発生した施設では「アドレナリン自己注射(エピペン®)を使用した」(23.5%)、「救急車を要請した」(76.5%)割合が軽症・中等症に比べて高かった(図12)。

平成26年度調査結果に比べ、軽症・中等症・重症のいずれにおいても、「安静にさせ経過観察を行った」「対応できる職員を集めた」割合が減少していた。また、重症例においては「かかりつけ医や嘱託医に連絡して指示を受けた」割合が28.2ポイント、「救急車を要請した」割合が26.5ポイント増加していた。

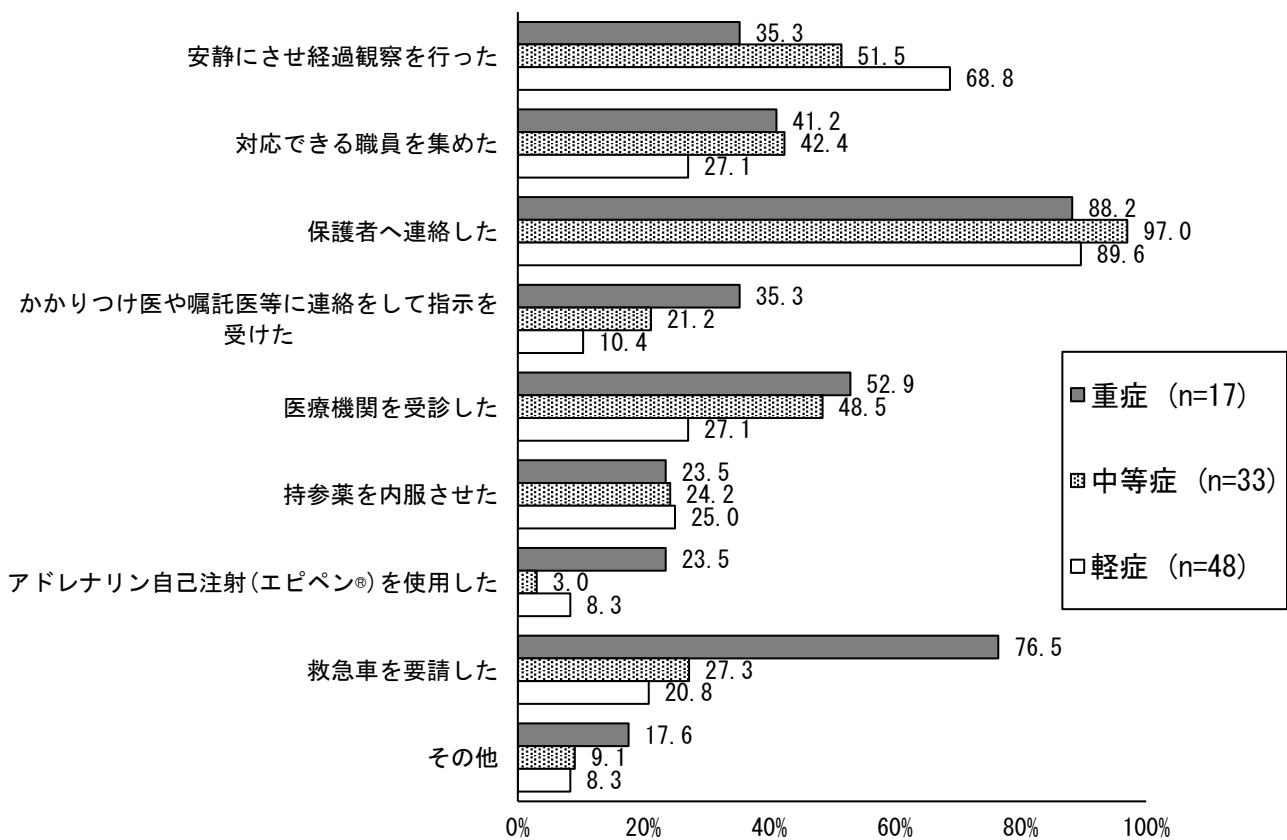
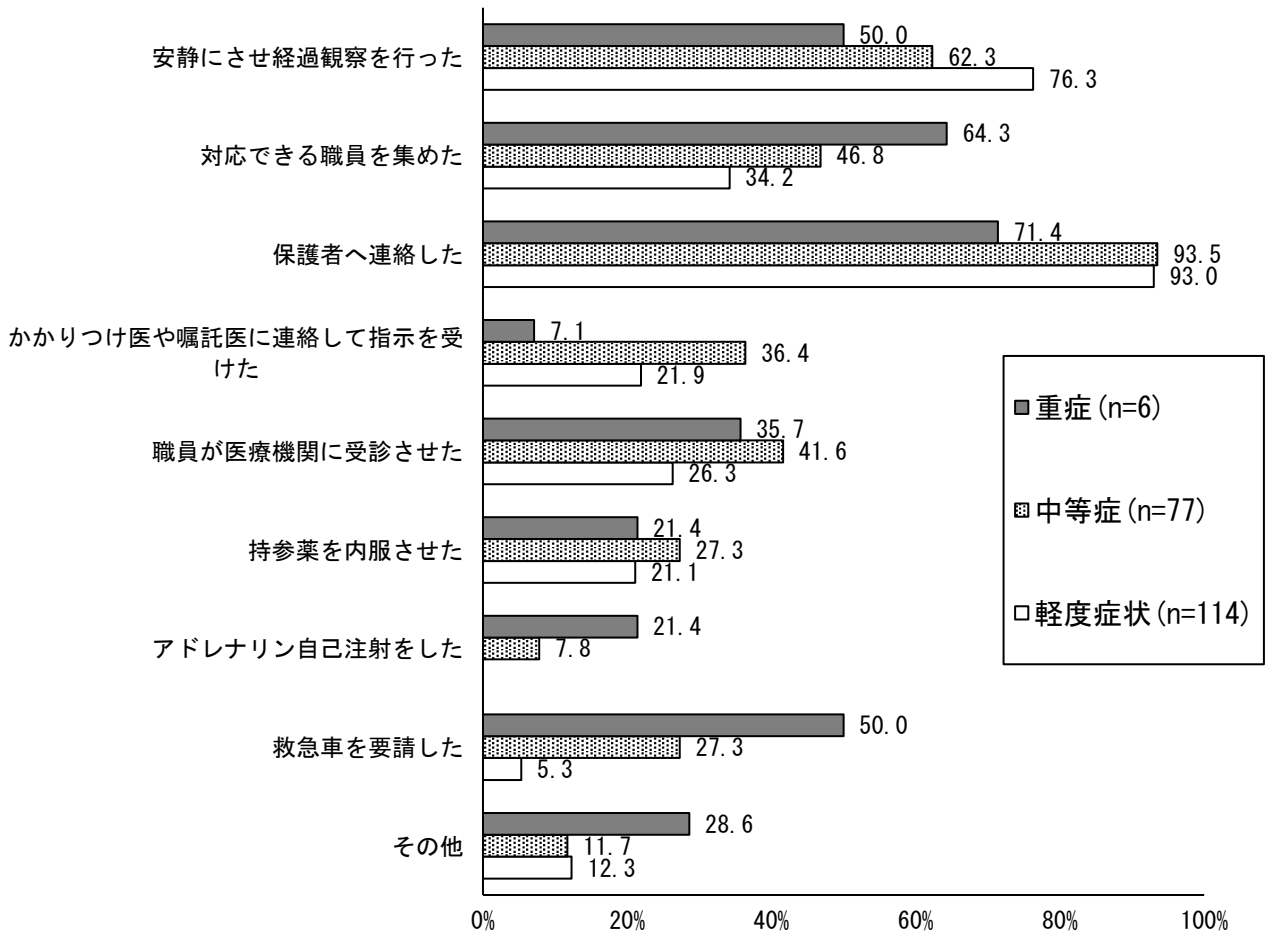


図11 アナフィラキシーの程度別の対応内容(複数回答)



(参考) アナフィラキシーの程度別の対応内容 (平成 26 年度)

(11) アナフィラキシー発生時の対応に役立ったもの 《問3-14》 (資料編 表39)

直近1年間に食物が原因のアナフィラキシー事例が発生したことがある101施設のうち、アナフィラキシーへの対応に役立ったものとしては、「職員間の連携」が73.3%、「マニュアルやガイドライン」が72.3%、「研修や講演会」が62.4%、「保護者との連携」が60.4%であった(表27)。

また、症状の程度別に比較した場合、重症になるにつれ「研修や講演会」や「緊急時を想定したシミュレーション訓練」を挙げた施設の割合が高くなった(図13)。

表27 アナフィラキシーの対応で役立ったもの(複数回答)

	施設数	%
職員間の連携	74	73.3
マニュアルやガイドライン	73	72.3
研修会や講演会	63	62.4
保護者との連携	61	60.4
所・園内での健康安全に関する会議	38	37.6
緊急時を想定したシミュレーション訓練	38	37.6
かかりつけ医・嘱託医への相談	25	24.8
消防機関との連携	6	5.9
その他	4	4.0

※回答施設数101施設

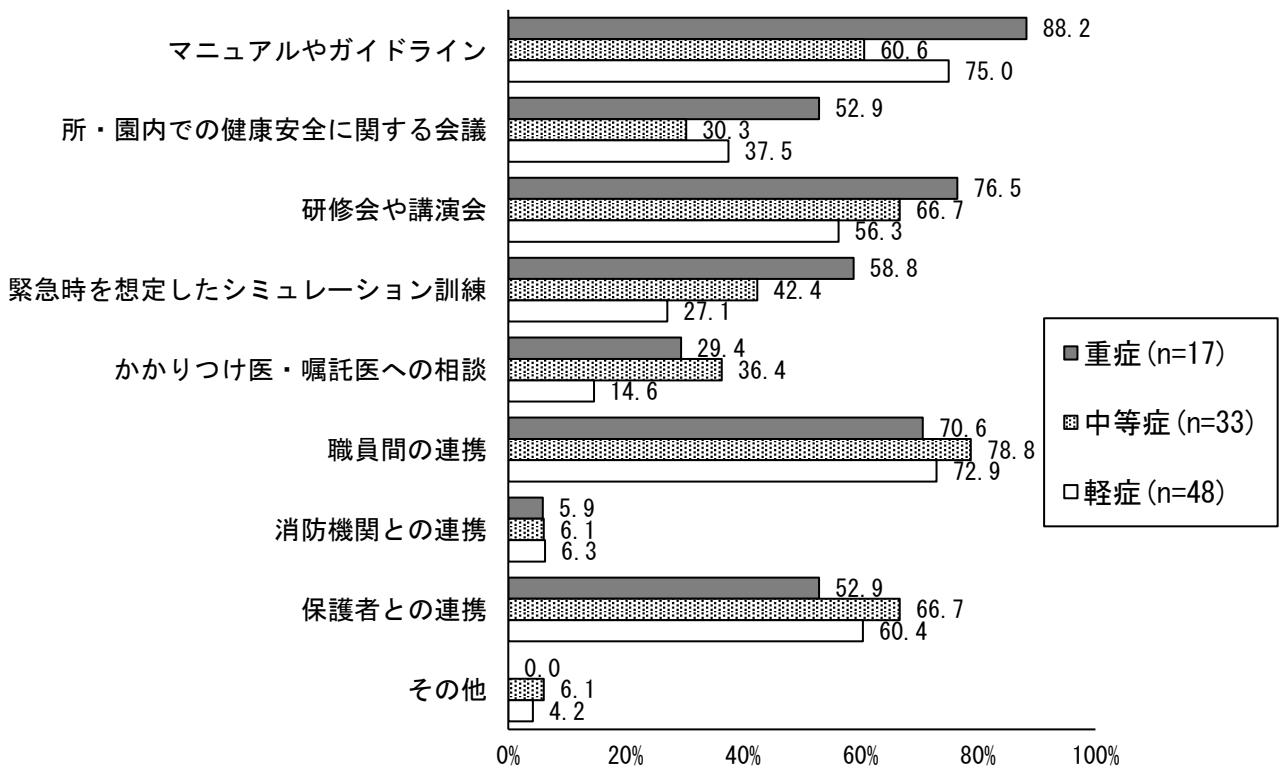


図12 アナフィラキシー発生時の対応で役立ったもの(症状の程度別)

(12) エピペン®の使用状況 《問3-15》 (資料編 表40~42)

直近1年間に食物が原因のアナフィラキシー事例が発生したことがある施設(101施設)のうち、エピペン®を使用したことがある施設は8.9%(9施設)であった(表28)。

表28 直近1年間にアナフィラキシーが発生した施設のうちエピペン®を使用したことがある施設

	総数	直近1年間にエピペン®を使用したことがある施設	
		施設数	%
食物が原因のアナフィラキシー事例が発生した施設	101	9	8.9

(参考) エピペン®を預かっている施設のうち直近1年間にエピペン®を使用した施設

	総数	直近1年間にエピペン®を使用したことがある施設	
		施設数	%
調査時点でエピペン®を預かっている施設	748	9	1.2

※上記9施設すべてが「現在エピペン®を預かっている」と回答している。

(参考) 平成26年度調査結果

	総数	<u>調査時点までに</u> エピペン®を使用したことがある施設	
		施設数	%
調査時点でエピペン®を預かっている施設	2,218	23	1.0

※「調査時点までにエピペン®を使用したことがある施設」23施設のうち、直近1年間でアナフィラキシーを経験した施設は13施設であった。(この1年間でアナフィラキシーを経験：211施設)

また、直近1年間にエピペン®を使用したことがある施設(9施設)において、エピペン®を使用した職種等は、看護師・保健師が5施設、保護者が2施設、管理職が1施設、保育士が1施設であった(表29)。

表29 エピペン®を使用した職種等

	施設数	%	施設種別(施設数)
管理職	1	11.1	幼稚園(1)
看護師・保健師	5	55.6	認可保育所(5)
保育士	1	11.1	幼稚園(1)
その他職員	0	0.0	
保護者	2	22.2	認可保育所(2)
総数(エピペン®使用あり)	9	100.0	

5 施設における取組について

(1) ガイドラインやマニュアルの整備状況 《問4-1》 (資料編 表43)

施設に備えているガイドラインやマニュアルについては、全施設(5,187施設)のうち、東京都作成の「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」は3,701施設(71.4%)、厚生労働省作成の「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」は2,563施設(49.4%)であった(表30)。「ガイドライン等は備えていない」施設は106施設(2.0%)であった。

「その他」としては、「会社や法人本部が作成したもの」が46施設、「文部科学省等が作成した資料」が31施設、「研修資料」が10施設などであった。

表30 アレルギー疾患の対応ガイドラインやマニュアルの整備状況(複数回答)(%) (n=5,187)

	全施設 (%)	施設種別内訳							左記以外の施設 (%)
		認可保育所 (%)	認証保育所 (%)	認定こども園 (%)	幼稚園 (%)	ベビーホテル (%)	家庭的保育 (%)	学童保育 (%)	
東京都作成「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」	71.4 (3,701)	73.6	70.6	69.9	68.6	68.3	72.2	74.1	65.3
厚生労働省作成「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」	49.4 (2,563)	73.4	67.7	50.5	13.9	44.6	46.1	14.1	54.4
施設で独自に作成したもの	41.4 (2,150)	52.8	63.0	45.2	22.6	31.7	11.7	27.3	43.9
東京都作成「子供を預かる施設における食物アレルギー日常生活・緊急時対応ガイドブック」	36.5 (1,892)	44.1	33.1	41.9	37.0	26.3	27.8	30.6	29.9
区市町村作成がしたもの	33.9 (1,758)	40.1	25.7	37.6	12.4	15.6	20.0	58.0	16.1
その他	3.9 (204)	2.6	0.8	5.4	8.0	3.6	5.0	5.1	3.7
ガイドライン等は備えていない	2.0 (106)	0.1	0.5	3.2	8.3	6.3	2.8	1.3	2.1
無回答	1.1 (59)	0.5	0.5	0.0	2.3	3.1	1.7	1.6	0.9

(2) アレルギー対策委員会や健康・安全に関する担当者の設置状況 《問4-2》(資料編 表44)

全施設(5,187施設)のうち、「アレルギー対策委員会やアレルギー専門委員会を設置している」施設は431施設(8.3%)で、「アレルギー対策委員会等は設置していないが、他の会議で検討している」1,876施設(36.2%)、「アレルギー対応に関する担当者を決めている」2,229施設(43.0%)、「決めていない」1,317施設(25.4%)であった(表31)。

子供が食物アレルギー症状を発したことがある施設やアナフィラキシー事例が発生したことがある施設では、「アレルギー対策委員会やアレルギー専門委員会を設置している」と回答した割合が、全施設の割合に比べて高かった(表32)。

表31 アレルギー対策委員会の設置状況(複数回答)(%) (n=5,187)

	全施設 (%)	施設種別内訳							左記以外の施設 (%)
		認可保育所 (%)	認証保育所 (%)	認定こども園 (%)	幼稚園 (%)	ベビーホテル (%)	家庭的保育 (%)	学童保育 (%)	
アレルギー対応に関する担当者を決めている	43.0 (2,229)	57.0	44.7	66.7	39.4	40.6	32.2	23.4	34.0
アレルギー対策委員会等は設置していないが、他の会議で検討している	36.2 (1,876)	44.5	44.4	39.8	37.8	24.6	11.1	25.7	31.5
決めていない	25.4 (1,317)	6.6	18.8	7.5	28.0	35.7	50.6	49.3	38.0
アレルギー対策委員会やアレルギー専門委員会を設置している	8.3 (431)	15.5	5.0	10.8	3.9	2.2	1.1	4.2	3.2
無回答	2.4 (122)	1.6	1.9	1.1	1.8	2.7	6.1	4.0	2.1

表32 食物アレルギー及びアナフィラキシー事例が発生した施設におけるアレルギー対策委員会の設置状況(複数回答)

	再掲			
	直近1年間に施設内で子供が食物アレルギー症状を発したことがある (608施設)		直近1年間に施設内で食物が原因のアナフィラキシー事例が起きたことがある (101施設)	
	施設数	割合	施設数	割合
アレルギー対応に関する担当者を決めている	318	52.3	19	18.8
アレルギー対策委員会等は設置していないが、他の会議で検討している	264	43.4	51	50.5
決めていない	84	13.8	14	13.9
アレルギー対策委員会やアレルギー専門委員会を設置している	68	11.2	15	14.9
無回答	12	1.9	3	3

(3) アレルギーに関する外部の研修・講演会等の参加状況 《問4-3》 (資料編 表45~46)

平成28年度から現在までに施設の職員等が参加したアレルギーに関する外部の研修・講演会等に「参加した」施設は、全施設(5,187施設)のうち、4,416施設(85.1%)で、「参加していない」施設は725施設(14.0%)であった。

施設別にみると、認可保育所、認証保育所および認定こども園の参加率は90%以上であった。幼稚園は、65.3%と最も低かった(表33)。

「参加していない」と回答した725施設にその理由を尋ねると、「日程が合わない」が290施設(40.0%)と最も高く、次いで「人手がなく参加できない」が208施設(28.7%)であった(表34)。

表33 アレルギーに関する外部の研修・講演会等の参加状況(複数回答)(%) (n=5,187)

	全施設 (%)	施設種別内訳							左記以外の施設 (%)
		認可保育所 (%)	認証保育所 (%)	認定こども園 (%)	幼稚園 (%)	ベビーホテル (%)	家庭的保育 (%)	学童保育 (%)	
参加した	85.1 (4,416)	94.8	92.3	93.5	65.3	74.1	76.7	83.8	78.2
参加していない	14.0 (725)	4.4	7.4	6.5	34.5	24.6	22.2	14.9	20.5
無回答	0.9 (46)	0.8	0.3	0.0	0.2	1.3	1.1	1.3	1.3

(参考) 平成25年度及び平成26年度のアレルギーに関する外部の研修・講演会等の参加状況

(複数回答)(平成26年度)(%) (n=5,348)

	全施設 (%)	施設種別内訳							左記以外の施設 (%)
		認可保育所 (%)	認証保育所 (%)	認定こども園 (%)	幼稚園 (%)	ベビーホテル (%)	家庭的保育 (%)	学童保育 (%)	
参加した	70.6 (3,774)	90.6	80.1	75.8	53.3	54.7	23.8	81.9	70.6
参加していない	12.2 (653)	3.1	7.8	11.6	19.2	30.2	22.5	8.2	12.2
無回答	2.1 (112)	0.9	1.5	3.2	1.5	2.4	7.4	1.6	2.1

表 34 外部の研修・講演会等に参加していない施設における参加しなかった理由（複数回答）（％）
（各項目に回答した施設の割合）（n=725）

	全施設 （％）	施設種別内訳（下記以外の施設は資料編参照）						
		認可 保育所 （％）	認証 保育所 （％）	認定 こども園 （％）	幼稚園 （％）	ベビー ホテル （％）	家庭的 保育 （％）	学童 保育 （％）
日程が合わない	40.0 (290)	40.7	35.7	66.7	43.1	43.6	42.5	39.7
人手がなくて参加できない	28.7 (208)	29.1	35.7	-	23.7	38.2	37.5	23.3
それ以前に研修に参加した	19.7 (143)	11.6	35.7	16.7	21.3	12.7	30.0	25.3
アレルギーの園児・児童がいない	13.4 (97)	3.5	3.6	-	10.0	21.8	40.0	9.6
研修の情報・案内が得られない	10.2 (74)	19.8	-	16.7	12.3	7.3	7.5	7.5
必要性を感じない	4.6 (33)	1.2	3.6	-	10.0	9.1	-	2.7
申し込んでも応募者が多く参加できない	2.8 (20)	7.0	3.6	16.7	-	3.6	-	1.4
その他	13.2 (96)	14.0	10.7	-	9.0	7.3	5.0	17.8
無回答	4.8 (35)	4.7	3.6	-	5.2	3.6	2.5	7.5

注 1) 「全施設」欄の下段の（ ）内の数値は回答のあった施設数。

注 2) 各施設種別欄の数値は、それぞれの施設種別全件の中での回答があった施設数の割合。

(4) 職員等が参加したアレルギーに関する研修・講演会等の主催者

《問 4-4》 (資料編 表 47~52)

平成 28 年度から現在までに施設の職員等が参加したアレルギーに関する外部の研修・講演会等の主催団体については、回答があった 4,416 施設のうち、「東京都」が 2,666 施設 (60.4%) で最も高く、次いで「区市町村」が 2,010 施設 (45.5%)、「保育関係団体」が 929 施設 (21.0%) であった。研修テーマ別では、食物アレルギーが最も高かった (表 35)。

表 35 主催団体別参加した研修テーマ (複数回答) (回答総数: 4,416 施設)

主催者	総数		研修テーマ					
			食物アレルギー		ぜん息		その他	
	施設数	割合 (%)	施設数	割合 (%)	施設数	割合 (%)	施設数	割合 (%)
東京都	2,666	60.4	2,615	98.1	1,253	47.0	154	5.8
区市町村	2,010	45.5	1,949	97.0	335	16.7	115	5.7
保育関係団体	929	21.0	909	97.8	257	27.7	35	3.8
栄養士関係団体	568	12.9	564	99.3	57	10.0	8	1.4
その他	360	8.2	321	89.2	69	19.2	50	13.9

(参考) 学童保育を除く施設において参加した研修のテーマ (複数回答) (主催者別)

主催者	総数	食物アレルギー		ぜん息		その他	
	施設数	施設数	%	施設数	%	施設数	%
東京都	2,311	2,263	97.9	1,112	48.1	144	6.2
区市町村	1,515	1,496	98.7	294	19.4	54	3.6
保育関団体	886	867	97.9	254	28.7	32	3.6
栄養士関係団体	561	557	99.3	57	10.2	8	1.4
その他	269	234	87	58	21.6	37	13.8

(参考) 学童保育施設において参加した研修のテーマ (複数回答) (主催者別)

主催者	総数	食物アレルギー		ぜん息		その他	
	施設数	施設数	%	施設数	%	施設数	%
東京都	355	352	99.2	141	39.7	10	2.8
区市町村	495	453	91.5	41	8.3	61	12.3
保育関団体	43	42	97.7	3	7.0	3	7.0
栄養士関係団体	7	7	100.0	0	0.0	0	0.0
その他	91	87	95.6	11	12.1	13	14.3

(5) 外部の研修・講演会等で得た情報等の周知方法 <問4-5> (資料編 表53)

アレルギーに関する研修等で得た情報等の施設内での周知方法について、「研修で使用了資料等を回覧」との回答が 3,159 施設 (60.9%) で最も多く、次いで「会議等で周知」が 3,137 施設 (60.5%)、「研修に参加した職員による伝達勉強会」が 2,164 施設 (41.7%) であった (表36)。

表36 研修で得た情報等の施設内での周知方法 (複数回答) (%) (n=5,187)
(各項目に回答した施設の割合)

	全施設 (%)	施設種別内訳							左記以外の施設 (%)
		認可保育所 (%)	認証保育所 (%)	認定こども園 (%)	幼稚園 (%)	ベビーホテル (%)	家庭的保育 (%)	学童保育 (%)	
研修で使用了資料等を回覧	60.9 (3,159)	62.9	68.5	63.4	43.9	57.1	45.0	69.1	59.7
会議等で周知	60.5 (3,137)	75.6	69.6	65.6	41.1	39.7	26.7	53.9	54.1
研修に参加した職員による伝達勉強会	41.7 (2,164)	41.5	48.7	43.0	38.1	43.8	30.6	42.3	42.7
その他	2.7 (138)	2.5	1.3	7.5	3.1	2.2	5.0	2.6	2.5
周知していない	1.0 (52)	1.1	0.5	4.3	1.0	0.9	4.4	0.7	0.3
無回答	9.9 (514)	3.5	3.7	2.2	24.9	19.6	16.1	9.7	14.5

注1) 「全施設」欄の下段の () 内の数値は回答のあった施設数。

注2) 各施設種別欄の数値は、それぞれの施設種別全体の中での回答があった施設数の割合。

(6) 施設内研修や訓練で実施しているもの 《問4-6》 (資料編 表54)

アレルギーをもつ子供への対応のための施設内研修や訓練で実施している内容としては、施設全体で最も多かったのは、「アドレナリン自己注射薬練習キット(エピペン®トレーナー)を使用した訓練」が2,461施設(47.4%)、次いで「緊急時を想定したシミュレーション訓練」が1,792施設(34.5%)、「東京都作成「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」を活用した研修」が1,575施設(30.4%)であった。

施設別では、認可保育所、認定こども園、幼稚園及び学童保育で「アドレナリン自己注射薬練習キット(エピペン®トレーナー)を使用した訓練」と答えた割合が、施設全体に比べて高かった。家庭的保育では「行っていない」と答えた割合が72施設(40.0%)であった(表37)。

表37 アレルギー対応の施設内研修や訓練で実施している内容(複数回答)(%) (n=5,187)
(各項目に回答した施設の割合)

	全施設 (%)	施設種別内訳							
		認可 保育所 (%)	認定 保育所 (%)	認定 こども 園 (%)	幼 稚 園 (%)	ベ ビ ー ホ テ ル (%)	家 庭 的 保 育 (%)	学 童 保 育 (%)	左 記 以 外 の 施 設 (%)
アドレナリン自己注射薬練習キット(エピペン®トレーナー)を使用した訓練	47.4 (2,461)	57.7	34.7	60.2	49.1	29.0	19.4	52.4	29.6
緊急時を想定したシミュレーション訓練	34.5 (1,792)	47.8	31.5	26.9	19.8	16.5	12.8	32.0	28.1
東京都作成「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」を活用した研修	30.4 (1,575)	32.1	35.7	32.3	25.7	31.7	26.1	30.2	27.4
東京都作成「子供を預かる施設における食物アレルギー日常生活・緊急時対応ガイドブック」を活用した研修	11.6 (603)	11.7	15.3	6.5	9.8	17.0	12.8	8.8	13.7
外部講師を招いた研修	11.0 (571)	8.1	7.9	10.8	9.3	4.0	2.2	25.4	7.0
その他	8.0 (416)	9.2	12.4	15.1	4.6	11.2	4.4	5.1	8.4
行っていない	18.6 (965)	11.1	17.2	15.1	26.5	29.0	40.0	18.0	25.7
無回答	3.2 (165)	2.2	3.2	1.1	5.1	5.4	7.8	2.6	3.5

注1) 「全施設」欄の下段の()内の数値は回答のあった施設数。

注2) 各施設種別欄の数値は、それぞれの施設種別全体の中での回答があった施設数の割合。

(7) アレルギーに関する災害時への備え 《問4-7》 (資料編 表55)

アレルギーに関する災害時への備えとして行っているものについて、施設全体で最も多かったのは、「職場内で対応について話し合っている」で2,755施設(53.1%)、次いで「アレルギー対応食品を備蓄している」が2,340施設(45.1%)、「情報を収集している」が2,271施設(43.8%)であった(表38)。

認可保育所、認証保育所及び認定こども園では「アレルギー対応食品を備蓄している」、「職場内で対応について話し合っている」や「情報を収集している」割合が、施設全体に比べて高かった(表38)。

なお、「その他」の取組としては、「アレルギーのある子供用ビブスを準備している」、「アレルギー対応食品を保護者から預かっている」、「現在アレルギーのある子供は入所していないが、入所したら保護者と相談する」などの回答があった。

表38 アレルギーに関する災害時の備えとして行っていること(複数回答)(%) (n=5,187)
(各項目に回答した施設の割合)

	全施設 (%)	施設種別内訳							
		認可 保育所 (%)	認証 保育所 (%)	認定 こども 園 (%)	幼 稚園 (%)	ベ ビ ー ホ テ ル (%)	家 庭 的 保 育 (%)	学 童 保 育 (%)	左 記 以 外 の 施 設 (%)
職場内で対応について話し合っている	53.1 (2,755)	59.8	61.6	53.8	44.2	46.0	25.6	50.8	50.1
アレルギー対応食品を備蓄している	45.1 (2,340)	68.9	54.2	50.5	34.7	25.0	18.9	16.9	34.7
情報を収集している	43.8 (2,271)	52.4	48.1	52.7	30.6	40.6	28.9	38.6	39.8
保護者と対応について話し合っている	35.0 (1,814)	32.8	31.7	34.4	47.0	33.9	23.9	40.1	28.9
対応が必要な子どもの災害時対応リストを作成している	17.9 (926)	27.3	16.1	19.4	14.4	11.2	3.3	12.0	9.5
必要な物品を準備している	17.8 (923)	26.4	25.1	22.6	6.5	8.0	11.1	10.0	14.7
自治体と対応について話し合っている	6.3 (326)	8.3	1.6	8.6	1.3	0.0	1.7	12.6	2.0
その他	5.0 (261)	7.6	4.5	4.3	2.9	2.7	4.4	2.9	4.0
行っていない	11.6 (603)	2.0	4.2	8.6	15.1	19.2	37.2	21.6	16.7
無回答	1.7 (86)	0.9	1.3	3.2	1.8	3.6	2.8	2.3	1.7

注1) 「全施設」欄の下端の()内の数値は回答のあった施設数。

注2) 各施設種別欄の数値は、それぞれの施設種別全体の中での回答があった施設数の割合。

6 アレルギー疾患対策に関する意見・要望について

(1) 東京都が行う研修等で実施を強く希望するもの 《問5-1》 (資料編 表56~57)

東京都が行う研修等で実施を強く希望するものとして、施設全体で最も多かったのは、「演習を取り入れた参加型研修」で1,513施設(29.2%)、次いで「DVD貸出し：保育施設で食物アレルギーを発症した園児への対応の動画」で1,122施設(21.6%)であった(表39)。

表39 東京都が行う研修等で実施を強く希望するもの(%) (n=5,187)
(各項目に回答した施設の割合)

	全施設 (%)	施設種別内訳							
		認可 保育所 (%)	認証 保育所 (%)	認定 こども園 (%)	幼稚園 (%)	ベビー ホテル (%)	家庭的 保育 (%)	学童 保育 (%)	左記 以外の 施設 (%)
演習を取り入れた参加型研修	29.2 (1,513)	32.9	27.8	33.3	25.0	25.9	16.7	29.0	27.2
DVD貸出し：保育施設で食物アレルギーを発症した園児への対応の動画	21.6 (1,122)	26.3	24.9	26.9	15.7	18.8	13.9	15.3	22.8
エピペン®の使い方に特化した実習形式の研修	8.9 (460)	7.8	8.7	10.8	9.7	4.9	6.7	12.1	8.4
研修用エピペン®トレーナーの貸出し	8.8 (456)	8.7	8.7	11.8	5.2	3.6	5.0	13.1	8.6
講義形式中心の研修	4.5 (231)	6.5	5.6	1.1	3.1	1.8	2.2	3.3	2.8
DVD貸出し：専門医等の講義の動画	3.4 (176)	4.1	2.9	7.5	1.1	1.8	2.8	4.0	3.1
東京都アレルギー情報navi. に教材(動画)を掲載	2.5 (132)	3.2	1.6	3.2	1.6	2.7	2.8	1.5	3.2
東京都アレルギー情報navi. に教材(冊子)を掲載	2.0 (106)	2.8	2.9	2.2	0.8	0.9	1.1	1.5	1.7
無回答	48.0 (2,491)	43.3	45.0	43.0	56.1	58.9	65.0	48.0	48.9

注1) 「全施設」欄の下段の()内の数値は回答のあった施設数。

注2) 各施設種別欄の数値は、それぞれの施設種別全体の中での回答があった施設数の割合。

(2) 行政に対する意見・要望 《問5-2》(資料編 P.97~98)

行政(東京都や区市町村)に対する意見や要望については、963施設から回答が得られた。

「研修の回数を増やしてほしい」、「東京都ではなく、市内の保育所、幼稚園等での研修があると参加しやすい」、「研修に出向くのは難しいので園内研修に来てほしい」、「預かる子供は毎年入れ替わるので、研修等は毎年行ってほしい」等の研修に関する要望や、「アレルギーがある子供を受け入れる際の職員の加配(保育士、栄養士)」、「エピペンを預かっている園に看護師を配置してほしい」、「予算面でも加算してもらえるとやりくりにも余裕が持てる」等の人員確保や補助金に関する要望が多く見られた。

(3) 保護者や医療機関に関する意見・要望 《問5-3》(資料編 P.98~99)

保護者に関する意見等については862施設から、医療機関に関する意見等は751施設から回答が得られた。

保護者については、「家庭での状況を詳しく教えてほしい」、「程度に関わらず、どのようなアレルギーでどう対応してほしいのか、細かく伝えて欲しい」、「アレルギー対応が必要な方は、入園前に生活管理指導表を持参してほしい」、「アレルギー専門医で正しく診断を受けてほしい」等の要望があった。

また、医療機関については、「保育所でどのような処置をすべきなのか、具体的に記入してほしい」、「病院から負荷試験として朝食時に食べるように指示を出される場合があるが、夜や休日に行うよう指示してほしい」、「医師の考えがまちまちで、対応にとまどう事がある」等の意見や要望があった。

(4) 日々のアレルギーへの対応での困りごと 《問5-4》(資料編 P.100)

日々のアレルギーへの対応で困っていることについては、1,186施設より回答が得られた。

食物アレルギーについての回答が最も多く、「食物に関わる行事に参加できない事があり残念である」、「給食室が狭く、作業区分が明確に分けられない」、「保育室の狭さ、アレルギーのある子供が複数いる場合、どこで食事をとるかなどの対応の難しさがある」、「エピペン使用ができない子供の保育は不安」等の回答のほか、「アレルギーがある子供が多くなると、対応する職員が不足する」、「アレルギーを発症した時、薬の投与のタイミングが難しい」等、アレルギーがある子供への対応の難しさや不安についての回答が寄せられた。

7 まとめ及び考察

都内における保育所などの子供を預かる施設を対象とした本調査は、平成 21 年度から開始し、今回で 3 回目の調査となる。平成 21 年度調査では、認可保育所、認証保育所及び幼稚園を調査対象としていたが、平成 26 年度調査から対象を拡大し、広く子供を預かる施設を対象として、施設でのアレルギー疾患対策等について調査を実施することとした。

今回の調査では、8,120 施設に調査票を送付し、5,187 施設から回答を得た（回収率 63.9%）。平成 26 年度調査と比べると、やや回収率は落ちるものの（平成 26 年度回収率：72.2%）、6 割以上の施設から回答があり、アレルギー疾患対策への関心の高さがうかがえた。

また、今回の調査では、平成 29 年度に策定した東京都アレルギー疾患対策推進計画の施策の 1 つである、「災害時の備え」についての項目を新たに追加している。

(1) アレルギー疾患の把握状況

ア アレルギー疾患のある子供の把握（p11）

保育施設等に通う子供のアレルギー疾患の把握の実施率は、平成 26 年度調査結果に比べ、全ての種類のアレルギー疾患で増加していた。

イ アレルギー疾患のある子供が在籍している施設の割合（p12）

調査時点におけるアレルギー疾患の子供が在籍している施設の割合は、施設全体のうち食物アレルギーが 82.0%で最も多かった。平成 26 年度調査結果と比べ、食物アレルギーとアナフィラキシーのある子供の在籍割合が増加していた。

ウ 施設においてアレルギー疾患があると確認されている子供の割合（p13~14）

全施設における、アレルギー疾患があると確認されている子供の割合を経年的にみると、アナフィラキシーを除く全ての疾患で平成 26 年度より減少していた。特にぜん息やアトピー性皮膚炎では平成 21 年度以降、減少を続けている。

エ 生活管理指導表等の使用状況（p15~17）

子供のアレルギー疾患の状況を把握するために使用している書類等については、施設全体で最も使用割合が高かったのは、「医師ではなく、保護者が記入したいずれかのもの」（39.5%）であった。

施設別にみると、認可保育所及び認証保育所では、50%以上の施設で「医師が記入した厚生労働省作成の生活管理指導表」が使用されていた。

今回調査では、全施設の 35.8%が、厚生労働省が作成した様式の書類（医師記入のもの）を使用しており、平成 26 年度調査結果（16.7%）と比較すると、同様式を使用している割合は増加しており、徐々に同様式の使用が浸透してきている。

一方で、厚生労働省や文部科学省が作成している生活管理指導表を使用していない場合もあり、その理由としては「これまで使用しているもので支障がない」（33.8%）や「あることを知らなかった」（18.4%）と回答する割合が高かった。なお、使用しない理由に「区市町村の指導を選んだ理由としては、区市町村で独自に追加項目を設け、作成したものを使っていること等が考えられる。

厚生労働省、文部科学省作成の生活管理指導表は、保護者・施設・医師間での確な情報共有を図ることを目的として作成されている。厚生労働省、文部科学省作成の生活管理指導表の正しい活用方法等について、今後も普及啓発を行っていく必要がある。

(2) ぜん息について

ア ぜん息のある子供の受入状況と発作時使用薬の預かり状況 (p18)

全施設のうち、入所・入園時にぜん息の子供を「預かる」または「軽度であれば預かる」と回答した施設は81.8%であった。一方、「預からない」と回答した施設は1.8%であり、施設別にみると、ベビーホテルや家庭的保育の割合が、他の施設と比べて高かった。

また、ぜん息発作時使用薬を「預かる」施設は全体の3割程度にとどまっている。

イ ぜん息発作の発症状況と発作時の対応内容 (p19~21)

全施設のうち、直近1年間にぜん息発作を発症した子供がいた施設は6.7%であり、平成26年度調査結果の9.1%に比べ、減少している。発症した発作の程度としては、小発作が54.9%で、中発作が37.6%、大発作が6.6%となっている。

(3) 食物アレルギー・アナフィラキシーについて

ア 施設で提供している食べ物の調理方式 (p22~23)

「給食(昼食)」または「給食(夕食)」を提供している施設の割合は72.5%であった。

施設で提供している食べ物の調理方式は、「施設内で調理」が最も多く全施設のうち64.8%であった。

施設内での事故防止対策として、様々な場面、職種における勉強の機会を確保するとともに、情報共有やマニュアル作成等の体制づくりが重要である。

イ 食物アレルギーのある子供の受入状況 (p24~26)

食物アレルギーのある子供を「預かる」または「軽度であれば預かる」と回答した施設は、全施設のうち93.7%であり、平成26年度調査結果(89.8%)より増加していた。

また、平成26年度調査結果では、家庭的保育で「預かる」と回答した割合が最も低かった(50.5%)が、今回調査では70.0%と、19.5ポイント増加していた。平成26年度調査結果と比べると、いずれの保育施設でも食物アレルギー児を預かる体制が整ってきていることがわかる。

一方で、「預からない」理由としては、「対応に責任がもてない」(50.0%)、「対応に不安がある」(31.7%)、「人手不足」(30.0%)などとなっていた。

ウ エピペン®を処方されている子供の受入状況 (p27)

入園・入所時にエピペン®を処方されている子供を受け入れる施設は、全施設のうち74.1%であり、平成26年度調査結果(60.3%)と比べ、増加していた。

受け入れる割合が高い施設は、学童保育(92.1%)、認可保育所(87.9%)、認定こども園(82.8%)であった。一方で、「預からない」割合が高いのは、家庭的保育(37.2%)、ベビーホテル(31.7%)であった。

エ 施設でのエピペン®の預かり状況（p28～29）

「エピペン®を処方されている子供を預かる」と回答した施設のうち、エピペン®を施設で「預かる」と回答した割合は80.9%であった。平成26年度調査結果の68.7%と比べると、「預かる」施設が12.2ポイント増加していた。

施設別にみると、学童保育を除いて90%以上がエピペン®を「預かる」と回答していた。また、調査時点でエピペン®を預かっている施設は748施設あり、うち認可保育所が385施設、幼稚園が200施設であった。

学童保育は、エピペン®を処方される子供を受け入れる割合が最も高いが、一方でエピペン®を預からない割合が最も低い。その理由としては、乳幼児と異なり、年齢的に自己管理が可能であることも関係しているものと考えられる。

アナフィラキシー発生時には、緊急時の適切な判断や対応が重要となる。エピペン®を処方されている食物アレルギーがある子供を預かる施設は増加しており、施設職員一人一人が正しい対応方法を身につけておく必要がある。

研修等により正しい対応方法を学ぶ機会を確保するなど、対策をさらに強化していくことが必要である。

オ 食物アレルギーのある子供への食事の提供方針と誤食・誤配予防の取組状況（p29～30）

一般的な食物アレルギーの子供への給食の提供については、「詳細な献立」、「除去食」、「代替食」で対応している施設が多かった。

また、誤食・誤配予防のための工夫として行っていることで、施設全体で最も割合が高かったのは、「受け渡し時の確認」71.6%、次いで、「専用食器・トレイなどの利用」69.8%であった。

カ 食物アレルギーの症状発生の有無とその原因（p31～35）

直近1年間に施設内で食物アレルギー症状を発した子供がいた施設は、施設全体の11.7%で、施設別では、認定こども園が20.4%、認可保育園が18.9%と割合が高かった。

子供が食物アレルギー症状を発した施設における食物の提供状況をみると、86.3%の施設で「給食・補食・おやつ」の提供を行っていた。また、子供の発症が初発（症状が出る前に食物アレルギーの原因物質の診断がされていなかった）であった事例が発生した施設の割合は、食物アレルギー症状を発した子供がいた施設の51.6%であり、また、誤食により食物アレルギーを起こした割合は17.1%であった。

施設における食物アレルギー発生の原因は食物アレルギーと知らずに原因食物を摂取したことによるものが多いことがあらわれている。

このことから、初めて食べる食材については、家庭であらかじめ試食することが重要であり、施設においては常に緊急時対応ができる体制が必要である。

また、誤食があった104施設のうち、原因として最も多かったのは「誤配膳」が24件（23.1%）、次いで「原材料の見落とし」が20件（19.2%）であり、施設における事故防止のための体制づくりが必要である。

キ 食物が原因で子供がアナフィラキシーを起こした事例の有無と重症度（p36～37）

直近1年間に施設内で子供が食物アレルギーを発症した事例が「あり」と回答した施設のうち、食物が原因のアナフィラキシー事例が発生した施設は101件であり、全施設の1.9%であった。

また、重症度別にみると、軽症47.5%、中等症32.7%、重症16.8%であった。直近1年間に発生したアナフィラキシーの総数は、平成26年度の211件(4.9%)から令和元年度の101件(2.4%)に減少したが、重症者の数は必ずしも減っておらず、引き続き各施設においてアナフィラキシー発生時に備えた体制整備が必要である。

ク アナフィラキシー発生時の対応と対応に役立ったもの（p38～40）

アナフィラキシー発生時の対応内容を症状の程度別にみると、重症例が発生した施設では「アドレナリン自己注射（エピペン®）を使用した」（23.5%）、「救急車を要請した」（76.5%）割合が、軽症・中等症に比べて高かった。

食物が原因のアナフィラキシー事例が発生したことがある施設のうち、アナフィラキシーの対応に役立ったものとしては、「職員間で連携」73.3%、「マニュアルやガイドライン」72.3%、「研修や講演会」62.4%、「保護者との連携」60.4%との回答が多かった。症状が重くなるにつれ「研修や講演会」や「緊急時を想定したシミュレーション訓練」を挙げた施設の割合が高くなり、平常時からのシミュレーション訓練が有用であると考えられる。

ケ エピペン®の使用状況（p41）

直近1年間に食物が原因のアナフィラキシー事例が発生したことがある施設（101施設）のうち、エピペン®を使用したことがある施設は8.9%であった。

（4）施設における取組について

ア ガイドラインやマニュアルの整備状況（p42）

施設全体として施設に備えているガイドライン等で最も割合が高かったのは、東京都作成の「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」（71.4%）、次いで、厚生労働省作成の「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」（49.4%）であった。「備えていない」はいずれの施設でも10%未満であった。

イ アレルギー対策委員会や健康・安全に関する担当者の設置状況（p43）

「アレルギー対策委員会やアレルギー専門委員会を設置している」施設は、施設全体の8.3%であったが、「担当者を決めている」施設は43.0%、「他の会議で検討している」施設は36.2%であった。

ウ アレルギーに関する外部の研修・講演会等の参加状況（p44～46）

アレルギーに関する外部の研修・講演会等に「参加した」施設は全体の85.1%で、平成26年度調査よりも増加した。

施設の職員等が参加した研修・講演会等の主催団体として最も多かったのは「東京都」であった。

また、「参加していない」理由として最も割合が高かったのは、「日程が合わない」(40.0%)、「人手がなくて参加できない」(28.7%)であり、より多くの方が参加しやすい研修・講演会等を企画し研修機会を提供していく必要がある。

エ 外部の研修・講演会等で得た情報等の周知方法 (p47)

アレルギーに関する研修等で得た情報等の施設内での周知方法については、「研修で利用した資料等を回覧」との回答が最も高かった(60.9%)。「研修に参加した職員による伝達勉強会」を実施している割合は41.7%であった。

オ 施設内研修や訓練で実施しているもの (p48)

アレルギーを持つ子供への対応のための施設内研修や訓練で実施しているものとしては、「アドレナリン自己注射練習キット(エピペン®トレーナー)を使用した訓練」との回答の割合が最も高く(47.4%)、次いで「緊急時を想定したシミュレーション訓練」(34.5%)であった。

カ アレルギーに関する災害時への備え (p49)

アレルギーに関する災害時への備えとして行っているもので、最も割合が高かったのは、「職場内で対応について話し合っている」で53.1%、次いで「アレルギー対応食品を備蓄している」45.1%、「情報を収集している」43.8%であった。

また、「その他」の取組としては、「アレルギーのある子供用ビブスを準備している」、「アレルギー対応食品を保護者から預かっている」、「現在アレルギーのある子供は入所していないが、入所したら保護者と相談する」などの回答があった。

(5) アレルギー疾患対策に関する意見・要望について

ア 東京都が行う研修等で実施を強く希望するもの (p50)

東京都が行う研修等で実施を強く希望するものとして、最も割合が高かったのは「演習を取り入れた参加型研修」、次いで「DVD貸し出し：保育施設で食物アレルギーを発症した園児への対応の動画」であった。

子供を預かる各施設の職員へ向け、学習機会を確保していくことが必要である。

イ 行政に対する意見・要望 (p51)

行政に対する意見や要望で最も多かったのは、研修に関する内容であった。内容としては、研修機会の日程や定員の増加、各市区町村単位での研修を実施してほしい、研修等は毎年行ってほしいという要望が多く、施設の職員が継続した学習の場を求めていることがわかった。

また、人員やしきみづくり、補助金等の増加を求めるものも多く見られた。

ウ 保護者・医療機関に関する意見・要望 (p51)

保護者に関する意見や要望で最も多かったものは、施設への情報提供や情報共有であり、アレルギーがある子供の保護者と密接に連携を図っていきたい施設側の考えが伺えた。

また、医療機関に関しては、医師の指示に関する要望が多く、医療機関によって考え方や指示が異なることへ困惑している様子も伺えた。施設での対応について明確な指示を求める声も

多かった。

エ 日々のアレルギーへの対応での困りごと（p51）

日々のアレルギーへの対応で困っていることとして最も多かった回答は、食物アレルギーに関することであった。緊急時対応への不安や人員の不足などに加え、給食室や保育室の狭さなどのハード面からアレルギー対応の難しさについての困りごととも挙げられた。

III 資料編

1 集計データ

1 施設の概要についてお聞きします

表1. 所在地

	施設 総数	区部		多摩地域		島しょ地域	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	1,345	68.1	619	31.4	10	0.5
認証保育所	378	282	74.6	96	25.4	-	-
認定こども園	93	60	64.5	33	35.5	-	-
幼稚園	611	445	72.8	166	27.2	-	-
ベビーホテル	224	201	89.7	23	10.3	-	-
家庭的保育	180	102	56.7	77	42.8	1	0.6
学童保育	980	638	65.1	341	34.8	1	0.1
事業所内保育施設	170	121	71.2	49	28.8	-	-
院内保育施設	116	65	56.0	51	44.0	-	-
小規模保育	269	204	75.8	65	24.2	-	-
病児・病後児保育	92	61	66.3	31	33.7	-	-
一時預かり	27	24	88.9	3	11.1	-	-
その他	73	57	78.1	13	17.8	3	4.1
総 数	5,187	3,605	69.5	1,567	30.2	15	0.3
学童保育を除いた総数	4,207	2,967	70.5	1,226	29.1	14	0.3

表2. 開所時間

	施設 総数	0 時	1 時	2 時	3 時	4 時	5 時	6 時	7 時	8 時	9 時	1 0 時	1 1 時	1 2 時	1 3 時	1 4 時	1 5 時	1 6 時	1 7 時	1 8 時	1 9 時	2 0 時	2 1 時	2 2 時	2 3 時	無 回 答
総 数	5,187	7	-	-	-	-	-	14	3,102	1,426	363	51	25	37	72	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	80
割合	100	-	-	-	-	-	-	0	60	27	7	1	0	1	1	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	2
認可保育所	1,974	-	-	-	-	-	-	3	1,944	5	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
認証保育所	378	-	-	-	-	-	-	4	369	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
認定こども園	93	-	-	-	-	-	-	1	90	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
幼稚園	611	-	-	-	-	-	-	-	122	301	181	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
ベビーホテル	224	1	-	-	-	-	-	3	108	63	38	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
家庭的保育	180	-	-	-	-	-	-	1	19	143	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
学童保育	980	-	-	-	-	-	-	-	12	646	99	45	24	37	72	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36
事業所内保育施設	170	-	-	-	-	-	-	1	85	76	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
院内保育施設	116	6	-	-	-	-	-	1	45	59	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4
小規模保育	269	-	-	-	-	-	-	-	244	22	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病児・病後児保育	92	-	-	-	-	-	-	-	21	67	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
一時預かり	27	-	-	-	-	-	-	-	11	9	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	73	-	-	-	-	-	-	-	32	32	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
学童保育を除いた総数	4,207	7	-	-	-	-	-	14	3,090	780	264	6	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	44

表3. 閉所時間

	施設 総数	0 時	1 時	2 時	3 時	4 時	5 時	6 時	7 時	8 時	9 時	1 0 時	1 1 時	1 2 時	1 3 時	1 4 時	1 5 時	1 6 時	1 7 時	1 8 時	1 9 時	2 0 時	2 1 時	2 2 時	2 3 時	無 回 答
総 数	5,187	5	-	-	-	-	3	4	7	9	1	1	-	-	13	165	12	101	370	1,120	1,898	1,243	90	73	5	67
割合	100	0	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	-	-	0	3	0	2	7	22	37	24	2	1	0	1
認可保育所	1,974	-	-	-	-	-	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	7	145	964	781	22	25	-	23	
認証保育所	378	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	22	270	42	30	3	1	
認定こども園	93	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	30	28	30	1	2	-	1	
幼稚園	611	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	12	159	7	48	159	189	23	2	1	-	-	8	
ベビーホテル	224	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	7	23	59	55	55	7	6	1	7	
家庭的保育	180	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	25	79	67	6	-	-	-	-	1	
学童保育	980	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	1	26	334	571	22	8	-	-	14	
事業所内保育施設	170	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	17	26	22	42	47	8	3	-	2	
院内保育施設	116	4	-	-	-	-	-	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-	16	42	21	13	1	5	1	6	
小規模保育	269	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	118	133	13	-	-	-	-	
病児・病後児保育	92	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	57	5	5	-	1	-	3	
一時預かり	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	7	14	-	-	1	-	-	
その他	73	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	1	-	4	43	14	5	-	-	-	1	
学童保育を除いた総数	4,207	5	-	-	-	-	3	2	6	9	-	1	-	-	13	165	12	100	344	786	1,327	1,221	82	73	5	53

表4. 在席人数（施設別・年齢別）

	在籍総数	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
認可保育所	182,127	14,763	8.1	29,189	16.0	33,499	18.4	35,530	19.5	35,207	19.3	33,783	18.5
認証保育所	11,559	2,466	21.3	3,525	30.5	3,064	26.5	1,029	8.9	808	7.0	649	5.6
認定こども園	15,634	564	3.6	1,109	7.1	1,364	8.7	3,932	25.2	4,280	27.4	4,385	28.0
幼稚園	91,389	-	-	17	0.0	1,400	1.5	27,634	30.2	30,630	33.5	31,401	34.4
ベビーホテル	7,427	543	7.3	1,226	16.5	1,502	20.2	1,257	16.9	987	13.3	901	12.1
家庭的保育	712	137	19.2	305	42.8	254	35.7	-	-	-	-	5	0.7
学童保育	81,120	2	0.0	2	0.0	2	0.0	-	-	-	-	-	-
事業所内保育施設	2,219	390	17.6	673	30.3	511	23.0	156	7.0	103	4.6	81	3.7
院内保育施設	1,628	248	15.2	423	26.0	296	18.2	159	9.8	152	9.3	114	7.0
小規模保育	4,337	841	19.4	1,777	41.0	1,666	38.4	41	0.9	10	0.2	2	0.0
病児・病後児保育	2,881	214	7.4	448	15.6	506	17.6	459	15.9	433	15.0	367	12.7
一時預かり	405	52	12.8	105	25.9	94	23.2	26	6.4	9	2.2	19	4.7
その他	2,660	63	2.4	426	16.0	594	22.3	636	23.9	492	18.5	415	15.6
総数	404,098	20,283	5.0	39,225	9.7	44,752	11.1	70,859	17.5	73,111	18.1	72,122	17.8
学童保育を除いた総数	322,978	20,281	6.3	39,223	12.1	44,750	13.9	70,859	21.9	73,111	22.6	72,122	22.3

	在籍総数	小学1年生		小学2年生		小学3年生		小学4年生		小学5年生		小学6年生		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
認可保育所	182,127	53	0.0	35	0.0	30	0.0	15	0.0	6	0.0	9	0.0	8	0.0
認証保育所	11,559	3	0.0	5	0.0	3	0.0	5	0.0	-	-	2	0.0	-	-
認定こども園	15,634	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園	91,389	-	-	-	-	-	-	39	0.0	53	0.1	54	0.1	161	0.2
ベビーホテル	7,427	86	1.2	75	1.0	54	0.7	24	0.3	15	0.2	6	0.1	751	10.1
家庭的保育	712	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1.5
学童保育	81,120	26,205	32.3	22,859	28.2	17,930	22.1	6,997	8.6	4,046	5.0	2,816	3.5	261	0.3
事業所内保育施設	2,219	43	1.9	42	1.9	40	1.8	51	2.3	47	2.1	47	2.1	35	1.6
院内保育施設	1,628	53	3.3	26	1.6	19	1.2	5	0.3	-	-	1	0.1	132	8.1
小規模保育	4,337	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病児・病後児保育	2,881	46	1.6	50	1.7	27	0.9	-	-	-	-	-	-	331	11.5
一時預かり	405	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	24.7
その他	2,660	14	0.5	7	0.3	7	0.3	2	0.1	3	0.1	1	0.0	-	-
総数	404,098	26,503	6.6	23,099	5.7	18,110	4.5	7,138	1.8	4,170	1.0	2,936	0.7	1,790	0.4
学童保育を除いた総数	322,978	298	0.1	240	0.1	180	0.1	141	0.0	124	0.0	120	0.0	1,529	0.5

表5. 施設の園児・児童数の状況

（施設種別の平均値、最大値、最小値、分散（標準偏差））

施設種別	園児・児童の合計値				
	最大値	最小値	平均値	中央値	標準偏差
認可保育所	393	2	93	93	36.25
認証保育所	134	2	31	28	14.25
認定こども園	526	38	170	136	99.68
幼稚園	673	0	153	130	100.34
ベビーホテル	408	0	36	20	51.95
家庭的保育	19	1	4	4	1.70
学童保育	698	0	86	57	91.09
事業所内保育施設	362	1	13	9	28.23
院内保育施設	102	1	14	9	15.64
小規模保育	55	4	16	17	4.92
病児・病後児保育	455	0	35	6	88.80
一時預かり	62	4	16	13	13.41
その他	419	2	36	21	55.64
総数	698	0	79	64	74.60
学童保育を除いた総数	673	0	78	68	70.21

表6. 職員数ごとの施設数（施設別）

	施設 総数	常勤職員の合計数								
		0人	1人	2～4人	5～9人	10～ 19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50人 以上
認可保育所	1,960	-	7	19	53	656	893	249	62	21
認証保育所	378	-	-	6	166	188	16	2	-	-
認定こども園	93	-	-	-	3	21	40	12	15	2
幼稚園	608	-	2	42	175	285	74	24	3	3
ベビーホテル	214	-	33	63	58	45	8	4	1	2
家庭的保育	179	-	104	61	13	1	-	-	-	-
学童保育	894	14	100	558	188	30	2	2	-	-
事業所内保育施設	147	2	13	60	54	18	-	-	-	-
院内保育施設	109	-	11	60	31	7	-	-	-	-
小規模保育	269	-	-	29	188	50	2	-	-	-
病児・病後児保育	88	-	13	41	21	3	4	3	2	1
一時預かり	26	-	1	6	14	5	-	-	-	-
その他	71	-	3	21	29	14	1	3	-	-
総 数	5,036	16	287	966	993	1,323	1,040	299	83	29
学童保育を除いた総数	4,142	2	187	408	805	1,293	1,038	297	83	29

	施設 総数	非常勤職員の合計数								
		0人	1人	2～4人	5～9人	10～ 19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50人 以上
認可保育所	1,715	13	59	281	408	670	235	41	4	4
認証保育所	319	2	27	99	129	62	-	-	-	-
認定こども園	88	1	1	14	15	31	19	4	1	2
幼稚園	462	8	51	162	152	79	8	2	-	-
ベビーホテル	180	6	19	52	72	26	4	1	-	-
家庭的保育	132	2	22	67	39	2	-	-	-	-
学童保育	892	6	73	335	311	155	12	-	-	-
事業所内保育施設	131	3	8	48	52	19	1	-	-	-
院内保育施設	96	4	8	47	33	4	-	-	-	-
小規模保育	221	1	28	100	76	14	2	-	-	-
病児・病後児保育	72	5	12	30	11	12	2	-	-	-
一時預かり	24	1	-	13	7	3	-	-	-	-
その他	61	4	16	13	20	6	2	-	-	-
総 数	4,393	56	324	1,261	1,325	1,083	285	48	5	6
学童保育を除いた総数	3,501	50	251	926	1,014	928	273	48	5	6

	施設 総数	全職員(常勤+非常勤)数の合計数								
		0人	1人	2~4人	5~9人	10~ 19人	20~ 29人	30~ 39人	40~ 49人	50人 以上
認可保育所	1,960	-	5	15	19	195	616	544	379	187
認証保育所	378	-	-	-	27	260	87	4	-	-
認定こども園	93	-	-	-	1	11	11	23	24	23
幼稚園	609	-	1	12	86	295	158	37	15	5
ベビーホテル	219	-	4	28	76	74	23	7	5	2
家庭的保育	179	-	16	78	76	9	-	-	-	-
学童保育	960	-	3	143	474	295	38	6	1	-
事業所内保育施設	169	-	1	35	67	58	8	-	-	-
院内保育施設	115	-	-	18	70	24	3	-	-	-
小規模保育	269	-	-	2	85	172	10	-	-	-
病児・病後児保育	90	-	-	30	35	13	-	4	5	3
一時預かり	26	-	-	2	11	10	1	2	-	-
その他	73	-	1	6	22	35	6	3	-	-
総数	5,140	-	31	369	1,049	1,451	961	630	429	220
学童保育を除いた総数	4,180	-	28	226	575	1,156	923	624	428	220

表7. 職員数②(職種別)

	施設 総数	常勤職員の合計数								
		0人	1人	2~4人	5~9人	10~ 19人	20~ 29人	30~ 39人	40~ 49人	50人 以上
施設長(園長・所長含む)	4,528	19	4,390	119	-	-	-	-	-	-
保育士	3,530	123	430	882	666	1,102	300	23	3	1
保育補助	1,538	481	410	415	150	79	3	-	-	-
幼稚園教諭	1,260	612	186	187	158	101	14	2	-	-
幼稚園教諭・保育士併有	1,507	370	109	168	246	493	104	12	5	-
看護師・保健師	2,071	332	1,594	143	1	1	-	-	-	-
管理栄養士・栄養士	2,259	314	914	987	44	-	-	-	-	-
調理師	1,953	340	784	789	40	-	-	-	-	-
調理補助員	1,014	611	243	151	8	1	-	-	-	-
事務職員	1,887	466	1,069	330	22	-	-	-	-	-
その他	1,794	419	667	568	117	17	4	1	1	-

	施設 総数	非常勤職員の合計数								
		0人	1人	2～4人	5～9人	10～ 19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50人 以上
施設長(園長・所長含む)	624	488	114	22	-	-	-	-	-	-
保育士	2,371	176	516	1,037	464	170	6	1	1	-
保育補助	2,664	131	469	959	683	375	43	4	-	-
幼稚園教諭	811	418	229	123	36	5	-	-	-	-
幼稚園教諭・保育士併有	917	319	141	270	156	29	1	-	1	-
看護師・保健師	807	436	298	69	3	1	-	-	-	-
管理栄養士・栄養士	797	422	328	47	-	-	-	-	-	-
調理師	926	387	327	195	17	-	-	-	-	-
調理補助員	1,304	302	466	490	46	-	-	-	-	-
事務職員	1,090	369	598	119	3	1	-	-	-	-
その他	1,795	284	447	641	298	116	8	1	-	-

	施設 総数	全職員(常勤+非常勤)数の合計数								
		0人	1人	2～4人	5～9人	10～ 19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50人 以上
施設長(園長・所長含む)	4,609	16	4,422	170	1	-	-	-	-	-
保育士	3,855	96	352	893	877	1,024	493	100	15	5
保育補助	3,307	152	550	1,208	858	477	56	6	-	-
幼稚園教諭	1,455	583	323	240	151	137	17	4	-	-
幼稚園教諭・保育士併有	1,576	374	114	193	220	461	173	29	9	3
看護師・保健師	2,299	303	1,698	291	5	2	-	-	-	-
管理栄養士・栄養士	2,461	282	1,067	1,049	63	-	-	-	-	-
調理師	2,222	318	853	953	97	1	-	-	-	-
調理補助員	1,771	437	623	648	62	1	-	-	-	-
事務職員	2,336	382	1,402	511	39	2	-	-	-	-
その他	2,507	320	658	884	424	194	23	3	1	-

2 アレルギー疾患のある子供の状況等について

表8. 問1-1 現在アレルギー疾患のある子供の実態を把握していますか。

(1) 疾患ごとの把握の有無について、あてはまる数字に○印をつけてください。

	施設 総数	ぜん息						食物アレルギー						アナフィラキシー					
		1.把握して いない		2.把握して いる		無回答		1.把握して いない		2.把握して いる		無回答		1.把握して いない		2.把握して いる		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	215	10.9	1,737	88.0	22	1.1	16	0.8	1,951	98.8	7	0.4	201	10.2	1,745	88.4	28	1.4
認証保育所	378	101	26.7	270	71.4	7	1.9	26	6.9	349	92.3	3	0.8	115	30.4	253	66.9	10	2.6
認定こども園	93	1	1.1	91	97.8	1	1.1	-	-	92	98.9	1	1.1	4	4.3	87	93.5	2	2.2
幼稚園	611	76	12.4	533	87.2	2	0.3	9	1.5	601	98.4	1	0.2	83	13.6	520	85.1	8	1.3
ベビーホテル	224	43	19.2	166	74.1	15	6.7	25	11.2	187	83.5	12	5.4	51	22.8	160	71.4	13	5.8
家庭的保育	180	71	39.4	93	51.7	16	8.9	67	37.2	97	53.9	16	8.9	77	42.8	87	48.3	16	8.9
学童保育	980	112	11.4	850	86.7	18	1.8	22	2.2	944	96.3	14	1.4	151	15.4	812	82.9	17	1.7
事業所内保育施設	170	48	28.2	117	68.8	5	2.9	35	20.6	132	77.6	3	1.8	51	30.0	114	67.1	5	2.9
院内保育施設	116	28	24.1	86	74.1	2	1.7	13	11.2	101	87.1	2	1.7	35	30.2	79	68.1	2	1.7
小規模保育	269	74	27.5	187	69.5	8	3.0	44	16.4	222	82.5	3	1.1	83	30.9	179	66.5	7	2.6
病児・病後児保育	92	9	9.8	78	84.8	5	5.4	5	5.4	82	89.1	5	5.4	11	12.0	76	82.6	5	5.4
一時預かり	27	6	22.2	20	74.1	1	3.7	3	11.1	23	85.2	1	3.7	8	29.6	18	66.7	1	3.7
その他	73	12	16.4	59	80.8	2	2.7	8	11.0	63	86.3	2	2.7	16	21.9	55	75.3	2	2.7
総 数	5,187	796	15.3	4,287	82.6	104	2.0	273	5.3	4,844	93.4	70	1.3	886	17.1	4,185	80.7	116	2.2
学童保育を除いた総数	4,207	684	16.3	3,437	81.7	86	2.0	251	6.0	3,900	92.7	56	1.3	735	17.5	3,373	80.2	99	2.4

	施設 総数	アトピー性皮膚炎						アレルギー性鼻炎						アレルギー性結膜炎					
		1.把握して いない		2.把握して いる		無回答		1.把握して いない		2.把握して いる		無回答		1.把握して いない		2.把握して いる		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	264	13.4	1,686	85.4	24	1.2	697	35.3	1,244	63.0	33	1.7	679	34.4	1,262	63.9	33	1.7
認証保育所	378	102	27.0	266	70.4	10	2.6	156	41.3	210	55.6	12	3.2	166	43.9	200	52.9	12	3.2
認定こども園	93	9	9.7	81	87.1	3	3.2	36	38.7	55	59.1	2	2.2	34	36.6	57	61.3	2	2.2
幼稚園	611	104	17.0	503	82.3	4	0.7	178	29.1	427	69.9	6	1.0	226	37.0	374	61.2	11	1.8
ベビーホテル	224	53	23.7	156	69.6	15	6.7	72	32.1	136	60.7	16	7.1	79	35.3	128	57.1	17	7.6
家庭的保育	180	68	37.8	96	53.3	16	8.9	74	41.1	90	50.0	16	8.9	76	42.2	88	48.9	16	8.9
学童保育	980	163	16.6	798	81.4	19	1.9	208	21.2	751	76.6	21	2.1	333	34.0	625	63.8	22	2.2
事業所内保育施設	170	46	27.1	119	70.0	5	2.9	63	37.1	102	60.0	5	2.9	64	37.6	101	59.4	5	2.9
院内保育施設	116	30	25.9	84	72.4	2	1.7	43	37.1	71	61.2	2	1.7	47	40.5	67	57.8	2	1.7
小規模保育	269	77	28.6	185	68.8	7	2.6	100	37.2	161	59.9	8	3.0	101	37.5	161	59.9	7	2.6
病児・病後児保育	92	11	12.0	76	82.6	5	5.4	27	29.3	60	65.2	5	5.4	27	29.3	60	65.2	5	5.4
一時預かり	27	11	40.7	15	55.6	1	3.7	11	40.7	15	55.6	1	3.7	11	40.7	15	55.6	1	3.7
その他	73	11	15.1	61	83.6	1	1.4	19	26.0	51	69.9	3	4.1	21	28.8	49	67.1	3	4.1
総 数	5,187	949	18.3	4,126	79.5	112	2.2	1,684	32.5	3,373	65.0	130	2.5	1,864	35.9	3,187	61.4	136	2.6
学童保育を除いた総数	4,207	786	18.7	3,328	79.1	93	2.2	1,476	35.1	2,622	62.3	109	2.6	1,531	36.4	2,562	60.9	114	2.7

表9. 問1-1 現在アレルギー疾患のある子供の実態を把握していますか。
(無回答を除く)

	施設 総数	ぜん息				食物アレルギー				アナフィラキシー			
		1.把握して いない		2.把握して いる		1.把握して いない		2.把握して いる		1.把握して いない		2.把握して いる	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	215	11.0	1,737	89.0	16	0.8	1,951	99.2	201	10.3	1,745	89.7
認証保育所	378	101	27.2	270	72.8	26	6.9	349	93.1	115	31.3	253	68.8
認定こども園	93	1	1.1	91	98.9	-	-	92	100.0	4	4.4	87	95.6
幼稚園	611	76	12.5	533	87.5	9	1.5	601	98.5	83	13.8	520	86.2
ベビーホテル	224	43	20.6	166	79.4	25	11.8	187	88.2	51	24.2	160	75.8
家庭的保育	180	71	43.3	93	56.7	67	40.9	97	59.1	77	47.0	87	53.0
学童保育	980	112	11.6	850	88.4	22	2.3	944	97.7	151	15.7	812	84.3
事業所内保育施設	170	48	29.1	117	70.9	35	21.0	132	79.0	51	30.9	114	69.1
院内保育施設	116	28	24.6	86	75.4	13	11.4	101	88.6	35	30.7	79	69.3
小規模保育	269	74	28.4	187	71.6	44	16.5	222	83.5	83	31.7	179	68.3
病児・病後児保育	92	9	10.3	78	89.7	5	5.7	82	94.3	11	12.6	76	87.4
一時預かり	27	6	23.1	20	76.9	3	11.5	23	88.5	8	30.8	18	69.2
その他	73	12	16.9	59	83.1	8	11.3	63	88.7	16	22.5	55	77.5
総 数	5,187	796	15.7	4,287	84.3	273	5.3	4,844	94.7	886	17.5	4,185	82.5
学童保育を除いた総数	4,207	684	16.6	3,437	83.4	251	6.0	3,900	94.0	735	17.9	3,373	82.1

	施設 総数	アトピー性皮膚炎				アレルギー性鼻炎				アレルギー性結膜炎			
		1.把握して いない		2.把握して いる		1.把握して いない		2.把握して いる		1.把握して いない		2.把握して いる	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	264	13.5	1,686	86.4	697	35.4	1,244	63.2	679	34.9	1,262	64.9
認証保育所	378	102	27.5	266	71.7	156	41.6	210	56.0	166	45.1	200	54.3
認定こども園	93	9	9.8	81	88.0	36	39.1	55	59.8	34	37.4	57	62.6
幼稚園	611	104	17.1	503	82.6	178	29.2	427	70.0	226	37.5	374	62.0
ベビーホテル	224	53	25.4	156	74.6	72	34.0	136	64.2	79	37.4	128	60.7
家庭的保育	180	68	41.5	96	58.5	74	45.1	90	54.9	76	46.3	88	53.7
学童保育	980	163	16.9	798	83.0	208	21.5	751	77.7	333	34.6	625	64.9
事業所内保育施設	170	46	27.9	119	72.1	63	37.7	102	61.1	64	38.8	101	61.2
院内保育施設	116	30	26.3	84	73.7	43	37.7	71	62.3	47	41.2	67	58.8
小規模保育	269	77	29.5	185	70.9	100	37.6	161	60.5	101	38.5	161	61.5
病児・病後児保育	92	11	12.6	76	87.4	27	31.0	60	69.0	27	31.0	60	69.0
一時預かり	27	11	42.3	15	57.7	11	42.3	15	57.7	11	42.3	15	57.7
その他	73	11	15.5	61	85.9	19	26.8	51	71.8	21	29.6	49	69.0
総 数	5,187	949	18.7	4,126	81.2	1,684	32.9	3,373	65.9	1,864	36.8	3,187	62.8
学童保育を除いた総数	4,207	786	19.1	3,328	80.8	1,476	35.6	2,622	63.2	1,531	37.3	2,562	62.4

表10. 現在アレルギー疾患のある子供が在籍している施設数と割合

	施設 総数	ぜん息		食物 アレルギー		アナフィラキシー		アトピー性 皮膚炎		アレルギー性 鼻炎		アレルギー性 結膜炎	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	1,241	62.9	1,869	94.7	789	40.0	1,207	61.1	477	24.2	455	23.0
認証保育所	378	107	28.3	305	80.7	48	12.7	117	31.0	36	9.5	17	4.5
認定こども園	93	74	79.6	89	95.7	57	61.3	69	74.2	32	34.4	29	31.2
幼稚園	611	444	72.7	574	93.9	289	47.3	409	66.9	323	52.9	158	25.9
ベビーホテル	224	56	25.0	137	61.2	36	16.1	49	21.9	24	10.7	13	5.8
家庭的保育	180	21	11.7	42	23.3	9	5.0	28	15.6	18	10.0	7	3.9
学童保育	980	600	61.2	865	88.3	366	37.3	549	56.0	551	56.2	214	21.8
事業所内保育施設	170	31	18.2	74	43.5	16	9.4	41	24.1	18	10.6	15	8.8
院内保育施設	116	27	23.3	63	54.3	11	9.5	23	19.8	10	8.6	3	2.6
小規模保育	269	54	20.1	156	58.0	17	6.3	57	21.2	14	5.2	3	1.1
病児・病後児保育	92	18	19.6	24	26.1	8	8.7	18	19.6	5	5.4	3	3.3
一時預かり	27	7	25.9	17	63.0	5	18.5	3	11.1	2	7.4	-	-
その他	73	24	32.9	40	54.8	9	12.3	28	38.4	13	17.8	7	9.6
総 数	5,187	2,704	52.1	4,255	82.0	1,660	32.0	2,598	50.1	1,523	29.4	924	17.8
学童保育を除いた総数	4,207	2,104	50.0	3,390	80.6	1,294	30.8	2,049	48.7	972	23.1	710	16.9

表11. 問1-1 現在アレルギー疾患のある子供の実態を把握していますか。

(2) 把握している場合は各疾患ごとの人数をご記入ください。

各疾患の n は、問1-1 (1) で「2. 把握している」と回答した施設数

	在籍総数	ぜん息 n=4,287		食物アレルギー n=4,844		アナフィラキシー n=4,185		アトピー性 皮膚炎 n=4,126		アレルギー性 鼻炎 n=3,373		アレルギー性 結膜炎 n=3,187	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
0歳児	20,283	282	1.4	1,309	6.5	119	0.6	420	2.1	67	0.3	49	0.2
1歳児	39,225	765	2.0	3,180	8.1	289	0.7	890	2.3	194	0.5	119	0.3
2歳児	44,752	989	2.2	2,850	6.4	326	0.7	1,057	2.4	288	0.6	173	0.4
3歳児	70,859	1,745	2.5	4,101	5.8	448	0.6	1,653	2.3	897	1.3	385	0.5
4歳児	73,111	2,090	2.9	4,018	5.5	512	0.7	1,761	2.4	1,209	1.7	626	0.9
5歳児	72,122	2,406	3.3	3,931	5.5	555	0.8	1,873	2.6	1,584	2.2	863	1.2
小学1年生	26,503	789	3.0	1,757	6.6	247	0.9	627	2.4	1,444	5.4	320	1.2
小学2年生	23,099	628	2.7	1,453	6.3	218	0.9	457	2.0	1,293	5.6	269	1.2
小学3年生	18,110	512	2.8	1,156	6.4	185	1.0	381	2.1	1,294	7.1	284	1.6
小学4年生	7,138	133	1.9	369	5.2	39	0.5	91	1.3	320	4.5	45	0.6
小学5年生	4,170	78	1.9	165	4.0	19	0.5	35	0.8	186	4.5	57	1.4
小学6年生	2,936	51	1.7	87	3.0	10	0.3	25	0.9	88	3.0	22	0.7
その他	-	11	-	34	-	6	-	2	-	-	-	-	-
無回答	1,790	102	5.7	145	8.1	16	0.9	70	3.9	39	2.2	9	0.5
総 数	404,098	10,581	2.6	24,555	6.1	2,989	0.7	9,342	2.3	8,903	2.2	3,221	0.8

表12. 問1-2 アレルギー疾患の状況を把握するために、どのような様式等を使用していますか。
(複数回答)

施設 総数	医師が記入した厚生労働省作成「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」		医師が記入した文部科学省(日本学校保健会作成)の「学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)」		医師が記入した都道府県・区市町村作成のもの		医師が記入した施設独自のもの		医師ではなく、保護者が記入したいずれかのもの		保護者から口頭で把握		把握していない		無回答		再掲		
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	
	認可保育所	1,974	1,167	59.1	66	3.3	500	25.3	415	21.0	401	20.3	538	27.3	-	-	104	5.3	1,202
認証保育所	378	214	56.6	22	5.8	61	16.1	121	32.0	54	14.3	75	19.8	1	0.3	21	5.6	229	60.6
認定こども園	93	31	33.3	14	15.1	29	31.2	21	22.6	27	29.0	25	26.9	-	-	7	7.5	43	46.2
幼稚園	611	45	7.4	146	23.9	38	6.2	108	17.7	413	67.6	229	37.5	3	0.5	25	4.1	175	28.6
ベビーホテル	224	49	21.9	7	3.1	18	8.0	59	26.3	104	46.4	92	41.1	1	0.4	23	10.3	53	23.7
家庭的保育	180	44	24.4	10	5.6	27	15.0	24	13.3	50	27.8	82	45.6	11	6.1	22	12.2	49	27.2
学童保育	980	30	3.1	379	38.7	83	8.5	56	5.7	731	74.6	453	46.2	1	0.1	53	5.4	394	40.2
事業所内保育施設	170	65	38.2	6	3.5	10	5.9	44	25.9	63	37.1	67	39.4	3	1.8	16	9.4	67	39.4
院内保育施設	116	34	29.3	5	4.3	7	6.0	36	31.0	44	37.9	59	50.9	1	0.9	5	4.3	37	31.9
小規模保育	269	128	47.6	17	6.3	51	19.0	79	29.4	64	23.8	74	27.5	1	0.4	18	6.7	137	50.9
病児・病後児保育	92	24	26.1	6	6.5	19	20.7	15	16.3	47	51.1	44	47.8	-	-	6	6.5	25	27.2
一時預かり	27	11	40.7	1	3.7	3	11.1	4	14.8	12	44.4	6	22.2	-	-	3	11.1	12	44.4
その他	73	13	17.8	8	11.0	7	9.6	21	28.8	40	54.8	32	43.8	-	-	5	6.8	18	24.7
総数	5,187	1,855	35.8	687	13.2	853	16.4	1,003	19.3	2,050	39.5	1,776	34.2	22	0.4	308	5.9	2,441	47.1
学童保育を除いた総数	4,207	1,825	43.4	308	7.3	770	18.3	947	22.5	1,319	31.4	1,323	31.4	21	0.5	255	6.1	2,047	48.7

表13. 問1-3 問1-2で厚生労働省や文部科学省が作成している生活管理指導表を使用していない方にお聞きします。使用していない理由は何ですか。(複数回答)

施設 総数	これまで使用しているもので支障がない		区市町村の指導		あることを知らなかった		該当者がいない		使いにくい		使い方がわからない		その他		無回答		
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	
認可保育所	668	195	29.2	133	19.9	39	5.8	29	4.3	24	3.6	9	1.3	161	24.1	149	22.3
認証保育所	128	52	40.6	10	7.8	19	14.8	16	12.5	2	1.6	6	4.7	19	14.8	27	21.1
認定こども園	43	15	34.9	6	14.0	5	11.6	3	7.0	3	7.0	-	-	7	16.3	7	16.3
幼稚園	411	168	40.9	8	1.9	125	30.4	41	10.0	13	3.2	17	4.1	18	4.4	75	18.2
ベビーホテル	148	44	29.7	4	2.7	37	25.0	29	19.6	1	0.7	5	3.4	8	5.4	36	24.3
家庭的保育	109	19	17.4	2	1.8	27	24.8	59	54.1	-	-	3	2.8	4	3.7	11	10.1
学童保育	533	190	35.6	85	15.9	121	22.7	56	10.5	2	0.4	9	1.7	84	15.8	81	15.2
事業所内保育施設	87	19	21.8	-	-	29	33.3	34	39.1	2	2.3	3	3.4	9	10.3	6	6.9
院内保育施設	74	30	40.5	2	2.7	12	16.2	21	28.4	-	-	-	-	11	14.9	11	14.9
小規模保育	114	49	43.0	8	7.0	14	12.3	25	21.9	2	1.8	-	-	11	9.6	23	20.2
病児・病後児保育	61	27	44.3	4	6.6	5	8.2	3	4.9	1	1.6	1	1.6	28	45.9	3	4.9
一時預かり	12	2	16.7	-	-	2	16.7	2	16.7	-	-	-	-	3	25.0	4	33.3
その他	50	14	28.0	1	2.0	13	26.0	9	18.0	4	8.0	1	2.0	3	6.0	13	26.0
総数	2,438	824	33.8	263	10.8	448	18.4	327	13.4	54	2.2	54	2.2	366	15.0	446	18.3
学童保育を除いた総数	1,905	634	33.3	178	9.3	327	17.2	271	14.2	52	2.7	45	2.4	282	14.8	365	19.2

3 ぜん息について

表14. 問2-1 入園・入所時に、ぜん息のある子供を預かりますか。

	施設 総数	預かる		軽度であれば 預かる		預からない		決まっていない		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	1,639	83.0	117	5.9	2	0.1	80	4.1	80	4.1	56	2.8
認証保育所	378	168	44.4	75	19.8	14	3.7	75	19.8	25	6.6	21	5.6
認定こども園	93	72	77.4	11	11.8	-	-	3	3.2	4	4.3	3	3.2
幼稚園	611	394	64.5	132	21.6	4	0.7	54	8.8	14	2.3	13	2.1
ベビーホテル	224	76	33.9	70	31.3	18	8.0	32	14.3	13	5.8	15	6.7
家庭的保育	180	30	16.7	50	27.8	27	15.0	48	26.7	15	8.3	10	5.6
学童保育	980	849	86.6	51	5.2	5	0.5	29	3.0	20	2.0	26	2.7
事業所内保育施設	170	71	41.8	35	20.6	6	3.5	37	21.8	19	11.2	2	1.2
院内保育施設	116	63	54.3	14	12.1	3	2.6	22	19.0	9	7.8	5	4.3
小規模保育	269	133	49.4	47	17.5	8	3.0	43	16.0	24	8.9	14	5.2
病児・病後児保育	92	73	79.3	9	9.8	-	-	2	2.2	7	7.6	1	1.1
一時預かり	27	10	37.0	5	18.5	2	7.4	4	14.8	6	22.2	-	-
その他	73	34	46.6	17	23.3	4	5.5	9	12.3	6	8.2	3	4.1
総 数	5,187	3,612	69.6	633	12.2	93	1.8	438	8.4	242	4.7	169	3.3
学童保育を除いた総数	4,207	2,763	65.7	582	13.8	88	2.1	409	9.7	222	5.3	143	3.4

表15. 問2-2 ぜん息の発作時使用薬を預かりますか。

	施設 総数	預かる		預からない		決まっていない		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	854	43.3	390	19.8	215	10.9	434	22.0	81	4.1
認証保育所	378	138	36.5	71	18.8	77	20.4	64	16.9	28	7.4
認定こども園	93	30	32.3	28	30.1	8	8.6	23	24.7	4	4.3
幼稚園	611	202	33.1	206	33.7	103	16.9	79	12.9	21	3.4
ベビーホテル	224	71	31.7	81	36.2	38	17.0	18	8.0	16	7.1
家庭的保育	180	30	16.7	70	38.9	51	28.3	14	7.8	15	8.3
学童保育	980	115	11.7	550	56.1	96	9.8	185	18.9	34	3.5
事業所内保育施設	170	57	33.5	46	27.1	42	24.7	21	12.4	4	2.4
院内保育施設	116	33	28.4	30	25.9	31	26.7	17	14.7	5	4.3
小規模保育	269	84	31.2	77	28.6	57	21.2	32	11.9	19	7.1
病児・病後児保育	92	63	68.5	12	13.0	4	4.3	11	12.0	2	2.2
一時預かり	27	4	14.8	16	59.3	3	11.1	4	14.8	-	-
その他	73	16	21.9	23	31.5	18	24.7	11	15.1	5	6.8
総 数	5,187	1,697	32.7	1,600	30.8	743	14.3	913	17.6	234	4.5
学童保育を除いた総数	4,207	1,582	37.6	1,050	25.0	647	15.4	728	17.3	200	4.8

表16. 問2-3 この1年間に、施設内でぜん息発作を起こした子供がいましたか。

	施設 総数	いる		いない		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	226	11.4	1,697	86.0	51	2.6
認証保育所	378	8	2.1	353	93.4	17	4.5
認定こども園	93	11	11.8	79	84.9	3	3.2
幼稚園	611	13	2.1	586	95.9	12	2.0
ベビーホテル	224	2	0.9	212	94.6	10	4.5
家庭的保育	180	2	1.1	170	94.4	8	4.4
学童保育	980	28	2.9	929	94.8	23	2.3
事業所内保育施設	170	4	2.4	163	95.9	3	1.8
院内保育施設	116	5	4.3	105	90.5	6	5.2
小規模保育	269	8	3.0	250	92.9	11	4.1
病児・病後児保育	92	38	41.3	53	57.6	1	1.1
一時預かり	27	-	-	26	96.3	1	3.7
その他	73	1	1.4	70	95.9	2	2.7
総数	5,187	346	6.7	4,693	90.5	148	2.9
学童保育を除いた総数	4,207	318	7.6	3,764	89.5	125	3.0

表17. 問2-4 問2-3のぜん息発作のうち、最も重症だった状況に近い発作はどれですか。

	施設 総数	小発作		中発作		大発作		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	226	127	56.2	90	39.8	9	4.0	-	-
認証保育所	8	8	100.0	-	-	-	-	-	-
認定こども園	11	4	36.4	4	36.4	3	27.3	-	-
幼稚園	13	9	69.2	3	23.1	-	-	1	7.7
ベビーホテル	2	2	100.0	-	-	-	-	-	-
家庭的保育	2	2	100.0	-	-	-	-	-	-
学童保育	28	20	71.4	6	21.4	2	7.1	-	-
事業所内保育施設	4	2	50.0	1	25.0	1	25.0	-	-
院内保育施設	5	3	60.0	2	40.0	-	-	-	-
小規模保育	8	3	37.5	3	37.5	1	12.5	1	12.5
病児・病後児保育	38	9	23.7	21	55.3	7	18.4	1	2.6
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	1	100.0	-	-	-	-	-	-
総数	346	190	54.9	130	37.6	23	6.6	3	0.9
学童保育を除いた総数	318	170	53.5	124	39.0	21	6.6	3	0.9

表18. 問2-5 問2-4の発作に対して、どのように対応しましたか。(複数回答)

	施設 総数	椅子に座って休 むなど楽な体 勢をとらせた		水を飲ませた		持参薬(発作治 療薬)を吸入・ 内服させた		保護者に連絡し た		かかりつけ医や 嘱託医等に連 絡をして指示を 受けた		医療機関を受 診した		救急車を要請し た		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	226	194	85.8	145	64.2	16	7.1	213	94.2	9	4.0	17	7.5	4	1.8	22	9.7	3	1.3
認証保育所	8	6	75.0	6	75.0	-	-	7	87.5	-	-	-	-	-	-	2	25.0	-	-
認定こども園	11	10	90.9	8	72.7	-	-	10	90.9	2	18.2	-	-	1	9.1	2	18.2	-	-
幼稚園	12	11	91.7	4	33.3	2	16.7	12	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベビーホテル	2	1	50.0	1	50.0	1	50.0	1	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭的保育	2	-	-	1	50.0	-	-	2	100.0	-	-	-	-	-	-	1	50.0	-	-
学童保育	28	27	96.4	15	53.6	3	10.7	25	89.3	-	-	-	-	1	3.6	2	7.1	-	-
事業所内保育施設	4	1	25.0	1	25.0	2	50.0	1	25.0	1	25.0	1	25.0	1	25.0	2	50.0	-	-
院内保育施設	5	3	60.0	4	80.0	1	20.0	5	100.0	-	-	1	20.0	-	-	2	40.0	-	-
小規模保育	7	6	85.7	6	85.7	-	-	6	85.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病児・病後児保育	37	27	73.0	23	62.2	25	67.6	12	32.4	12	32.4	11	29.7	1	2.7	8	21.6	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	1	100.0	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総 数	343	286	83.4	215	62.7	50	14.6	295	86.0	24	7.0	30	8.7	8	2.3	41	12.0	3	0.9
学童保育を除いた総数	315	259	82.2	200	63.5	47	14.9	270	85.7	24	7.6	30	9.5	7	2.2	39	12.4	3	1.0

4 食物アレルギー・アナフィラキシーについて

表19. 問3-1 施設で提供している食べ物を選んでください。(複数回答)

	施設 総数															再掲			
		給食(昼食)		給食(夕食)		補食		おやつ		食べ物を提供して いない		その他		無回答		給食(昼食) または 給食(夕食)を提供		給食(昼食)・(夕食) 補食・おやつ のいずれかを提供	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	1,946	98.6	599	30.3	1,656	83.9	1,820	92.2	-	-	39	2.0	21	1.1	1,953	98.9	1,953	98.9
認証保育所	378	370	97.9	177	46.8	250	66.1	338	89.4	-	-	2	0.5	8	2.1	370	97.9	370	97.9
認定こども園	93	89	95.7	22	23.7	56	60.2	87	93.5	-	-	4	4.3	3	3.2	89	95.7	89	95.7
幼稚園	611	343	56.1	2	0.3	30	4.9	336	55.0	55	9.0	168	27.5	11	1.8	343	56.1	451	73.8
ベビーホテル	224	149	66.5	49	21.9	57	25.4	143	63.8	42	18.8	27	12.1	7	3.1	149	66.5	162	72.3
家庭的保育	180	140	77.8	2	1.1	34	18.9	132	73.3	16	8.9	7	3.9	6	3.3	141	78.3	151	83.9
学童保育	980	106	10.8	6	0.6	100	10.2	829	84.6	24	2.4	152	15.5	18	1.8	108	11.0	884	90.2
事業所内保育施設	170	125	73.5	35	20.6	61	35.9	130	76.5	13	7.6	22	12.9	1	0.6	125	73.5	148	87.1
院内保育施設	116	92	79.3	53	45.7	26	22.4	91	78.4	6	5.2	15	12.9	5	4.3	93	80.2	101	87.1
小規模保育	269	263	97.8	12	4.5	123	45.7	238	88.5	1	0.4	3	1.1	3	1.1	264	98.1	264	98.1
病児・病後児保育	92	55	59.8	6	6.5	15	16.3	57	62.0	17	18.5	18	19.6	1	1.1	55	59.8	65	70.7
一時預かり	27	14	51.9	1	3.7	7	25.9	14	51.9	7	25.9	4	14.8	-	-	15	55.6	16	59.3
その他	73	54	74.0	3	4.1	9	12.3	51	69.9	2	2.7	5	6.8	2	2.7	54	74.0	65	89.0
総数	5,187	3,746	72.2	967	18.6	2,424	46.7	4,266	82.2	183	3.5	466	9.0	86	1.7	3,759	72.5	4,719	91.0
学童保育を除いた総数	4,207	3,640	86.5	961	22.8	2,324	55.2	3,437	81.7	159	3.8	314	7.5	68	1.6	3,651	86.8	3,835	91.2

表20. 問3-2 給食等の調理方式はどのようになっていますか。最もあてはまるものを一つ選んでください。

	施設 総数	施設内で調理		共同調理場で調理した給食を提供するセンター方式		民間業者が調理して、所・園に届ける弁当方式		弁当を持参してもらう (食物アレルギー有無に関係なし)		食べ物を提供していない		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	1,941	98.3	2	0.1	-	-	-	-	-	-	10	0.5	21	1.1
認証保育所	378	369	97.6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.3	8	2.1
認定こども園	93	74	79.6	1	1.1	12	12.9	-	-	-	-	2	2.2	4	4.3
幼稚園	611	104	17.0	24	3.9	247	40.4	110	18.0	44	7.2	35	5.7	47	7.7
ベビーホテル	224	101	45.1	2	0.9	44	19.6	35	15.6	23	10.3	9	4.0	10	4.5
家庭的保育	180	115	63.9	4	2.2	2	1.1	20	11.1	7	3.9	20	11.1	12	6.7
学童保育	980	168	17.1	-	-	58	5.9	280	28.6	38	3.9	334	34.1	102	10.4
事業所内保育施設	170	105	61.8	1	0.6	14	8.2	36	21.2	4	2.4	5	2.9	5	2.9
院内保育施設	116	47	40.5	18	15.5	6	5.2	12	10.3	2	1.7	24	20.7	7	6.0
小規模保育	269	246	91.4	5	1.9	1	0.4	1	0.4	1	0.4	12	4.5	3	1.1
病児・病後児保育	92	50	54.3	2	2.2	2	2.2	20	21.7	8	8.7	7	7.6	3	3.3
一時預かり	27	14	51.9	-	-	-	-	7	25.9	4	14.8	1	3.7	1	3.7
その他	73	29	39.7	1	1.4	23	31.5	14	19.2	-	-	4	5.5	2	2.7
総数	5,187	3,363	64.8	60	1.2	409	7.9	535	10.3	131	2.5	464	8.9	225	4.3
学童保育を除いた総数	4,207	3,195	75.9	60	1.4	351	8.3	255	6.1	93	2.2	130	3.1	123	2.9

表21. 問3-3 入園・入所時に、食物アレルギーのある子供を預かりますか。預からない場合は理由もお答えください。

	施設 総数	預かる		軽度であれば預かる		決まっていない		その他		預からない		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	1,882	95.3	43	2.2	3	0.2	29	1.5	-	-	17	0.9
認証保育所	378	292	77.2	53	14.0	9	2.4	10	2.6	4	1.1	10	2.6
認定こども園	93	86	92.5	5	5.4	-	-	-	-	-	-	2	2.2
幼稚園	611	471	77.1	101	16.5	18	2.9	10	1.6	4	0.7	7	1.1
ベビーホテル	224	131	58.5	59	26.3	7	3.1	6	2.7	14	6.3	7	3.1
家庭的保育	180	54	30.0	72	40.0	15	8.3	6	3.3	28	15.6	5	2.8
学童保育	980	920	93.9	7	0.7	6	0.6	31	3.2	2	0.2	14	1.4
事業所内保育施設	170	119	70.0	37	21.8	7	4.1	3	1.8	3	1.8	1	0.6
院内保育施設	116	88	75.9	16	13.8	4	3.4	2	1.7	-	-	6	5.2
小規模保育	269	198	73.6	51	19.0	4	1.5	9	3.3	4	1.5	3	1.1
病児・病後児保育	92	89	96.7	1	1.1	-	-	-	-	-	-	2	2.2
一時預かり	27	20	74.1	3	11.1	-	-	3	11.1	-	-	1	3.7
その他	73	49	67.1	16	21.9	-	-	5	6.8	1	1.4	2	2.7
総数	5,187	4,399	84.8	464	8.9	73	1.4	114	2.2	60	1.2	77	1.5
学童保育を除いた総数	4,207	3,479	82.7	457	10.9	67	1.6	83	2.0	58	1.4	63	1.5

表22. (問3-3で「5. 預からない」と答えた方に) その理由 (複数回答)

	施設 総数	対応方法が わからない		対応に不安がある		対応に責任が もてない		人手不足		経費がかかる		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
認証保育所	4	-	-	1	25.0	1	25.0	3	75.0	1	25.0	1	25.0	-	-
認定こども園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園	4	1	25.0	1	25.0	1	25.0	-	-	-	-	-	-	1	25.0
ベビーホテル	14	1	7.1	7	50.0	9	64.3	5	35.7	1	7.1	1	7.1	1	7.1
家庭的保育	28	1	3.6	9	32.1	15	53.6	7	25.0	-	-	7	25.0	5	17.9
学童保育	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	100.0	-	-
事業所内保育施設	3	-	-	1	33.3	-	-	-	-	-	-	2	66.7	-	-
院内保育施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小規模保育	4	-	-	-	-	3	75.0	3	75.0	-	-	2	50.0	-	-
病児・病後児保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
総数	60	3	5.0	19	31.7	30	50.0	18	30.0	2	3.3	15	25.0	7	11.7
学童保育を除いた総数	58	3	5.2	19	32.8	30	51.7	18	31.0	2	3.4	13	22.4	7	12.1

表23. 問3-4 入園・入所時に、アドレナリン自己注射薬（エピペン®）を処方されている子供を預かりますか。

	施設 総数	預かる		預からない		決まっていない		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	1,736	87.9	28	1.4	97	4.9	88	4.5	25	1.3
認証保育所	378	179	47.4	52	13.8	91	24.1	39	10.3	17	4.5
認定こども園	93	77	82.8	6	6.5	5	5.4	2	2.2	3	3.2
幼稚園	611	442	72.3	46	7.5	84	13.7	31	5.1	8	1.3
ベビーホテル	224	89	39.7	71	31.7	39	17.4	16	7.1	9	4.0
家庭的保育	180	31	17.2	67	37.2	52	28.9	11	6.1	19	10.6
学童保育	980	903	92.1	7	0.7	16	1.6	40	4.1	14	1.4
事業所内保育施設	170	89	52.4	18	10.6	43	25.3	14	8.2	6	3.5
院内保育施設	116	49	42.2	13	11.2	39	33.6	9	7.8	6	5.2
小規模保育	269	127	47.2	40	14.9	69	25.7	29	10.8	4	1.5
病児・病後児保育	92	67	72.8	3	3.3	12	13.0	7	7.6	3	3.3
一時預かり	27	16	59.3	3	11.1	3	11.1	5	18.5	-	-
その他	73	40	54.8	11	15.1	13	17.8	7	9.6	2	2.7
総数	5,187	3,845	74.1	365	7.0	563	10.9	298	5.7	116	2.2
学童保育を除いた総数	4,207	2,942	69.9	358	8.5	547	13.0	258	6.1	102	2.4

表24. 問3-5 問3-4で「預かる」と答えた方にお聞きします。アドレナリン自己注射薬（エピペン®）を預かりますか。

	施設 総数	預かる		預からない		決まっていない		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,736	1,683	96.9	8	0.5	14	0.8	25	1.4	6	0.3
認証保育所	179	166	92.7	3	1.7	4	2.2	5	2.8	1	0.6
認定こども園	77	74	96.1	-	-	1	1.3	1	1.3	1	1.3
幼稚園	442	418	94.6	9	2.0	4	0.9	11	2.5	-	-
ベビーホテル	89	83	93.3	4	4.5	1	1.1	1	1.1	-	-
家庭的保育	31	30	96.8	-	-	1	3.2	-	-	-	-
学童保育	903	331	36.7	332	36.8	29	3.2	205	22.7	6	0.7
事業所内保育施設	89	76	85.4	2	2.2	11	12.4	-	-	-	-
院内保育施設	49	38	77.6	4	8.2	2	4.1	5	10.2	-	-
小規模保育	127	112	88.2	4	3.1	6	4.7	3	2.4	2	1.6
病児・病後児保育	67	52	77.6	4	6.0	2	3.0	8	11.9	1	1.5
一時預かり	16	13	81.3	-	-	-	-	3	18.8	-	-
その他	40	36	90.0	2	5.0	1	2.5	1	2.5	-	-
総数	3,845	3,112	80.9	372	9.7	76	2.0	268	7.0	17	0.4
学童保育を除いた総数	2,942	2,781	94.5	40	1.4	47	1.6	63	2.1	11	0.4

表25. (問3-5で「1. 預かる」と答えた方に) 現在預かっている児は何人ですか。

	施設 総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	無回答
		施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数
認可保育所	1,683	316	67	2	-	-	-	1,298
認証保育所	166	16	-	-	-	-	-	150
認定こども園	74	29	5	4	1	-	-	35
幼稚園	418	121	50	19	6	2	2	218
ベビーホテル	83	16	3	-	-	-	-	64
家庭的保育	30	-	-	-	-	-	-	30
学童保育	331	59	11	3	1	-	-	257
事業所内保育施設	76	1	-	-	1	-	-	74
院内保育施設	38	1	-	-	-	-	-	37
小規模保育	112	1	-	-	-	-	-	111
病児・病後児保育	52	3	1	-	-	1	-	47
一時預かり	13	2	-	-	-	-	-	11
その他	36	1	3	-	-	-	-	32
総数	3,112	566	140	28	9	3	2	2,364
学童保育を除いた総数	2,781	507	129	25	8	3	2	2,107

表26. 問3-6 一般的な食物アレルギーのある子供の給食には、主にどのように対応していますか。最もあてはまるものを一つ選んでください

	施設 総数	詳細な献立対応 (給食やおやつ の原材料を記載した 献立表を事前配布 し、原因食品を 除いて食べる)		一部弁当対応 (除去食又は代替 食対応において、 代替提供が困難な 献立のみ弁当 持参)		完全弁当対応 (食物アレルギー 対応が困難なた め、全て弁当持参)		除去食対応 (原因となる食物を 除いた食物を 提供)		代替食対応 (原因となる食物の 代わりとなる食物 を、必要な栄養の 摂取基準量を補充 して提供)		その他		食べ物を提供して いない		食物アレルギーの ある子供を 預かっていない		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	794	40.2	150	7.6	4	0.2	445	22.5	510	25.8	44	2.2	1	0.1	6	0.3	20	1.0
認証保育所	378	151	39.9	18	4.8	1	0.3	114	30.2	77	20.4	11	2.9	-	-	3	0.8	3	0.8
認定こども園	93	32	34.4	9	9.7	4	4.3	21	22.6	19	20.4	7	7.5	1	1.1	-	-	-	-
幼稚園	611	83	13.6	84	13.7	77	12.6	93	15.2	52	8.5	87	14.2	102	16.7	2	0.3	31	5.1
ベビーホテル	224	33	14.7	26	11.6	34	15.2	54	24.1	13	5.8	8	3.6	37	16.5	8	3.6	11	4.9
家庭的保育	180	26	14.4	4	2.2	21	11.7	45	25.0	8	4.4	8	4.4	17	9.4	44	24.4	7	3.9
学童保育	980	42	4.3	10	1.0	129	13.2	284	29.0	127	13.0	163	16.6	126	12.9	22	2.2	77	7.9
事業所内保育施設	170	35	20.6	7	4.1	27	15.9	43	25.3	15	8.8	9	5.3	12	7.1	17	10.0	5	2.9
院内保育施設	116	11	9.5	11	9.5	31	26.7	35	30.2	12	10.3	4	3.4	7	6.0	4	3.4	1	0.9
小規模保育	269	102	37.9	17	6.3	4	1.5	94	34.9	29	10.8	11	4.1	1	0.4	8	3.0	3	1.1
病児・病後児保育	92	11	12.0	9	9.8	12	13.0	22	23.9	5	5.4	6	6.5	23	25.0	-	-	4	4.3
一時預かり	27	4	14.8	2	7.4	2	7.4	5	18.5	2	7.4	4	14.8	7	25.9	1	3.7	-	-
その他	73	9	12.3	6	8.2	12	16.4	14	19.2	10	13.7	5	6.8	6	8.2	8	11.0	3	4.1
総数	5,187	1,333	25.7	353	6.8	358	6.9	1,269	24.5	879	16.9	367	7.1	340	6.6	123	2.4	165	3.2
学童保育を除いた総数	4,207	1,291	30.7	343	8.2	229	5.4	985	23.4	752	17.9	204	4.8	214	5.1	101	2.4	88	2.1

表27. 問3-7 誤食・誤配予防にどのような工夫をしていますか。(複数回答)

	施設 総数	アレルギー食 材を使用しない 献立表作成		配膳名札の 工夫		専用食器・トレ イなどの利用		受け渡し時の 確認		個別配送・ 配膳	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	946	47.9	1,706	86.4	1,904	96.5	1,825	92.5	1,305	66.1
認証保育所	378	174	46.0	288	76.2	352	93.1	333	88.1	209	55.3
認定こども園	93	37	39.8	69	74.2	79	84.9	74	79.6	54	58.1
幼稚園	611	82	13.4	153	25.0	131	21.4	258	42.2	124	20.3
ベビーホテル	224	45	20.1	70	31.3	101	45.1	113	50.4	51	22.8
家庭的保育	180	59	32.8	22	12.2	48	26.7	36	20.0	21	11.7
学童保育	980	328	33.5	228	23.3	507	51.7	590	60.2	253	25.8
事業所内保育施設	170	42	24.7	76	44.7	92	54.1	101	59.4	71	41.8
院内保育施設	116	17	14.7	56	48.3	74	63.8	68	58.6	33	28.4
小規模保育	269	113	42.0	168	62.5	225	83.6	205	76.2	132	49.1
病児・病後児保育	92	19	20.7	51	55.4	60	65.2	61	66.3	40	43.5
一時預かり	27	6	22.2	15	55.6	18	66.7	15	55.6	5	18.5
その他	73	19	26.0	31	42.5	30	41.1	35	47.9	13	17.8
総 数	5,187	1,887	36.4	2,933	56.5	3,621	69.8	3,714	71.6	2,311	44.6
学童保育を除いた総数	4,207	1,559	37.1	2,705	64.3	3,114	74.0	3,124	74.3	2,058	48.9

	施設 総数	座席の固定		他の子供との 間に職員が 座る		特に行って いない		その他		食物アレル ギーのある子 供を預かって いない		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	1,646	83.4	1,066	54.0	-	-	203	10.3	6	0.3	5	0.3
認証保育所	378	304	80.4	193	51.1	-	-	28	7.4	4	1.1	1	0.3
認定こども園	93	64	68.8	47	50.5	1	1.1	14	15.1	-	-	1	1.1
幼稚園	611	128	20.9	234	38.3	23	3.8	64	10.5	9	1.5	50	8.2
ベビーホテル	224	109	48.7	100	44.6	1	0.4	24	10.7	17	7.6	12	5.4
家庭的保育	180	40	22.2	39	21.7	-	-	4	2.2	66	36.7	11	6.1
学童保育	980	216	22.0	135	13.8	15	1.5	153	15.6	35	3.6	40	4.1
事業所内保育施設	170	106	62.4	74	43.5	-	-	9	5.3	27	15.9	3	1.8
院内保育施設	116	71	61.2	66	56.9	-	-	11	9.5	5	4.3	2	1.7
小規模保育	269	185	68.8	131	48.7	-	-	21	7.8	15	5.6	3	1.1
病児・病後児保育	92	31	33.7	54	58.7	1	1.1	18	19.6	1	1.1	4	4.3
一時預かり	27	12	44.4	13	48.1	-	-	8	29.6	1	3.7	-	-
その他	73	43	58.9	33	45.2	-	-	8	11.0	9	12.3	2	2.7
総 数	5,187	2,955	57.0	2,185	42.1	41	0.8	565	10.9	195	3.8	134	2.6
学童保育を除いた総数	4,207	2,739	65.1	2,050	48.7	26	0.6	412	9.8	160	3.8	94	2.2

表28. 問3-8 この1年間に施設内で食物アレルギー症状が起きたことがありますか。

	施設 総数	あり		なし		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	373	18.9	1,573	79.7	28	1.4
認証保育所	378	47	12.4	326	86.2	5	1.3
認定こども園	93	19	20.4	74	79.6	-	-
幼稚園	611	44	7.2	561	91.8	6	1.0
ベビーホテル	224	14	6.3	207	92.4	3	1.3
家庭的保育	180	6	3.3	171	95.0	3	1.7
学童保育	980	60	6.1	906	92.4	14	1.4
事業所内保育施設	170	6	3.5	156	91.8	8	4.7
院内保育施設	116	5	4.3	110	94.8	1	0.9
小規模保育	269	19	7.1	246	91.4	4	1.5
病児・病後児保育	92	11	12.0	78	84.8	3	3.3
一時預かり	27	-	-	27	100.0	-	-
その他	73	4	5.5	68	93.2	1	1.4
総 数	5,187	608	11.7	4,503	86.8	76	1.5
学童保育を除いた総数	4,207	548	13.0	3,597	85.5	62	1.5

表29. (問3-8で「1.あり」と答えた方に)回数をお答えください。

	施設 総数	1回	2回	3回	4回	5~9回	10回以上	無回答
		施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数
認可保育所	373	202	79	36	16	13	7	20
認証保育所	47	23	11	4	2	5	-	2
認定こども園	19	7	7	2	1	-	-	2
幼稚園	44	33	6	1	-	3	-	1
ベビーホテル	14	8	1	2	1	1	-	1
家庭的保育	6	4	1	-	1	-	-	-
学童保育	60	45	11	-	1	1	1	1
事業所内保育施設	6	3	-	1	1	-	-	1
院内保育施設	5	4	-	1	-	-	-	-
小規模保育	19	15	3	-	1	-	-	-
病児・病後児保育	11	7	-	1	-	1	-	2
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	4	3	1	-	-	-	-	-
総 数	608	354	120	48	24	24	8	30
学童保育を除いた総数	548	309	109	48	23	23	7	29

表30. 問3-9 問3-8で「あり」と回答された方にお聞きします。『初発』の子供はいましたか。

	施設 総数	あり		なし		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	373	208	55.8	158	42.4	7	1.9
認証保育所	47	25	53.2	22	46.8	-	-
認定こども園	19	10	52.6	9	47.4	-	-
幼稚園	44	15	34.1	29	65.9	-	-
ベビーホテル	14	5	35.7	9	64.3	-	-
家庭的保育	6	3	50.0	3	50.0	-	-
学童保育	60	21	35.0	39	65.0	-	-
事業所内保育施設	6	2	33.3	4	66.7	-	-
院内保育施設	5	4	80.0	1	20.0	-	-
小規模保育	19	14	73.7	5	26.3	-	-
病児・病後児保育	11	6	54.5	5	45.5	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-
その他	4	1	25.0	3	75.0	-	-
総数	608	314	51.6	287	47.2	7	1.2
学童保育を除いた総数	548	293	53.5	248	45.3	7	1.3

表31. (問3-9で「1.あり」と答えた方に)回数をお答えください。

	施設 総数	1回	2回	3回	4回	5~9回	10回以上	無回答
		施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数
認可保育所	208	144	40	13	3	2	-	6
認証保育所	25	18	4	2	-	-	-	1
認定こども園	10	5	2	2	1	-	-	-
幼稚園	15	15	-	-	-	-	-	-
ベビーホテル	5	3	1	-	1	-	-	-
家庭的保育	3	2	-	-	1	-	-	-
学童保育	21	18	2	-	-	-	1	-
事業所内保育施設	2	2	-	-	-	-	-	-
院内保育施設	4	4	-	-	-	-	-	-
小規模保育	14	13	1	-	-	-	-	-
病児・病後児保育	6	4	1	-	-	1	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	1	-	-	-	-	-	-
総数	314	229	51	17	6	3	1	7
学童保育を除いた総数	293	211	49	17	6	3	-	7

表32. 問3-10 問3-8で「あり」と回答された方にお聞きします。『誤食』が原因で起きたことはありましたか。

	施設 総数	あり		なし		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	373	48	12.9	299	80.2	26	7.0
認証保育所	47	7	14.9	36	76.6	4	8.5
認定こども園	19	5	26.3	12	63.2	2	10.5
幼稚園	44	13	29.5	26	59.1	5	11.4
ベビーホテル	14	3	21.4	11	78.6	-	-
家庭的保育	6	1	16.7	4	66.7	1	16.7
学童保育	60	22	36.7	37	61.7	1	1.7
事業所内保育施設	6	1	16.7	3	50.0	2	33.3
院内保育施設	5	1	20.0	4	80.0	-	-
小規模保育	19	2	10.5	15	78.9	2	10.5
病児・病後児保育	11	1	9.1	7	63.6	3	27.3
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-
その他	4	-	-	3	75.0	1	25.0
総数	608	104	17.1	457	75.2	47	7.7
学童保育を除いた総数	548	82	15.0	420	76.6	46	8.4

表33. (問3-10で「1.あり」と答えた方に)回数をお答えください。

	施設 総数	1回	2回	3回	4回	5~9回	10回以上	無回答
		施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数
認可保育所	48	41	5	-	-	-	-	2
認証保育所	7	6	-	-	-	-	-	1
認定こども園	5	5	-	-	-	-	-	-
幼稚園	13	11	1	-	-	-	-	1
ベビーホテル	3	3	-	-	-	-	-	-
家庭的保育	1	1	-	-	-	-	-	-
学童保育	22	21	1	-	-	-	-	-
事業所内保育施設	1	1	-	-	-	-	-	-
院内保育施設	1	1	-	-	-	-	-	-
小規模保育	2	2	-	-	-	-	-	-
病児・病後児保育	1	1	-	-	-	-	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
総数	104	93	7	-	-	-	-	4
学童保育を除いた総数	82	72	6	-	-	-	-	4

表34. (問3-10で「1.あり」と答えた方に)原因と思われること(複数回答)

	施設 総数	職員間で情報が 共有されて いなかった		保護者から 必要な情報を 得ていなかった		調理の段階で 原因食材が 混入した		誤配膳	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	48	5	10.4	6	12.5	3	6.3	13	27.1
認証保育所	7	1	14.3	-	-	1	14.3	1	14.3
認定こども園	5	2	40.0	1	20.0	-	-	2	40.0
幼稚園	13	-	-	3	23.1	-	-	3	23.1
ベビーホテル	3	-	-	-	-	2	66.7	-	-
家庭的保育	1	-	-	-	-	-	-	-	-
学童保育	22	5	22.7	3	13.6	-	-	5	22.7
事業所内保育施設	1	-	-	-	-	-	-	-	-
院内保育施設	1	-	-	-	-	1	100.0	-	-
小規模保育	2	1	50.0	1	50.0	2	100.0	-	-
病児・病後児保育	1	-	-	-	-	-	-	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総数	104	14	13.5	14	13.5	9	8.7	24	23.1
学童保育を除いた総数	82	9	11.0	11	13.4	9	11.0	19	23.2

	施設 総数	他の子供の 食物を食べたり 触れたりした		原材料の見落とし		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	48	7	14.6	9	18.8	11	22.9	3	6.3
認証保育所	7	3	42.9	-	-	3	42.9	-	-
認定こども園	5	2	40.0	-	-	1	20.0	-	-
幼稚園	13	4	30.8	-	-	3	23.1	-	-
ベビーホテル	3	-	-	1	33.3	-	-	-	-
家庭的保育	1	1	100.0	-	-	-	-	-	-
学童保育	22	-	-	7	31.8	5	22.7	-	-
事業所内保育施設	1	-	-	-	-	1	100.0	-	-
院内保育施設	1	-	-	1	100.0	-	-	-	-
小規模保育	2	-	-	2	100.0	1	50.0	-	-
病児・病後児保育	1	1	100.0	-	-	-	-	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総数	104	18	17.3	20	19.2	25	24.0	3	2.9
学童保育を除いた総数	82	18	22.0	13	15.9	20	24.4	3	3.7

表35. 問3-1-1 この1年間に施設内で、食物が原因のアナフィラキシーが起きたことがありますか

	施設 総数	あり		なし		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	373	66	17.7	306	82.0	1	0.3
認証保育所	47	3	6.4	44	93.6	-	-
認定こども園	19	3	15.8	16	84.2	-	-
幼稚園	44	8	18.2	35	79.5	1	2.3
ベビーホテル	14	4	28.6	10	71.4	-	-
家庭的保育	6	2	33.3	4	66.7	-	-
学童保育	60	10	16.7	49	81.7	1	1.7
事業所内保育施設	6	1	16.7	5	83.3	-	-
院内保育施設	5	-	-	5	100.0	-	-
小規模保育	19	-	-	19	100.0	-	-
病児・病後児保育	11	3	27.3	8	72.7	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-
その他	4	1	25.0	3	75.0	-	-
総数	608	101	16.6	504	82.9	3	0.5
学童保育を除いた総数	548	91	16.6	455	83.0	2	0.4

表36. (問3-1-1で「1.あり」と答えた方に)回数をお答えください。

	施設 総数	1回	2回	3回	4回	5~9回	10回以上	無回答
		施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数
認可保育所	66	49	9	1	-	-	1	6
認証保育所	3	2	-	-	-	-	-	1
認定こども園	3	3	-	-	-	-	-	-
幼稚園	8	8	-	-	-	-	-	-
ベビーホテル	4	3	-	1	-	-	-	-
家庭的保育	2	1	1	-	-	-	-	-
学童保育	10	9	-	-	-	-	-	1
事業所内保育施設	1	1	-	-	-	-	-	-
院内保育施設	-	-	-	-	-	-	-	-
小規模保育	-	-	-	-	-	-	-	-
病児・病後児保育	3	2	1	-	-	-	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	1	-	-	-	-	-	-
総数	101	79	11	2	-	-	1	8
学童保育を除いた総数	91	70	11	2	-	-	1	7

表37. 問3-12 問3-11で起きた症状で、最も重かった症状に近いものを1つ選んでください。

	施設 総数	軽症		中度症状		重症		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	66	28	42.4	23	34.8	12	18.2	3	4.5
認証保育所	3	1	33.3	1	33.3	1	33.3	-	-
認定こども園	3	2	66.7	1	33.3	-	-	-	-
幼稚園	8	4	50.0	2	25.0	2	25.0	-	-
ベビーホテル	4	2	50.0	2	50.0	-	-	-	-
家庭的保育	2	1	50.0	1	50.0	-	-	-	-
学童保育	10	8	80.0	2	20.0	-	-	-	-
事業所内保育施設	1	-	-	-	-	1	100.0	-	-
院内保育施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小規模保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病児・病後児保育	3	1	33.3	1	33.3	1	33.3	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	1	100.0	-	-	-	-	-	-
総 数	101	48	47.5	33	32.7	17	16.8	3	3.0
学童保育を除いた総数	91	40	44.0	31	34.1	17	18.7	3	3.3

表38. 問3-13 問3-12の症状に対して、どのように対応しましたか。(複数回答)

	施設 総数	安静にさせ 経過観察を 行った		対応できる 職員を集めた		保護者へ 連絡した		かかりつけ医 や嘱託医等に 連絡をして 指示を受けた		医療機関を 受診した	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	63	35	55.6	19	30.2	58	92.1	14	22.2	22	34.9
認証保育所	3	2	66.7	1	33.3	3	100.0	-	-	2	66.7
認定こども園	3	1	33.3	1	33.3	3	100.0	1	33.3	2	66.7
幼稚園	8	3	37.5	3	37.5	7	87.5	1	12.5	5	62.5
ベビーホテル	4	2	50.0	2	50.0	4	100.0	-	-	1	25.0
家庭的保育	2	2	100.0	1	50.0	2	100.0	-	-	1	50.0
学童保育	10	8	80.0	4	40.0	9	90.0	1	10.0	3	30.0
事業所内保育施設	1	-	-	-	-	1	100.0	-	-	-	-
院内保育施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小規模保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病児・病後児保育	3	2	66.7	3	100.0	2	66.7	1	33.3	1	33.3
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	1	100.0	-	-	1	100.0	-	-	1	100.0
総 数	98	56	57.1	34	34.7	90	91.8	18	18.4	38	38.8
学童保育を除いた総数	88	48	54.5	30	34.1	81	92.0	17	19.3	35	39.8

	施設 総数	持参薬を 内服させた		アドレナリン 自己注射薬 (エピペン®)を 使用した		救急車を 要請した		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	63	15	23.8	7	11.1	23	36.5	5	7.9	-	-
認証保育所	3	-	-	-	-	1	33.3	-	-	-	-
認定こども園	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園	8	3	37.5	2	25.0	4	50.0	-	-	-	-
ベビーホテル	4	1	25.0	-	-	2	50.0	-	-	-	-
家庭的保育	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学童保育	10	4	40.0	-	-	1	10.0	2	20.0	-	-
事業所内保育施設	1	1	100.0	-	-	1	100.0	-	-	-	-
院内保育施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小規模保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病児・病後児保育	3	-	-	-	-	-	-	2	66.7	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	-	-	1	100.0	-	-
総 数	98	24	24.5	9	9.2	32	32.7	10	10.2	-	-
学童保育を除いた総数	88	20	22.7	9	10.2	31	35.2	8	9.1	-	-

表39. 問3-14 アナフィラキシー発症時の対応に役立ったものを選んでください。(複数回答)

	施設 総数	マニュアルや ガイドライン		所・園内での 健康安全に 関する会議		研修会や 講演会		緊急時を想定 したシミュレ ーション訓練		かかりつけ医・ 嘱託医に相談		職員間で連携	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	66	48	72.7	23	34.8	42	63.6	22	33.3	20	30.3	49	74.2
認証保育所	3	2	66.7	2	66.7	2	66.7	2	66.7	-	-	1	33.3
認定こども園	3	2	66.7	2	66.7	2	66.7	1	33.3	1	33.3	3	100.0
幼稚園	8	4	50.0	2	25.0	4	50.0	3	37.5	1	12.5	6	75.0
ベビーホテル	4	2	50.0	2	50.0	4	100.0	1	25.0	1	25.0	4	100.0
家庭的保育	2	-	-	1	50.0	1	50.0	1	50.0	-	-	1	50.0
学童保育	10	10	100.0	3	30.0	4	40.0	5	50.0	-	-	5	50.0
事業所内保育施設	1	1	100.0	-	-	1	100.0	1	100.0	-	-	1	100.0
院内保育施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小規模保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病児・病後児保育	3	3	100.0	2	66.7	3	100.0	1	33.3	2	66.7	3	100.0
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	1	100.0	1	100.0	-	-	1	100.0	-	-	1	100.0
総数	101	73	72.3	38	37.6	63	62.4	38	37.6	25	24.8	74	73.3
学童保育を除いた総数	91	63	69.2	35	38.5	59	64.8	33	36.3	25	27.5	69	75.8

	施設 総数	消防機関との 連携		保護者との 連携		その他		特になし		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	66	5	7.6	40	60.6	2	3.0	-	-	2	3.0
認証保育所	3	-	-	1	33.3	-	-	-	-	-	-
認定こども園	3	-	-	2	66.7	-	-	-	-	-	-
幼稚園	8	1	12.5	5	62.5	-	-	-	-	-	-
ベビーホテル	4	-	-	3	75.0	1	25.0	-	-	-	-
家庭的保育	2	-	-	1	50.0	1	50.0	-	-	-	-
学童保育	10	-	-	7	70.0	-	-	-	-	-	-
事業所内保育施設	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
院内保育施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小規模保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病児・病後児保育	3	-	-	1	33.3	-	-	-	-	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-	-
総数	101	6	5.9	61	60.4	4	4.0	-	-	2	2.0
学童保育を除いた総数	91	6	6.6	54	59.3	4	4.4	-	-	2	2.2

表40. 問3-15 この1年間にアドレナリン自己注射薬（エピペン®）を施設で使用したことがありますか。

	施設 総数	あり		なし		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	66	7	10.6	58	87.9	1	1.5
認証保育所	3	-	-	3	100.0	-	-
認定こども園	3	-	-	3	100.0	-	-
幼稚園	8	2	25.0	6	75.0	-	-
ベビーホテル	4	-	-	4	100.0	-	-
家庭的保育	2	-	-	2	100.0	-	-
学童保育	10	-	-	10	100.0	-	-
事業所内保育施設	1	-	-	1	100.0	-	-
院内保育施設	-	-	-	-	-	-	-
小規模保育	-	-	-	-	-	-	-
病児・病後児保育	3	-	-	3	100.0	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	1	100.0	-	-
総数	101	9	8.9	91	90.1	1	1.0
学童保育を除いた総数	91	9	9.9	81	89.0	1	1.1

表41. （問3-15で「1.あり」と答えた方に）回数をお答えください。

	施設 総数	1回	2回	3回	4回	5~9回	10回以上	無回答
		施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数
認可保育所	7	7	-	-	-	-	-	-
認証保育所	-	-	-	-	-	-	-	-
認定こども園	-	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園	2	2	-	-	-	-	-	-
ベビーホテル	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭的保育	-	-	-	-	-	-	-	-
学童保育	-	-	-	-	-	-	-	-
事業所内保育施設	-	-	-	-	-	-	-	-
院内保育施設	-	-	-	-	-	-	-	-
小規模保育	-	-	-	-	-	-	-	-
病児・病後児保育	-	-	-	-	-	-	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
総数	9	9	-	-	-	-	-	-
学童保育を除いた総数	9	9	-	-	-	-	-	-

表42. 問3-16 問3-15で『あり』と回答された方にお聞きします。アドレナリン自己注射薬（エピペン®）を使用したのはどなたですか。（複数回答）

	施設 総数	管理職		看護師・保健師		保育士		その他職員	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	7	-	-	5	71.4	-	-	-	-
認証保育所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
認定こども園	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園	2	1	50.0	-	-	1	50.0	-	-
ベビーホテル	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭的保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学童保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業所内保育施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-
院内保育施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小規模保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病児・病後児保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総数	9	1	11.1	5	55.6	1	11.1	-	-
学童保育を除いた総数	9	1	11.1	5	55.6	1	11.1	-	-

	施設 総数	保護者		救急救命士		医師		その他職員以外		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	7	2	28.6	-	-	-	-	-	-	-	-
認証保育所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
認定こども園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベビーホテル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭的保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学童保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業所内保育施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
院内保育施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小規模保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病児・病後児保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総数	9	2	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-
学童保育を除いた総数	9	2	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-

5 施設における取組みについて

表43. 問4-1 下記のアレルギー疾患の対応ガイドラインやマニュアルのうち、施設で備えているものを選んでください。(複数回答)

	施設総数	施設で独自に作成したもの		区市町村が作成したもの		東京都作成「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」(2018年3月版)		東京都作成「子供を預かる施設における食物アレルギー日常生活・緊急時対応ガイドブック」(平成30年3月) *DVD付き		厚生労働省作成の「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」		ガイドライン等は備えていない		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	1,043	52.8	791	40.1	1,453	73.6	870	44.1	1,448	73.4	2	0.1	52	2.6	10	0.5
認証保育所	378	238	63.0	97	25.7	267	70.6	125	33.1	256	67.7	2	0.5	3	0.8	2	0.5
認定こども園	93	42	45.2	35	37.6	65	69.9	39	41.9	47	50.5	3	3.2	5	5.4	-	-
幼稚園	611	138	22.6	76	12.4	419	68.6	226	37.0	85	13.9	51	8.3	49	8.0	14	2.3
ベビーホテル	224	71	31.7	35	15.6	153	68.3	59	26.3	100	44.6	14	6.3	8	3.6	7	3.1
家庭的保育	180	21	11.7	36	20.0	130	72.2	50	27.8	83	46.1	5	2.8	9	5.0	3	1.7
学童保育	980	269	27.4	568	58.0	726	74.1	300	30.6	138	14.1	13	1.3	50	5.1	16	1.6
事業所内保育施設	170	82	48.2	5	2.9	101	59.4	46	27.1	93	54.7	4	2.4	8	4.7	2	1.2
院内保育施設	116	40	34.5	8	6.9	81	69.8	45	38.8	62	53.4	3	2.6	6	5.2	1	0.9
小規模保育	269	129	48.0	82	30.5	177	65.8	71	26.4	156	58.0	1	0.4	5	1.9	-	-
病児・病後児保育	92	34	37.0	5	5.4	58	63.0	26	28.3	55	59.8	7	7.6	5	5.4	2	2.2
一時預かり	27	14	51.9	8	29.6	19	70.4	8	29.6	15	55.6	-	-	1	3.7	-	-
その他	73	29	39.7	12	16.4	52	71.2	27	37.0	25	34.2	1	1.4	3	4.1	2	2.7
総数	5,187	2,150	41.4	1,758	33.9	3,701	71.4	1,892	36.5	2,563	49.4	106	2.0	204	3.9	59	1.1
学童保育を除いた総数	4,207	1,881	44.7	1,190	28.3	2,975	70.7	1,592	37.8	2,425	57.6	93	2.2	154	3.7	43	1.0

表44. 問4-2 アレルギー対応を検討したり共通理解するための委員会の設置や担当者を決めていますか。(複数回答)

	施設総数	アレルギー対策委員会やアレルギー専門委員会を設置している		アレルギー対策委員会等は設置していないが、他の会議で検討している		アレルギー対応に関する担当者を決めている		決めていない		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	306	15.5	878	44.5	1,125	57.0	130	6.6	31	1.6
認証保育所	378	19	5.0	168	44.4	169	44.7	71	18.8	7	1.9
認定こども園	93	10	10.8	37	39.8	62	66.7	7	7.5	1	1.1
幼稚園	611	24	3.9	231	37.8	241	39.4	171	28.0	11	1.8
ベビーホテル	224	5	2.2	55	24.6	91	40.6	80	35.7	6	2.7
家庭的保育	180	2	1.1	20	11.1	58	32.2	91	50.6	11	6.1
学童保育	980	41	4.2	252	25.7	229	23.4	483	49.3	39	4.0
事業所内保育施設	170	2	1.2	44	25.9	57	33.5	70	41.2	5	2.9
院内保育施設	116	2	1.7	32	27.6	24	20.7	61	52.6	1	0.9
小規模保育	269	14	5.2	106	39.4	111	41.3	73	27.1	6	2.2
病児・病後児保育	92	3	3.3	26	28.3	27	29.3	42	45.7	2	2.2
一時預かり	27	1	3.7	9	33.3	8	29.6	10	37.0	-	-
その他	73	2	2.7	18	24.7	27	37.0	28	38.4	2	2.7
総数	5,187	431	8.3	1,876	36.2	2,229	43.0	1,317	25.4	122	2.4
学童保育を除いた総数	4,207	390	9.3	1,624	38.6	2,000	47.5	834	19.8	83	2.0

表45. 問4-3 2016年度から現在までに、施設からアレルギーに関する外部の研修・講演会等に参加したスタッフはいますか。参加されていない場合は理由をお選びください。

	施設 総数	参加した		参加していない		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	1,872	94.8	86	4.4	16	0.8
認証保育所	378	349	92.3	28	7.4	1	0.3
認定こども園	93	87	93.5	6	6.5	-	-
幼稚園	611	399	65.3	211	34.5	1	0.2
ベビーホテル	224	166	74.1	55	24.6	3	1.3
家庭的保育	180	138	76.7	40	22.2	2	1.1
学童保育	980	821	83.8	146	14.9	13	1.3
事業所内保育施設	170	119	70.0	50	29.4	1	0.6
院内保育施設	116	79	68.1	36	31.0	1	0.9
小規模保育	269	237	88.1	29	10.8	3	1.1
病児・病後児保育	92	77	83.7	13	14.1	2	2.2
一時預かり	27	22	81.5	5	18.5	-	-
その他	73	50	68.5	20	27.4	3	4.1
総数	5,187	4,416	85.1	725	14.0	46	0.9
学童保育を除いた総数	4,207	3,595	85.5	579	13.8	33	0.8

表46. (問4-3で「2.参加していない」と答えた方に)その理由をお選びください。(複数回答)

	施設 総数	研修の情報・案内が得られない		アレルギーの園児・児童がいない		人手がなくて参加できない		日程が合わない		申し込んでも応募者が多く参加できない		それ以前に研修に参加した		必要性を感じない		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	86	17	19.8	3	3.5	25	29.1	35	40.7	6	7.0	10	11.6	1	1.2	12	14.0	4	4.7
認証保育所	28	-	-	1	3.6	10	35.7	10	35.7	1	3.6	10	35.7	1	3.6	3	10.7	1	3.6
認定こども園	6	1	16.7	-	-	-	-	4	66.7	1	16.7	1	16.7	-	-	-	-	-	-
幼稚園	211	26	12.3	21	10.0	50	23.7	91	43.1	-	-	45	21.3	21	10.0	19	9.0	11	5.2
ベビーホテル	55	4	7.3	12	21.8	21	38.2	24	43.6	2	3.6	7	12.7	5	9.1	4	7.3	2	3.6
家庭的保育	40	3	7.5	16	40.0	15	37.5	17	42.5	-	-	12	30.0	-	-	2	5.0	1	2.5
学童保育	146	11	7.5	14	9.6	34	23.3	58	39.7	2	1.4	37	25.3	4	2.7	26	17.8	11	7.5
事業所内保育施設	50	6	12.0	11	22.0	19	38.0	18	36.0	5	10.0	6	12.0	-	-	11	22.0	2	4.0
院内保育施設	36	-	-	4	11.1	15	41.7	20	55.6	-	-	4	11.1	-	-	5	13.9	2	5.6
小規模保育	29	1	3.4	8	27.6	4	13.8	5	17.2	1	3.4	5	17.2	1	3.4	8	27.6	-	-
病児・病後児保育	13	3	23.1	-	-	6	46.2	2	15.4	-	-	3	23.1	-	-	3	23.1	1	7.7
一時預かり	5	-	-	-	-	3	60.0	1	20.0	-	-	2	40.0	-	-	-	-	-	-
その他	20	2	10.0	7	35.0	6	30.0	5	25.0	2	10.0	1	5.0	-	-	3	15.0	-	-
総数	725	74	10.2	97	13.4	208	28.7	290	40.0	20	2.8	143	19.7	33	4.6	96	13.2	35	4.8
学童保育を除いた総数	579	63	10.9	83	14.3	174	30.1	232	40.1	18	3.1	106	18.3	29	5.0	70	12.1	24	4.1

表47. 問4-4 上記で参加した研修の主催をお答えください。(複数回答)

	施設 総数	東京都		区市町村		保育関係団体		栄養士関係団体		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,872	1,178	62.9	954	51.0	582	31.1	418	22.3	141	7.5	134	7.2
認証保育所	349	234	67.0	164	47.0	77	22.1	70	20.1	13	3.7	26	7.4
認定こども園	87	57	65.5	40	46.0	18	20.7	13	14.9	8	9.2	4	4.6
幼稚園	399	224	56.1	131	32.8	76	19.0	13	3.3	46	11.5	18	4.5
ベビーホテル	166	132	79.5	29	17.5	21	12.7	7	4.2	11	6.6	8	4.8
家庭的保育	138	91	65.9	37	26.8	13	9.4	2	1.4	4	2.9	14	10.1
学童保育	821	355	43.2	495	60.3	43	5.2	7	0.9	91	11.1	48	5.8
事業所内保育施設	119	75	63.0	11	9.2	18	15.1	9	7.6	24	20.2	5	4.2
院内保育施設	79	71	89.9	4	5.1	7	8.9	-	-	4	5.1	3	3.8
小規模保育	237	137	57.8	107	45.1	49	20.7	25	10.5	8	3.4	19	8.0
病児・病後児保育	77	58	75.3	16	20.8	11	14.3	2	2.6	8	10.4	4	5.2
一時預かり	22	15	68.2	8	36.4	5	22.7	-	-	-	-	2	9.1
その他	50	39	78.0	14	28.0	9	18.0	2	4.0	2	4.0	1	2.0
総数	4,416	2,666	60.4	2,010	45.5	929	21.0	568	12.9	360	8.2	286	6.5
学童保育を除いた総数	3,595	2,311	64.3	1,515	42.1	886	24.6	561	15.6	269	7.5	238	6.6

表48. (問4-4で「1.東京都」と答えた方に)その内容について右のなかからお選びください。(複数回答)

	施設 総数	ぜん息		食物アレルギー		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,178	644	54.7	1,151	97.7	98	8.3	-	-
認証保育所	234	101	43.2	229	97.9	6	2.6	-	-
認定こども園	57	26	45.6	57	100.0	2	3.5	-	-
幼稚園	224	40	17.9	220	98.2	12	5.4	-	-
ベビーホテル	132	58	43.9	129	97.7	6	4.5	-	-
家庭的保育	91	39	42.9	87	95.6	5	5.5	-	-
学童保育	355	141	39.7	352	99.2	10	2.8	-	-
事業所内保育施設	75	35	46.7	75	100.0	3	4.0	-	-
院内保育施設	71	41	57.7	69	97.2	3	4.2	-	-
小規模保育	137	64	46.7	136	99.3	5	3.6	-	-
病児・病後児保育	58	35	60.3	56	96.6	3	5.2	-	-
一時預かり	15	10	66.7	15	100.0	-	-	-	-
その他	39	19	48.7	39	100.0	1	2.6	-	-
総数	2,666	1,253	47.0	2,615	98.1	154	5.8	-	-
学童保育を除いた総数	2,311	1,112	48.1	2,263	97.9	144	6.2	-	-

表49. (問4-4で「2. 区市町村」と答えた方に) その内容について右のなかからお選びください。(複数回答)

	施設 総数	ぜん息		食物アレルギー		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	954	179	18.8	943	98.8	33	3.5	-	-
認証保育所	164	33	20.1	162	98.8	3	1.8	-	-
認定こども園	40	5	12.5	39	97.5	4	10.0	-	-
幼稚園	131	15	11.5	127	96.9	7	5.3	-	-
ベビーホテル	29	10	34.5	29	100.0	2	6.9	-	-
家庭的保育	37	7	18.9	37	100.0	2	5.4	-	-
学童保育	495	41	8.3	453	91.5	61	12.3	-	-
事業所内保育施設	11	8	72.7	11	100.0	1	9.1	-	-
院内保育施設	4	-	-	4	100.0	-	-	-	-
小規模保育	107	27	25.2	107	100.0	2	1.9	-	-
病児・病後児保育	16	1	6.3	16	100.0	-	-	-	-
一時預かり	8	4	50.0	7	87.5	-	-	-	-
その他	14	5	35.7	14	100.0	-	-	-	-
総数	2,010	335	16.7	1,949	97.0	115	5.7	-	-
学童保育を除いた総数	1,515	294	19.4	1,496	98.7	54	3.6	-	-

表50. (問4-4で「3. 保育関係団体」と答えた方に) その内容について右のなかからお選びください。(複数回答)

	施設 総数	ぜん息		食物アレルギー		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	582	169	29.0	569	97.8	22	3.8	-	-
認証保育所	77	20	26.0	74	96.1	1	1.3	-	-
認定こども園	18	6	33.3	18	100.0	1	5.6	-	-
幼稚園	76	9	11.8	74	97.4	3	3.9	-	-
ベビーホテル	21	3	14.3	21	100.0	2	9.5	-	-
家庭的保育	13	5	38.5	13	100.0	-	-	-	-
学童保育	43	3	7.0	42	97.7	3	7.0	-	-
事業所内保育施設	18	7	38.9	18	100.0	1	5.6	-	-
院内保育施設	7	3	42.9	6	85.7	1	14.3	-	-
小規模保育	49	18	36.7	49	100.0	-	-	-	-
病児・病後児保育	11	8	72.7	11	100.0	1	9.1	-	-
一時預かり	5	3	60.0	5	100.0	-	-	-	-
その他	9	3	33.3	9	100.0	-	-	-	-
総数	929	257	27.7	909	97.8	35	3.8	-	-
学童保育を除いた総数	886	254	28.7	867	97.9	32	3.6	-	-

表51. (問4-4で「4. 栄養士関係団体」と答えた方に) その内容について右のなかからお選びください。(複数回答)

	施設 総数	ぜん息		食物アレルギー		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	418	41	9.8	415	99.3	6	1.4	-	-
認証保育所	70	5	7.1	69	98.6	1	1.4	-	-
認定こども園	13	1	7.7	13	100.0	1	7.7	-	-
幼稚園	13	-	-	13	100.0	-	-	-	-
ベビーホテル	7	2	28.6	7	100.0	-	-	-	-
家庭的保育	2	-	-	2	100.0	-	-	-	-
学童保育	7	-	-	7	100.0	-	-	-	-
事業所内保育施設	9	1	11.1	9	100.0	-	-	-	-
院内保育施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小規模保育	25	6	24.0	25	100.0	-	-	-	-
病児・病後児保育	2	1	50.0	2	100.0	-	-	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2	-	-	2	100.0	-	-	-	-
総数	568	57	10.0	564	99.3	8	1.4	-	-
学童保育を除いた総数	561	57	10.2	557	99.3	8	1.4	-	-

表52. (問4-4で「5. その他」と答えた方に) その内容について右のなかからお選びください。(複数回答)

	施設 総数	ぜん息		食物アレルギー		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	141	35	24.8	121	85.8	18	12.8	6	4.3
認証保育所	13	3	23.1	12	92.3	1	7.7	1	7.7
認定こども園	8	1	12.5	8	100.0	1	12.5	-	-
幼稚園	46	10	21.7	38	82.6	7	15.2	4	8.7
ベビーホテル	11	1	9.1	9	81.8	1	9.1	2	18.2
家庭的保育	4	-	-	4	100.0	1	25.0	-	-
学童保育	91	11	12.1	87	95.6	13	14.3	2	2.2
事業所内保育施設	24	2	8.3	21	87.5	4	16.7	1	4.2
院内保育施設	4	-	-	4	100.0	-	-	-	-
小規模保育	8	2	25.0	8	100.0	1	12.5	-	-
病児・病後児保育	8	4	50.0	8	100.0	3	37.5	-	-
一時預かり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2	-	-	1	50.0	-	-	1	50.0
総数	360	69	19.2	321	89.2	50	13.9	17	4.7
学童保育を除いた総数	269	58	21.6	234	87.0	37	13.8	15	5.6

表53. 問4-5 研修で得た知識を施設でどのように周知していますか。(複数回答)

	施設 総数	研修に参加した職員 による伝達勉強会		研修で使用する 資料等を回覧		会議等で周知		周知していない		その他		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	820	41.5	1,241	62.9	1,493	75.6	21	1.1	49	2.5	70	3.5
認証保育所	378	184	48.7	259	68.5	263	69.6	2	0.5	5	1.3	14	3.7
認定こども園	93	40	43.0	59	63.4	61	65.6	4	4.3	7	7.5	2	2.2
幼稚園	611	233	38.1	268	43.9	251	41.1	6	1.0	19	3.1	152	24.9
ベビーホテル	224	98	43.8	128	57.1	89	39.7	2	0.9	5	2.2	44	19.6
家庭的保育	180	55	30.6	81	45.0	48	26.7	8	4.4	9	5.0	29	16.1
学童保育	980	415	42.3	677	69.1	528	53.9	7	0.7	25	2.6	95	9.7
事業所内保育施設	170	76	44.7	81	47.6	80	47.1	-	-	5	2.9	33	19.4
院内保育施設	116	45	38.8	71	61.2	47	40.5	-	-	4	3.4	26	22.4
小規模保育	269	127	47.2	181	67.3	183	68.0	1	0.4	5	1.9	18	6.7
病児・病後児保育	92	33	35.9	56	60.9	41	44.6	1	1.1	4	4.3	10	10.9
一時預かり	27	13	48.1	21	77.8	19	70.4	-	-	-	-	4	14.8
その他	73	25	34.2	36	49.3	34	46.6	-	-	1	1.4	17	23.3
総数	5,187	2,164	41.7	3,159	60.9	3,137	60.5	52	1.0	138	2.7	514	9.9
学童保育を除いた総数	4,207	1,749	41.6	2,482	59.0	2,609	62.0	45	1.1	113	2.7	419	10.0

表54. 問4-6 アレルギー対応の施設内研修や訓練で実施しているものはどれですか。(複数回答)

	施設 総数	外部講師を 招いた研修		緊急時を想定した シミュレーション 訓練		アドレナリン自己 注射薬練習キット (エビベン®トレ ナー)を使用した 訓練		東京都作成「食物 アレルギー緊急時 対応マニュアル」 を活用した研修		東京都作成「子供を預 かる施設における食 物アレルギー日常生 活・緊急時対応ガイド ブック」を活用した 研修		その他		行っていない		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	160	8.1	943	47.8	1,139	57.7	634	32.1	230	11.7	181	9.2	219	11.1	44	2.2
認証保育所	378	30	7.9	119	31.5	131	34.7	135	35.7	58	15.3	47	12.4	65	17.2	12	3.2
認定こども園	93	10	10.8	25	26.9	56	60.2	30	32.3	6	6.5	14	15.1	14	15.1	1	1.1
幼稚園	611	57	9.3	121	19.8	300	49.1	157	25.7	60	9.8	28	4.6	162	26.5	31	5.1
ベビーホテル	224	9	4.0	37	16.5	65	29.0	71	31.7	38	17.0	25	11.2	65	29.0	12	5.4
家庭的保育	180	4	2.2	23	12.8	35	19.4	47	26.1	23	12.8	8	4.4	72	40.0	14	7.8
学童保育	980	249	25.4	314	32.0	514	52.4	296	30.2	86	8.8	50	5.1	176	18.0	25	2.6
事業所内保育施設	170	28	16.5	43	25.3	54	31.8	46	27.1	20	11.8	5	2.9	46	27.1	5	2.9
院内保育施設	116	1	0.9	36	31.0	28	24.1	29	25.0	19	16.4	10	8.6	34	29.3	6	5.2
小規模保育	269	7	2.6	73	27.1	66	24.5	81	30.1	36	13.4	24	8.9	68	25.3	9	3.3
病児・病後児保育	92	5	5.4	28	30.4	37	40.2	25	27.2	12	13.0	14	15.2	23	25.0	2	2.2
一時預かり	27	1	3.7	13	48.1	13	48.1	8	29.6	3	11.1	3	11.1	5	18.5	-	-
その他	73	10	13.7	17	23.3	23	31.5	16	21.9	12	16.4	7	9.6	16	21.9	4	5.5
総数	5,187	571	11.0	1,792	34.5	2,461	47.4	1,575	30.4	603	11.6	416	8.0	965	18.6	165	3.2
学童保育を除いた総数	4,207	322	7.7	1,478	35.1	1,947	46.3	1,279	30.4	517	12.3	366	8.7	789	18.8	140	3.3

表55. 問4-7 アレルギーに関する災害時の備えについて行っていることはどれですか。
(複数回答)

	施設 総数	情報を収集して いる		職場内で対応 について話し 合っている		保護者と対応 について話し 合っている		自治体と対応 について話し 合っている		対応が必要な 子どもの災害 時対応リストを 作成している		アレルギー対 応食品を備蓄 している		必要な物品を 準備している		その他		行っていない		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	1,035	52.4	1,181	59.8	647	32.8	163	8.3	539	27.3	1,361	68.9	521	26.4	150	7.6	40	2.0	18	0.9
認証保育所	378	182	48.1	233	61.6	120	31.7	6	1.6	61	16.1	205	54.2	95	25.1	17	4.5	16	4.2	5	1.3
認定こども園	93	49	52.7	50	53.8	32	34.4	8	8.6	18	19.4	47	50.5	21	22.6	4	4.3	8	8.6	3	3.2
幼稚園	611	187	30.6	270	44.2	287	47.0	8	1.3	88	14.4	212	34.7	40	6.5	18	2.9	92	15.1	11	1.8
ベビーホテル	224	91	40.6	103	46.0	76	33.9	-	-	25	11.2	56	25.0	18	8.0	6	2.7	43	19.2	8	3.6
家庭的保育	180	52	28.9	46	25.6	43	23.9	3	1.7	6	3.3	34	18.9	20	11.1	8	4.4	67	37.2	5	2.8
学童保育	980	378	38.6	498	50.8	393	40.1	123	12.6	118	12.0	166	16.9	98	10.0	28	2.9	212	21.6	23	2.3
事業所内保育施設	170	72	42.4	87	51.2	54	31.8	1	0.6	15	8.8	34	20.0	20	11.8	6	3.5	36	21.2	2	1.2
院内保育施設	116	36	31.0	48	41.4	31	26.7	-	-	9	7.8	32	27.6	10	8.6	5	4.3	36	31.0	1	0.9
小規模保育	269	105	39.0	145	53.9	75	27.9	11	4.1	25	9.3	125	46.5	51	19.0	10	3.7	29	10.8	3	1.1
病児・病後児保育	92	44	47.8	49	53.3	17	18.5	2	2.2	6	6.5	33	35.9	14	15.2	5	5.4	13	14.1	4	4.3
一時預かり	27	13	48.1	14	51.9	8	29.6	-	-	2	7.4	12	44.4	4	14.8	-	-	4	14.8	1	3.7
その他	73	27	37.0	31	42.5	31	42.5	1	1.4	14	19.2	23	31.5	11	15.1	4	5.5	7	9.6	2	2.7
総 数	5,187	2,271	43.8	2,755	53.1	1,814	35.0	326	6.3	926	17.9	2,340	45.1	923	17.8	261	5.0	603	11.6	86	1.7
学童保育を除いた総数	4,207	1,893	45.0	2,257	53.6	1,421	33.8	203	4.8	808	19.2	2,174	51.7	825	19.6	233	5.5	391	9.3	63	1.5

6 アレルギーに関するご意見・ご要望について

表56. 問5-1 東京都が行う研修等の参考とさせていただくために、下記項目の()内に、特に強く希望するもの一つに◎を記入してください。

	施設 総数	講義形式 中心の研修		演習を 取り入れた 参加型研修		エビベン◎の使 い方に特化した 実習形式の 研修		研修用エビベン ◎トレーナーの 貸出し		DVD貸出し: 専門医等の 講義の動画		DVD貸出し: 保育施設で食 物アレルギーを 発症した園児へ の対応の動画		東京都アレル ギー情報navi. (に教材(冊子) を掲載		東京都アレル ギー情報navi. (に教材(動画) を掲載		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	129	6.5	649	32.9	153	7.8	171	8.7	80	4.1	520	26.3	56	2.8	63	3.2	854	43.3
認証保育所	378	21	5.6	105	27.8	33	8.7	33	8.7	11	2.9	94	24.9	11	2.9	6	1.6	170	45.0
認定こども園	93	1	1.1	31	33.3	10	10.8	11	11.8	7	7.5	25	26.9	2	2.2	3	3.2	40	43.0
幼稚園	611	19	3.1	153	25.0	59	9.7	32	5.2	7	1.1	96	15.7	5	0.8	10	1.6	343	56.1
ベビーホテル	224	4	1.8	58	25.9	11	4.9	8	3.6	4	1.8	42	18.8	2	0.9	6	2.7	132	58.9
家庭的保育	180	4	2.2	30	16.7	12	6.7	9	5.0	5	2.8	25	13.9	2	1.1	5	2.8	117	65.0
学童保育	980	32	3.3	284	29.0	119	12.1	128	13.1	39	4.0	150	15.3	15	1.5	15	1.5	470	48.0
事業所内保育施設	170	2	1.2	54	31.8	21	12.4	18	10.6	4	2.4	29	17.1	3	1.8	1	0.6	78	45.9
院内保育施設	116	6	5.2	26	22.4	9	7.8	11	9.5	1	0.9	36	31.0	5	4.3	4	3.4	51	44.0
小規模保育	269	10	3.7	74	27.5	18	6.7	26	9.7	10	3.7	59	21.9	3	1.1	12	4.5	139	51.7
病児・病後児保育	92	1	1.1	24	26.1	6	6.5	3	3.3	6	6.5	17	18.5	-	-	7	7.6	48	52.2
一時預かり	27	-	-	6	22.2	3	11.1	1	3.7	1	3.7	9	33.3	1	3.7	-	-	13	48.1
その他	73	2	2.7	19	26.0	6	8.2	5	6.8	1	1.4	20	27.4	1	1.4	-	-	36	49.3
総 数	5,187	231	4.5	1,513	29.2	460	8.9	456	8.8	176	3.4	1,122	21.6	106	2.0	132	2.5	2,491	48.0
学童保育を除いた総数	4,207	199	4.7	1,229	29.2	341	8.1	328	7.8	137	3.3	972	23.1	91	2.2	117	2.8	2,021	48.0

表57. 問5-1 東京都が行う研修等の参考とさせていただくために、下記項目の()内に、希望するものすべてに○を記入してください。(複数回答)

	施設 総数	講義形式 中心の研修		演習を 取り入れた 参加型研修		エビベン◎の使 い方に特化した 実習形式の 研修		研修用エビベン ◎トレーナーの 貸出し		DVD貸出し: 専門医等の 講義の動画		DVD貸出し: 保育施設で食 物アレルギーを 発症した園児へ の対応の動画		東京都アレル ギー情報navi. (に教材(冊子) を掲載		東京都アレル ギー情報navi. (に教材(動画) を掲載		無回答	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
認可保育所	1,974	751	38.0	940	47.6	692	35.1	720	36.5	538	27.3	886	44.9	513	26.0	553	28.0	196	9.9
認証保育所	378	143	37.8	177	46.8	136	36.0	116	30.7	107	28.3	166	43.9	73	19.3	96	25.4	31	8.2
認定こども園	93	31	33.3	49	52.7	30	32.3	30	32.3	20	21.5	40	43.0	14	15.1	20	21.5	14	15.1
幼稚園	611	178	29.1	262	42.9	199	32.6	172	28.2	123	20.1	238	39.0	125	20.5	108	17.7	77	12.6
ベビーホテル	224	85	37.9	90	40.2	70	31.3	65	29.0	57	25.4	78	34.8	48	21.4	48	21.4	33	14.7
家庭的保育	180	45	25.0	73	40.6	44	24.4	32	17.8	30	16.7	66	36.7	28	15.6	30	16.7	26	14.4
学童保育	980	307	31.3	466	47.6	384	39.2	400	40.8	293	29.9	398	40.6	176	18.0	211	21.5	96	9.8
事業所内保育施設	170	49	28.8	79	46.5	67	39.4	60	35.3	42	24.7	74	43.5	38	22.4	43	25.3	19	11.2
院内保育施設	116	48	41.4	50	43.1	40	34.5	30	25.9	33	28.4	49	42.2	20	17.2	30	25.9	10	8.6
小規模保育	269	92	34.2	130	48.3	100	37.2	88	32.7	55	20.4	107	39.8	55	20.4	51	19.0	21	7.8
病児・病後児保育	92	34	37.0	41	44.6	25	27.2	25	27.2	20	21.7	40	43.5	31	33.7	28	30.4	13	14.1
一時預かり	27	10	37.0	14	51.9	11	40.7	4	14.8	6	22.2	6	22.2	6	22.2	5	18.5	2	7.4
その他	73	21	28.8	30	41.1	23	31.5	21	28.8	15	20.5	26	35.6	19	26.0	17	23.3	10	13.7
総 数	5,187	1,794	34.6	2,401	46.3	1,821	35.1	1,763	34.0	1,339	25.8	2,174	41.9	1,146	22.1	1,240	23.9	548	10.6
学童保育を除いた総数	4,207	1,487	35.3	1,935	46.0	1,437	34.2	1,363	32.4	1,046	24.9	1,776	42.2	970	23.1	1,029	24.5	452	10.7

問5-2 行政（都や区市町村主管課）に対する、ご意見やご要望がありましたらご記入ください。

<研修>

- ・研修の回数を増やしてほしい。
- ・東京都が行う大きな研修ではなく、市内の保育園、幼稚園を対象とした研修があると行きやすい。
- ・研修に出向くのは難しいので園内研修に来てほしい。
- ・研修参加希望者は定員を設けず、全員受講させて欲しい。
- ・アレルギーやエピペンの演習の研修は毎年実施して欲しい。
- ・研修に参加する余裕がないので、オンラインやDVD等で研修を受けられたら良い。
- ・預かる子供が毎年入れ替わるので、研修等は毎年行ってほしい。

<人員確保や補助金について>

- ・アレルギー児への加配（保育士、栄養士）。
- ・エピペンを預かっている園に看護師を配置してほしい。
- ・アレルギー児がいる保育園は、トレーや食器、別食材を用意するために予算が多くかかるので、予算面でも加算してもらえるとやりくりしに余裕が持てる。
- ・生活管理指導表を保険が使えるようにして無料で書いて頂けるようにしてほしい。
- ・教育現場に医療的な補助、支援が得られると有難い。Ex. 看護師さんの派遣など。

<マニュアルや様式について>

- ・様々な書類が都、区などによって違うので統一してもらえるとうれしい。
- ・行政のガイドライン等に準じて行うことがより安全かと思うが、現場はとてもハードになってしまうことがある。現場の状況にあったガイドラインがあるとよい。
- ・ガイドライン改訂される時は、改訂後すぐにでもガイドライン改訂版の研修会や説明会の実施を各地で行ってほしい。

<しくみづくりや指導に関すること>

- ・入園前のアレルギーの程度や状態の聞き取り場合もう少し具体的に聞き取りをしてほしい。
- ・入園の際に1つの保育園にたくさんアレルギー児が入らないように配慮していただきたい。
- ・小規模保育園では、重度のアレルギー児の受け入れには限界があるため考慮してほしい。
- ・アレルギー解除の基準を統一してほしい。園によって異なる為、転園の際に困るし、基準があれば保護者にも説明しやすい。
- ・アレルギー含め、小児が安心してかかれる医療機関を増やしてほしい。多くの子が遠方まで市外の機関に通っている。

<情報提供に関すること>

- ・最新情報があればすぐに知ることができるよう発信してほしい。
- ・所属する区市町村でのアレルギー対応の事例や良い対策例などあったら教えてほしい。
- ・除去食対応メニューについて教えて欲しい。

<他機関等との連携について>

- ・近隣の医療機関との連携、研修の実施。
- ・他園と情報交換をする機会があればありがたい。
- ・児童（アレルギー児）入所後、児童の対応が園に全て任せられている状況である。入所後も児童の様子もふくめて関わって頂きたい。
- ・小学校や中学校での給食におけるアレルギー対応について、情報を交換できる場があるとよい。

<災害時対策について>

- ・アレルギー用の災害食も配布してほしい。
- ・災害時の連携に関して、実際どうなっているのかがよく分からない。
- ・災害時に対する（ゲリラ豪雨等）具体的指示、対応等があると助かる。
- ・災害時、各避難所での混乱が予測されるので、食物アレルギー児だということが外部から明確になるようなマークのストラップを作成してほしい。

<その他>

- ・今後もエピペントレーナーとDVDの貸出は続けて欲しい。
- ・インターナショナルスクールなので英語版のテキストも作って頂きたい。英語を話せる方に園内研修をお願いしたい。
- ・アレルギー食材（由来など）について、メーカーによって表記されていたりされていなかったりで分かりにくいいため、統一してほしい。

問5-3 保護者や医療機関に対する、ご意見やご要望がありましたらご記入ください。

1. 保護者

<施設と保護者の情報共有>

- ・家庭での状況を詳しく伝えてほしい。
- ・アレルギー等、隠さないで話してほしい。
- ・程度に関わらず、どのようなアレルギーでどう対応してほしいのか、細かく伝えて欲しい。
- ・連絡をとるとすぐに対応してくれて、安心している。協力体制ができていて、ありがたい。

<指示書、生活管理指導表について>

- ・アレルギー対応が必要な方は、入園前に生活管理指導表を持参してほしい。
- ・指示書の期限内で再度受診し、診断書の提出をしっかりとしてほしい。

<受診について>

- ・アレルギー専門医療機関で正しく診断を受けてほしい。
- ・アレルギー症状が出た場合、負荷試験など、しっかりした検査を受けてほしい。
- ・園生活の中で少しでも食物アレルギーが疑われた場合は、すぐに病院受診をして欲しい。

- ・アレルギー検査を定期的に行ってもらいたい。
- ・どこの病院に行ったらよいか、わからない人も多い。

<初食および食事について>

- ・必ず保育園で食べる前に家で食材を試して欲しい。
- ・アレルギー食材を食べた後すぐの登園は避けてほしい。
- ・園で除去等の対応をしても、家庭では摂取してなかなか改善につながらない。
- ・0才児で初めて食べる食材は必ず自宅で食べる様に説明しているが、自宅でアレルギーが出るのが嫌と、食材を試してくれず、離乳食が進まない。

<保護者の知識、意識について>

- ・アレルギーに関する正しい知識を、適切な情報源から取り入れて頂きたい。
- ・このくらいは大丈夫と軽く考えている人が多いように感じる。自分の子が対象でないとルールを守らなかつたり、気にしていない。
- ・医療機関に言われた事を守ってほしい。
- ・積極的にアレルギー解除に向けた行動ができない。
- ・保護者の自己判断で除去願いはできないことを理解してほしい。

<家庭での対応について>

- ・保護者からも子供に十分に教育（アレルギーがあること）して欲しい。
- ・お子さんのアレルギーの症状、程度をしっかりと把握してほしい。

<集団生活について>

- ・体調のすぐれない時は無理をしないでほしい。
- ・保育園は集団生活の為、家庭と違いリスクがある事や、出来る範囲がある事をご理解頂きたい。

2. 医療機関

<指示や指示書について>

- ・統一したアレルギー指示書。
- ・検査結果を示してほしい。
- ・医師の指示が曖昧で分かりにくい時がある。
- ・保育園ではどのような処置をすべきなのか、具体的に記入してほしい。
- ・親に言われるがまま、指示書のみ記入して持たせる機関がある。
- ・医療機関によってアレルギーの診断が異なり、反応があっても除去にならない場合がある。
- ・病院により負荷試験を朝（食すように）指示を出される場合があるが、夜や休日に行うよう指示してほしい。

<診断や検査について>

- ・医師の考えがまちまちで、対応にとまどう事がある。
- ・早めに（月令的に）アレルギー検査をして欲しい。
- ・定期的な受診・診察を行って、現状（症状）の確認をしてほしい。
- ・あいまいなアレルギーの結果をださないで欲しい。

<保護者への説明について>

- ・保護者にはきちんと説明してあげてほしい。
- ・保育園に預けたい保護者に詳細な説明をするよう医療機関からも促してほしい。
- ・除去の指示だけでなく、今後の見通しについても教えてあげてほしい。
- ・家庭ではなく、子供たちが集団で過ごすということに重点をおいて、保護者に注意点を話してほしい。

<連携について>

- ・緊急時に迅速に指示を出していただけるような体制を整えてほしい。
- ・アナフィラキシー対応ホットラインがあり、心強い。
- ・アレルギー発症（アナフィラキシー）の子供がいた場合、すぐ医療機関で診てもらえるのか不安がある。

<専門医について>

- ・アレルギー認定医が増えてほしい。
- ・アレルギーの負荷試験行っている医療機関が少ない。
- ・小児アレルギー専門医のいる病院を自治体を通して知らせてほしい。
- ・専門医へ紹介してほしい。

<その他>

- ・エピペン処方児には、保育園用の物も処方をお願いしたい。
- ・可能な限り、保育園で投薬せずにする処方方法をお願いしたい。
- ・入所時の健康診断にてアレルギー確認をしっかりとってほしい。

問5-3 日々のアレルギーへの対応でお困りのことがありましたらご記入ください。

<人員や予算に関すること>

- ・アレルギーの子供が多くなると、対応する職員が不足する。
- ・学童保育所は専門に調理配膳に関わる人員がいないので保育者のリスク、負担が大きい。

<医療機関に関すること>

- ・エピペンの（園での）保持に対する、医療関係者の見解が必ずしも統一されていないと感じること。

- ・食物負荷試験を受けずに、少し症状が出たから医師の診断書を持って来るので、本当にアレルギーがあるのか疑問になる子供が在席している。

<保護者対応に関すること>

- ・保護者からの情報が少なく（何度問い合わせても）不安になる。
- ・診断を受けていないにもかかわらず、親の思い込みでの除去を要求してくる保護者の対応に困ることがある。
- ・入所する際の児童調査票にて、アレルギーではなく、苦手なものを記入されるケースも多々ある。

<職員について>

- ・アレルギー症状の判断基準が難しい。
- ・職員の意識に個人差があり、それを改善するための手立てがもっとあると良いと思う。
- ・日々の保育で忙しく研修に参加しにくい状況。もっとすべての職員が研修に参加できるといい。

<食事について>

- ・食物に関わる行事に参加出来ないことがあり残念である。
- ・食材を選ぶのに苦労がある。献立の変化もほしいが、アレルギーの差を出したくないのでコストが高くなる。
- ・離乳食時期のアレルギー対応の難しさ。

<日々のケアに関すること>

- ・口腔内アレルギーのお子様がおり、除去等の対応が難しい。
- ・本当は、食べてもアレルギーの症状がでないと医者から言われているが気持ちの面で食べられないと思いついでいる子への対応。
- ・小麦アレルギーの子への対応がかなり難しい。（粉が舞ってしまうので）
- ・花粉症対策に困っている。
- ・アレルギーの程度により、園生活に制限が出る（例、牛乳パックや菓子の空き容器の利用について等）どの程度が大丈夫なのか、を明確に知れるとよい。

<その他>

- ・アレルギーを発症した時、薬の投与のタイミングが難しい。
- ・エピペン使用不可児の保育は不安。
- ・給食室が狭く、作業区分が明確に分けられない。
- ・保育室の狭さ、複数アレルギー児がいる場合、どこで食事をとるかなどの対応の難しさあり。
- ・災害時に避難する際、どこまで注意するべきか迷う。エピペンも、非常持ち出ししなくてはならないのだろうか…など。
- ・外国籍の方の共通理解が難しく、アレルギーの把握に対しても伝わりにくい。
- ・さまざまなアレルギーが増え、日常生活の中での対応に苦慮している。
- ・子供達へ、そのおそろしさをどう伝えるのか、日々悩むところである。

